

# 履修要項 2014



経営学部

 駒澤大學

## 1年間の主なスケジュール

2013 (平成25) 年度		
3月	27・28日	履修要項・学生証裏面シール配付
2014 (平成26) 年度		
4月	2～5日正午	抽選登録・受講先行予約申込期間
	7～14日	履修登録申込期間 (KONECO で15日午前3時まで申込可)
	8日	前期授業開始
	16～21日	履修訂正期間 (KONECO で22日午前3時まで訂正可)
	25～28日	履修確認期間 (KONECO で29日午前3時まで確認可)
6月	2～21日	学生による授業アンケート (前期)
7月	15日	前期授業最終日
	16～18日	前期科目定期試験 (集中試験)
	22～26日、28日	前期科目定期試験
	29～31日	集中授業実施期間
	30日	追試験願受付締切
8月	1日、4・5日	集中授業実施期間
	7～17日	全学休業期間
	18～23日	前期科目追試験
	22日	前期科目成績発表・成績調査願受付
	27日	前期科目追試験成績発表・成績調査願受付 (8月28日締切)
9月	13～19日	後期履修登録・訂正期間
	16日	後期授業開始
	20日	9月卒業式
	22日	転部・転科試験願書受付 (フレBへの移籍除く)
	26～30日	履修確認期間 (後期履修登録・訂正者)
10月	13日	休日授業日 (体育の日)
	15日	開校記念日 (全学休業)
	19日	転部・転科試験
	31～11月2日	オータムフェスティバル (大学祭)
11月	10～29日	学生による授業アンケート (後期)
	24日	休日授業日 (勤労感謝の日振替休日)
12月	24～1月7日	全学休業日
1月	10日	後期授業最終日
	13～15日	後期・通年科目定期試験 (集中試験)
	19～23日、26日	後期・通年科目定期試験 (26日は土曜日振替)
	28日	追試験願受付締切
2月	9・10日、 12～14日、16日	後期・通年科目追試験 (16日は水曜日振替)
	13日	後期・通年科目成績発表・成績調査願受付 (2月21日締切)
	19日	後期・通年科目追試験成績発表・成績調査願受付 (2月21日締切)
3月	10・11日	転部・転科試験 (フレBへ) 願書受付
	16日	転部・転科試験 (フレBへ)
	25日	卒業式
	30・31日	2015年度履修要項・学生証裏面シール配付

## 履修要項の見方

履修要項は、前半は主に「履修・授業・試験・成績」について、後半は主に「教育課程（開設科目）」について説明する2部構成となっています。

### 第1章

履修	受講する科目の登録方法や履修の仕組みについて説明しています。
授業	授業を受ける際に知っておくべきことについて説明しています。
試験	試験の種類や試験の受け方について説明しています。
成績	履修した科目の成績評価について説明しています。
留学	留学に関する基本的な情報を掲載しています。
学籍	大学に登録されている籍の取り扱いについて説明しています。
事務取扱いについて	窓口対応や証明書の発行について説明しています。

### 第2章

教育課程の編成について	開設科目にはどのような種類があるのか、単位制度や卒業するための条件について説明しています。
開設科目	所属する学部学科で開設している科目の入学年度別の一覧と、科目ごとの履修上の注意点を掲載しています。掲載内容は毎年変更される可能性があるため、履修の際は必ず目を通す必要があります。
教職課程・資格講座	所属する学部学科で取得可能な教員免許状について説明しています。この他に、教員免許状と併せて受講できる資格講座について説明しています。
学修支援	学修相談や支援について掲載しています。
キャリア形成	大学院進学や就職に関する情報を掲載しています。
その他	その他お知らせ等を掲載しています。

毎年3月末に、履修要項を教務部の窓口で在学生全員に配布しています。履修科目を決める際に必要となる条件について掲載されているため、履修登録を行う前に一通り内容を確認してください。また、履修要項と併せて、KONECO上で閲覧できる「シラバス」、「授業時間表」の内容を確認してください。

# 目次

学部長挨拶		1
学部学科の理念・目的		2
学位授与の方針（ディプロマポリシー）		3
教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）		5
第1章 履修・授業・試験・成績について		7
I 履修・授業		9
履修	1. 履修科目の決定方法	9
	2. Web 履修登録システム（KONECO）	11
	3. 履修登録（抽選登録・受講先行予約・履修登録）	13
	4. 履修確認・履修訂正	16
	5. 後期履修	19
	6. 他学部履修	19
	7. 再履修	19
	8. シラバスの閲覧	20
授業	1. 授業期間	22
	2. 休日授業日	22
	3. 課題授業	22
	4. 補講	23
	5. 授業時間	23
	6. 授業の欠席	23
	7. 代講	24
	8. 休講	24
	9. 震災及びその他の災害・事故に伴う授業休講措置	24
	10. 教場変更・教場貸出	24
	11. 大学からの掲示・連絡	24
	12. e-learning システム（YeStudy）	25
	13. アンケートシステム	25
II 試験・成績		26
試験	1. 試験について	26
	2. 定期試験	26
	3. 授業内試験	27
	4. 追試験	27
	5. 追試験受験対象となる欠席理由	27
	6. 受験心得	28
	7. 試験時間	29
	8. 試験実施規程	29
	9. 不正受験行為者処分規程	30
成績	1. 成績評価	31

		2. GPA 制度	31
		3. 成績発表	32
		4. 成績に関する相談・調査	32
		5. 保証人への成績表送付	32
		6. 進級基準	33
		7. 進級規程に伴う警告と勧告	34
		8. 在学条件	34
		9. 原級者	34
		10. 駒澤大学進級規程	35
	Ⅲ 留学		36
	留学		36
	Ⅳ 学籍		37
	学籍	1. 修業年限と在学年数	37
		2. 休学	37
		3. 復学	38
		4. 退学	38
		5. 除籍	38
		6. 懲戒	38
		7. 編入学	38
		8. 再入学	39
		9. 転部・転科・転専攻・転コース	39
		10. 学生氏名・保証人	39
		11. 学生・保証人住所変更	39
		12. 学生番号	40
	Ⅴ 事務取扱いについて		42
	事務取扱い	1. 窓口受付時間	42
		2. 届書・願書の受付	42
		3. 証明書発行	43
	第2章 教育課程（開設科目）について		45
	Ⅰ 教育課程の編成		47
	履修をはじめるとにあって	1. 学修目的に沿った履修計画をたてること	47
		2. 「コース」、「演習」を中心に系統的履修を心掛けること	47
		3. 自主的に学修をすること	47
		4. フレックス制（昼夜開講制）について（平成19（2007）年度以前入学生）	48
	授業科目の区分と教育目標		49
	単位	1. 単位制度	50
		2. 授業科目の単位数	50
		3. 単位の認定	50
		4. 履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）	50
		5. 卒業必要単位における修得単位算定の流れ	51

	6. 卒業に必要な単位数	52
	7. 年間履修制限単位数	54
	8. 卒業および学位記の授与	54
	9. 9月卒業・卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）について	55
	10. 1年次履修科目の決定順序	56
<b>II 開設科目</b>		
経営学科（平成20（2008）年度以降入学生）		59
開設科目一覧の見方		59
全学共通科目		60
宗教教育科目	1. 履修上の注意	60
	2. 開設科目一覧	60
教養教育科目	1. 履修上の注意	61
	2. 開設科目一覧	61
	3. 履修不可対象科目	65
	4. 廃講科目	66
外国語科目	1. 履修上の注意	67
	2. 開設科目一覧	67
	3. 履修不可対象科目	72
	4. 廃講科目	75
保健体育科目	1. 履修上の注意	76
	2. 開設科目一覧	77
	3. 廃講科目	78
専門教育科目	1. 履修上の注意	79
	2. 開設科目一覧	79
	3. 履修不可対象科目	81
	4. 廃講科目	82
	5. コース制	82
経営学科フレックス A（平成19（2007）年度以前入学生）		85
開設科目一覧の見方		85
全学共通科目		87
宗教教育科目	1. 履修上の注意	87
	2. 開設科目一覧	87
教養教育科目	1. 履修上の注意	88
	2. 開設科目一覧	88
	3. 履修不可対象科目	92
	4. 廃講科目	93
外国語科目	1. 履修上の注意	94
	2. 開設科目一覧	94
	3. 履修不可対象科目	99
	4. 廃講科目	100
保健体育科目	1. 履修上の注意	101

	2. 開設科目一覧	102
	3. 廃講科目	102
専門教育科目	1. 履修上の注意	104
	2. 開設科目一覧	104
	3. 履修不可対象科目	107
	4. 廃講科目	107
経営学科フレックス B		109
開設科目一覧の見方		109
全学共通科目		111
宗教教育科目	1. 履修上の注意	111
	2. 開設科目一覧	111
教養教育科目	1. 履修上の注意	112
	2. 開設科目一覧	112
	3. 履修不可対象科目	114
	4. 廃講科目	115
外国語科目	1. 履修上の注意	116
	2. 開設科目一覧	116
	3. 履修不可対象科目	117
	4. 廃講科目	118
保健体育科目	1. 履修上の注意	119
	2. 開設科目一覧	120
	3. 廃講科目	120
専門教育科目	1. 履修上の注意	121
	2. 開設科目一覧	121
	3. 履修不可対象科目	123
	4. 廃講科目	124
市場戦略学科		125
開設科目一覧の見方		125
全学共通科目		126
宗教教育科目	1. 履修上の注意	126
	2. 開設科目一覧	126
教養教育科目	1. 履修上の注意	127
	2. 開設科目一覧	127
	3. 履修不可対象科目	130
	4. 廃講科目	131
外国語科目	1. 履修上の注意	132
	2. 開設科目一覧	132
	3. 履修不可対象科目	137
	4. 廃講科目	139
保健体育科目	1. 履修上の注意	140
	2. 開設科目一覧	141

	3. 廃講科目	142
専門教育科目	1. 履修上の注意	143
	2. 開設科目一覧	143
	3. 履修不可対象科目	145
	4. 廃講科目	145
	5. コース制	146
学科共通		149
他学部履修科目	1. 履修上の注意	149
	2. 開設科目一覧	150
随意科目	1. 履修上の注意	153
	2. 開設科目一覧	153
「日本語」・「日本事情」科目	1. 履修上の注意	154
	2. 開設科目一覧	155
Ⅲ 教職課程・資格講座		156
	1. 受講可能な資格	156
	2. 教職課程・資格講座の登録	157
	3. 1年次の関連履修科目（教職課程）	157
	4. 学校図書館司書教諭講座・社会福祉主事講座・社会教育主事講座	158
Ⅳ 学修支援		159
	学業不振者への勧告	159
Ⅴ キャリア形成		160
	1. 大学院進学	160
	2. 就職（キャリアセンターの利用）	160
	3. 研究所	161
Ⅵ その他		162
	専任教員紹介・研究室	162
事務室・掲示板案内図		
大学構内図 ※キャンパス間移動時間等含む		

## 学部長挨拶

経営学部教育研究上の目的は、以下のとおりとなっています。

経営・管理・マーケティングのプロフェッショナルとして社会に積極的に参加・貢献しうるような人材の養成を目的としている。すなわち、専門分野の理論的・実践的基礎知識を習得し、それらの知識に基づいて企業を取り巻く諸問題を広範にわたって健全かつセンシブルに発見し解決しうる能力を身につけることを目的とする。

上の教育研究上の目的を効果的に実現するために、経営学部の教育課程は、学部の壁を越えて共通に履修できる科目群（全学共通科目）と学部固有の科目群（専門教育科目）からなっています。全学共通科目は、宗教教育科目、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目から構成され、専門教育科目を学修する上でその準備段階に位置づけられる科目や、豊かな人間性を育て幅広い教養を身につける科目等、広範囲に及ぶ数多くの科目が開講されています。

専門教育科目では経営学部の教育研究上の目的を達成するために、体系的に学修できるように配慮がなされています。しかも、多くの科目を選択科目とし、皆さんが自主的判断に基づいて学修できるように工夫が施されています。

この専門教育科目では講義科目と演習（ゼミ）とを結び付けることによってより効果的に教育研究上の目的を達成できるように考えられています。少人数制の演習を数多く開講し、皆さんが自ら選んだテーマを主体的かつ専門的な視点にたって取り組めるよう配慮しています。また、平成20年度入学生より、教育研究上の目的を達成するための新たな制度としてコース制を導入しました。このコース制も皆さんが学修を進める上での大きな助けとなるはずで

しかし、教育制度がどんなに素晴らしいものであっても皆さんの学習態度が消極的・受動的なものであっては学習効果は上がりません。授業科目の決定は皆さんの選択に委ねられています。学年始めにあたって、皆さんはこの履修要項を精読し、経営学部の教育課程の特質を十分に理解し、自主的・体系的に学修計画をたてることが肝要です。皆さんが自ら明確な学修目標を持ち、堅実な学修計画をたて、設置されている多くの科目の中から系統的に科目を選択することによって、はじめて各自の学修意欲が満たされることとなります。そうした学修の結果として、各自の能力が引き出され、その育成の効果が期待できることとなります。

平成20年度より経営学部は市場戦略学科を新設するとともに、経営学科を昼夜開講制でない形に移行しています。ただし、平成19年度以前の入学生については従来通り経営学科フレックス A、経営学科フレックス B の所属となります。

学生の皆さんはそれぞれ、この『履修要項』の第2章 I 教育課程の編成の「履修をはじめるとにあたって」の箇所を十分に読んだ上で、『履修要項』の全体を十分に理解するように努めてください。

なお、不明な点があれば教務部の窓口で確かめてください。

経営学部

## 学部学科の理念・目的

### 【経営学科】

経営学科は、経営学分野の理論的、実践的知識並びに企業経営についての論理的思考習慣と研究姿勢を身につけ、企業及びその他の組織において経営管理のプロフェッショナルとして活躍できる人材の養成を目的とする。

### 【市場戦略学科】

市場戦略学科は、価値創造と市場へのアプローチのために策定、遂行される市場戦略に関する理論と応用を教育研究の中心的課題とし、企業において主体的かつ具体的に市場戦略上の問題解決が図れる人材の養成を目的とする。

## 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

### 【経営学科】

経営学科の教育上の研究目的は、以下のとおりとなっています。

経営学科は、経営学分野の理論的・実践的知識および企業経営に関する論理的思考習慣と研究姿勢を身につけ、企業その他の組織において経営管理のプロフェッショナルとして活躍できる人材の養成を目的とする。

（判断基準）

- ・建学の理念を理解していること。
- ・幅広い教養と洞察力を有していること。
- ・外国語も含めた高度なコミュニケーション能力を修得していること。
- ・企業を経営するうえで必要とされるさまざまな理論的・実践的知識を体系的に修得していること。
- ・企業経営についての論理的思考習慣と研究姿勢を身につけ、企業その他の組織において発生する課題を解決するための専門的能力を修得していること。
- ・以上に述べた事項を達成するために必要な科目を合計124単位以上修得していること。

経営学科の名称となっている経営学は、主として株式会社のような企業やその経営を対象としています。より具体的には、企業の形態や組織、経営の指針となる戦略の立案、財務・生産・販売などの諸活動の機能や管理、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の管理、企業の社会との関係とそのあり方など、多岐にわたっています。そしてこのような企業経営を総合的に理解するためには、会計学や経済学の知識が不可欠であり、それらは経営学と密接に関わっています。

経営学科は、以上のような経営学分野を中心とした理論的・実践的知識ならびに企業経営についての論理的思考習慣と研究姿勢を身につけ、企業およびその他の組織において経営・管理のプロフェッショナルとして活躍できる人材の養成を目的としています。

### 【市場戦略学科】

市場戦略学科の教育上の研究目的は、以下のとおりとなっています。

市場戦略学科は、市場戦略に関する理論や応用を教育研究の中心的課題とし、企業において主体的かつ具体的に市場戦略上の問題解決が図れる人材の養成を目的とする。ここでの市場戦略とは、新たな顧客価値を持つ製品・サービスの創出や市場を介したその流通のために計画・実行される戦略を指す。

（判断基準）

- ・建学の理念を理解していること。
- ・幅広い教養と洞察力を有していること。
- ・外国語および情報通信技術の利用を含めた高度なコミュニケーション能力を修得していること。
- ・企業活動において市場戦略の持つ役割及びその重要性を理解し、市場戦略に関わる理論を体系的に修得していること。
- ・市場戦略にかかわる課題を発見し、その課題を定性的・定量的に分析、解決へと導くための専門的能力を修得していること。
- ・以上に述べた事項を達成するために必要な科目を合計124単位以上修得していること。

市場戦略学科は、すべての企業は市場に対して戦略的に対応していくことが必要不可欠であるという強い認識のもと命名されました。そもそも、企業は、ターゲットとする顧客層のニーズを満たす形で、最適な商品を最適な時期に最適な場所で最適な価格で提供しなければ、存続することができません。たとえ、いかに有能な人材、すぐれた生産設備、豊富な資金力、高い技術力などを有していたとしても、その商品を通じて市場のニーズを満たし、競

争相手よりも高い価値を提供することによって、市場から高い支持を獲得することができなければ、企業はいずれ消滅していく運命にあります。

市場戦略学科は、こうした企業の現実を踏まえて、幅広い経営学の専門知識をベースにしながら、マーケティングを中心とした市場戦略に関わるさまざまな課題を主体的・具体的・定量的に解決し、激変する時代の波に臨機応変に対応することができる人材を育成することを目的としています。

## 教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

### 【経営学科】

学位授与の方針を満たす人材養成のため、教育課程を宗教教育、教養教育、保健体育教育、外国語教育、専門教育の5つに区分するとともに、それらの有機的な結合を図る。経営学科における専門教育の中心になる経営学は主として株式会社を代表とする企業およびその経営を対象としており、企業の形態や組織、経営の指針となる戦略の立案、財務・生産・販売などの諸活動の機能や管理、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の管理、企業と社会の関係やそのあり方など、多岐にわたっている。こうした企業経営を総合的に理解するためには会計学や経済学等の分野の知識が不可欠であり、それらは経営学と密接に関わっている。本学科ではこのような経営学およびそれに関連する分野の専門教育科目を数多く設置するとともに、本学科に学ぶ学生がそれら科目を体系的に学ぶ枠組みとして、専門教育課程に関するコース制を設ける。

#### （実施項目）

- ・ 宗教教育科目として必修科目「仏教と人間」およびその他選択科目を設置する。
- ・ 人文分野、社会分野、自然分野、ライフデザイン分野の分野ごとに多様な科目を選択科目として設置し、学生が自ら積極的に教養教育科目を履修できるようにする。また、健康を維持し、スポーツに親しむことを目的とした保健体育科目を選択科目として設置する。
- ・ 外国語（英語またはその他の言語）を学ぶための外国語科目を必修科目として設置する。さらに、学生の能力と興味に応じて外国語の能力をさらに高めるための外国語科目を選択科目として設置する。
- ・ 専門教育課程に、「企業経営コース」、「企業会計コース」、「経済分析コース」の3つのコースを設置し、各コースで学ぶべき専門教育科目群を指定する。
- ・ 1年次の専門教育科目として、本学科で学ぶ上で必須となる経営学、経済学、会計学の基礎を学ぶ科目をコース共通の必修科目として設置する。さらに、企業論および数学・統計・情報処理についてもその基礎を修得するための科目を選択科目として設置する。
- ・ 2年次以降の専門教育科目として、経営学、会計学および経済学の基本と応用を学ぶ専門教育科目を選択科目として設置する。また、関連科目として、経営科学、情報システムと法律に関連した基本科目および英語による外書講読科目を設置する。
- ・ 2年次より各教員による少人数の演習科目を設置し、教員とのコミュニケーションを重視しながら、特定の領域に対するより高度な教育を実施する。

## 【市場戦略学科】

学位授与の方針を満たす人材養成のため、教育課程を宗教教育、教養教育、保健体育教育、外国語教育、専門教育の5つに区分するとともに、それらの有機的な結合を図る。このうち、市場戦略学科での教育の中心となる専門教育については、二つの到達目標を設定し、それに従った専門教育課程の編成を行う。到達目標の一つは、製品やサービスの開発・提供およびビジネスモデルの提案・構築に係る市場戦略の企画、実施に寄与できる人材の育成であり、もう一つはそのような市場戦略を担う企業の設立・運営に寄与できる人材の育成である。本学科に学ぶ学生が専門教育科目を系統的に学ぶための枠組みとして、専門教育課程に関するコース制を設けるとともに、専門教育科目を1年次科目、2年次科目、3・4年次科目という区分で段階的に配置する。

### (実施項目)

- ・ 宗教教育科目として必修科目「仏教と人間」およびその他選択科目を設置する。
- ・ 人文分野、社会分野、自然分野、ライフデザイン分野の分野ごとに多様な科目を選択科目として設置し、学生が自ら積極的に教養教育科目を履修できるようにする。また、健康を維持し、スポーツに親しむことを目的とした保健体育科目を選択科目として設置する。
- ・ 外国語（英語またはその他の言語）を学ぶための外国語科目を必修科目として設置する。さらに、学生の能力と興味に応じて外国語の能力をさらに高めるための外国語科目を選択科目として設置する。
- ・ 専門教育課程に、「市場創造コース」、「戦略デザインコース」、「現代産業・起業コース」の3つのコースを設置し、各コースで学ばべき専門教育科目群を指定する。
- ・ 1年次の専門教育科目として、必修科目「市場戦略概説」の他本学科で学ぶ上で必須となる経営学、経済学、会計学、情報処理の基礎を学ぶ科目をコース共通の必修科目として設置する。さらに、数学・統計および企業論、簿記学についてもその基礎を修得するための科目を選択科目として設置する。
- ・ 2年次の専門教育科目として、本学科の中心的な学問分野であるマーケティング、企業論、経営情報・システム、経営科学、および関連分野となる経済学、会計学、法律に関する基本を学ぶ科目を選択科目として配置する。なお、この段階で3年次以降での専門教育を考慮し、コース共通で学ばべき科目と、コースの特性にあわせて必要となる科目に分けた設置を行う。また、関連科目として経営学、会計学、経済学、法律に関連した科目を配置する。
- ・ 3・4年次の専門教育科目として、「市場創造コース」には市場戦略の策定に係わる科目を設置し、「戦略デザインコース」には市場の分析と製品・サービスの供給システムの設計に係わる科目を配置する。「現代産業・起業コース」には各種産業における企業経営に関する科目を設置する。また、関連科目をして各種言語による外書講読科目および法律に関連した科目を設置する。
- ・ 2年次より各教員による少人数の演習科目を設置し、教員とのコミュニケーションを重視しながら、特定の領域に対するより高度な教育を実施する。

## 第1章

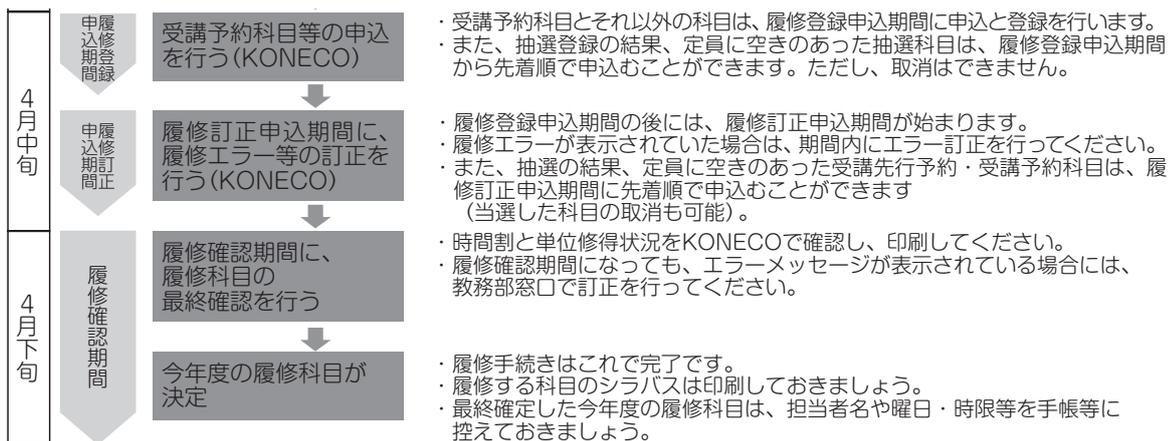
履修・授業・試験・成績について

# I 履修・授業

## 履修

### 1. 履修科目の決定方法





### ●留意事項

- ・4月第1週目の授業は「履修のお試し期間」ではありません。担当教員からのオリエンテーションや、受講制限に関する説明が行われる場合があります。必修科目では、第1週目の授業から通常通り授業が行われることもあります。授業開始前にシラバス等をよく読み、履修意思のある科目は第1週目の授業から出席するようにしましょう。
- ・各年次に1科目以上は履修登録しなければなりません。
- ・3年次までに卒業必要単位数を満たした場合であっても、4年次に履修登録を行う必要があります。
- ・卒業必要単位数は、あくまで卒業に必要な最低単位数のことであり、4年間で修得できる単位数の上限を意味しているわけではありません。たとえば、4年次の残り不足単位数が4単位だけだったとしても、4単位分だけ履修登録するのではなく、単位を落としてしまった場合も考慮して、少し多めに履修登録をして授業を受けましょう(※4年次必修科目を除く)。
- ・『履修要項』、『授業時間表』、『シラバス』の記載内容に訂正が発生した場合は、訂正掲示がされますので、確認してください。
- ・過去に単位を修得した同一名称の科目を再度履修することはできません。

## 2. Web 履修登録システム (KONECO)

履修登録は、“KONECO (コネコ)” という Web システム上で行います。

KONECO では、履修登録の他に「個人時間割の確認」「シラバス閲覧」「成績評価の確認」「教職課程・資格講座の申請」「健康診断結果の照会」「大学からのお知らせや休講・補講・代講・教場変更等の掲示配信」「試験掲示」「学生住所・電話番号の変更」「コース登録申請 (該当学部のみ)」「教養特別履修の申請 (該当学部のみ)」といった機能があります。

### ● KONECO にログインする

- ・直接 URL を入力する。 <https://koneco.komazawa-u.ac.jp/>
- ・大学ホームページから開く。

「在学生・教職員の方」ページの左側メニュー「KONECO」をクリックする。



- ・ログイン画面で、KOMAnet ID とパスワードを入力する。

※ ID やパスワードを失念した場合は、総合情報センター (4号館2階事務室) へ問い合わせる。



## ● KONECO 利用上の注意点

- ・ 毎日午前3時から6時の間はメンテナンス時間のため停止しています。
- ・ ログイン後、30分以上画面を放置すると自動的にログアウトされます。
- ・ ログイン画面に掲載されているお知らせは、全学生に配信している掲示内容です。
- ・ 使用できるブラウザ
  - Internet Explorer ver.9.0～11.0
  - Firefox ver.3～26
  - Google Chrome
  - Safari
- ・ 推奨 OS
  - Windows Vista、Windows 7、Windows 8
- ・ ポップアップブロックについて（Internet Explorer の場合）

KONECO では、ポップアップウィンドウで開く画面があります。ポップアップ表示の許可がされていない場合は、許可設定を行ってください。



- ① ポップアップ画面が表示される際に、ポップアップブロックした旨のメッセージが画面上部に表示されるので、これをクリック。
- ② 「このサイトのポップアップを常に許可」をクリック。



- ③ 「はい」をクリックで完了。
- ※ Google や Yahoo! 等が提供するツールバーには、上記とは別のポップアップブロックが機能として備わっている場合があります。KONECO 利用に不具合が生じる場合は、それらのポップアップブロックを無効にしてください。

### 3. 履修登録（抽選登録・受講先行予約・履修登録）

履修登録の方法は、①抽選登録、②受講先行予約、③履修登録の3つの方法により行います。それぞれの登録方法について次に説明します。

#### (1) 抽選登録

前期授業開始日前に、主に2年次選択必修の外国語科目（英語以外）と再クラス（仏教と人間、健康・スポーツ実習、外国語必修または選択必修科目）の抽選を行います。

抽選科目は履修要項の開設科目一覧の抽選欄に「◎抽」と表示しています。

##### ①抽選申込画面

- ・ トップページ【履修】から【抽選申込】をクリックします。
- ・ 卒業必要単位数を参照したうえで、「科目名称」のプルダウンメニューから履修したい科目名を選択してください。

##### ②抽選科目の検索画面

- ・ 選択した科目の抽選申し込みができる曜日・時限が表示されます。
- ・ 抽選登録したい科目の登録申込希望順位を選択し、最後に「申込」ボタンをクリックします。
- ・ 抽選申込期間中であれば、何度でも申請をしなおすことができます。

※必修科目が開講されている曜日・時限は、予め科目が登録されているため、抽選科目やその他の科目をエントリーすることはできません。

※同曜日・時限に他に履修可能な科目がある場合は、「表示」ボタンをクリックして詳細を確認できます。

※抽選は年次等に関係なく、機械的にランダムで当落選が決まります。

### ③抽選科目の当落選確認

- ・結果発表日になったら、トップページ【履修】から【抽選申込状況一覧】をクリックし、抽選結果の確認をしてください。また、当選科目は履修登録申込の時間割画面上にも表示されています。

抽選申込状況一覧							
<p><b>確認</b> 申込科目の当落選を確認してください。            当選した科目の取消はできません。            ※ 当選した科目は、履修登録申込画面に予め登録されます。            なお、当選した科目の取消は一切認められません。            ※ 抽選科目のうち、定員まで空きのある授業は、履修登録申込期間・履修訂正期間に先着順で登録することができます。</p>							
結果公開期間		9月13日(土)～9月20日(土)					
学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語			
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科	英語 中国語			
抽選結果	希望	開講期	曜日・時限	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数
当選	第1	通年	火3	再履修	196201 / 健康・スポーツ実習		2
当選	第1	前期	火5	再履修	300601 / 中国語IAa		1
落選	第2	通年	水4	再履修	196301 / 健康・スポーツ実習		2
落選	第3	通年	水3	再履修	196311 / 健康・スポーツ実習		2
落選	第2	前期	土3	再履修	301401 / 中国語IAa		1
落選	第3	前期	土3	再履修	301511 / 中国語IAa		1

※抽選科目は、当選した科目の取消をすることはできませんので注意してください。  
 ※定員に空きのある科目がある場合は、履修登録申込期間から先着順で申込が可能になります(ただし、取消不可)。

## (2) 受講先行予約

前期授業開始日前に、主に例年履修者数が大人数になる科目を対象に抽選を行います。

受講先行予約科目は履修要項の開設科目一覧の抽選欄に「◎先」と表示しています。

### ①受講先行予約申込画面

- ・トップページ【履修】から【受講先行予約申込】をクリックします。
- ・卒業必要単位数を参照のうえ、履修したい受講先行予約科目を選択してください。

月	火	水	木	金	土	
1	◎先 【4000401】 禅修 B-204 【抽選科目-申込中】	◎先 【4005801】 仏教と人間 B-204 【抽選科目-申込中】	◎先 【11254701】 英語B B-204 【抽選科目-申込中】	◎先 【40205701】 仏教と人間 B-201 【抽選科目-申込中】 ◎先 【11301301】 中国語IAa B-400 【抽選科目-申込中】		
2		◎先 【4000901】 禅修 B-204 【抽選科目-申込中】				
3		◎先 【40002801】 仏教と人間 B-205 【抽選科目-申込中】		◎先 【40006811】 宗教学概論 B-101 【抽選科目-申込中】		
4		◎先 【112748201】 英語IAa B-400 【抽選科目-申込中】		◎先 【11300601】 中国語IAa B-102 【抽選科目-申込中】		
5						
6						
7						

※受講先行予約の際は、科目の混雑状況を参照することができます。  
 ○…定員に余裕があります。  
 △…定員まで残り僅かです。  
 抽選…定員を超過しました。  
 受講先行予約期間の場合は抽選となります。

- ・各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックし、科目選択画面一覧の「最新」ボタンをクリックすると最新の混雑状況等が表示されます。

**科目選択**

希望する科目のチェックボックスをクリックし、確定ボタンを押してください。  
 一度申込した科目を取り直す場合は、チェックボックスのチェックを外し、確定ボタンを押してください。

申込	曜日	開講	心選	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数	状況
<input type="checkbox"/>	全5	後期	選択	教育教育科目 ライフデザイン分野	224101 / コミュニケーション基礎		2	◎先 申込状況◎先 最新
<input type="checkbox"/>	全5	後期	選択	教育教育科目 社会分野	216751 / 民族と文化		2	
<input type="checkbox"/>	全5	後期	必修	宗教教育科目 必修	206001 / 仏教と人間		4	
<input type="checkbox"/>	全5	後期	選択	教育教育科目 社会分野	216501 / 統計学		4	
<input type="checkbox"/>	全5	後期	選択	教育教育科目 社会分野	217501 / 法曹実務		4	

確定

**最新混雑状況**

【科目選択画面】

\*科目ID (2,3) 11122423 表示

曜日	開講	心選	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数
全5	後期	選択	教育教育科目 ライフデザイン分野	224101 / コミュニケーション基礎		2

戻る

## ②受講先行予約の当落選確認

- ・結果発表日になったら、トップページ【履修】から【履修登録申込】をクリックします。
- ・落選した科目は、「自動削除科目一覧」に落選したことが表示されています。
- ・当選した科目は、時間割画面上に表示されています。

※当選した受講先行予約科目は、履修訂正申込期間に取消をすることができます。

※定員に空きのある受講先行予約科目は、履修訂正申込期間に先着順で申込みすることができます。

※履修登録申込期間中の受講先行予約科目は、当選科目の取消、定員に空きのある科目の追加はできませんので注意してください。

## (3) 履修登録

抽選科目、受講先行予約科目の申込期間が終了すると、履修登録申込期間が始まります。履修登録科目は、原則すべての科目に履修者数の上限を設けています。これを**受講予約科目**と呼びます。抽選科目と異なる点は、授業開始日以降に履修申込を行う点と、当選した科目は履修訂正申込期間に取消ができる点です。

受講予約科目は履修要項の開設科目一覧の抽選欄に「◎予」と表示しています。

### ①履修登録画面

- ・トップページ【履修】の項目より【履修登録申込】をクリックします。
- ・前期・後期別になった時間割表形式の画面が表示されます。
- ・各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックすると、自分が履修できる科目と最新の混雑状況等が表示されます。

※科目名の下に表示されている「申込状況」から、混雑状況がわかります。

混雑状況の説明

- …定員に余裕があります。抽選科目は先着順で登録を受付けます。
- △…定員まで残り僅かです。抽選…定員を超過しました。受講予約科目は抽選となります。
- 満員…現在定員を充足しています。

## 4. 履修確認・履修訂正

登録した科目の修得見込単位数の集計は、履修訂正期間から確認できます。

履修訂正期間は履修登録申込期間までに当選または申込をした科目、履修確認期間は履修訂正申込期間までに当選または申込をした科目の単位集計を表示しています。

### ①履修確認画面

- ・ トップページ【履修】の項目より【履修確認】をクリックすると、以下の画面が表示されます。
- ・ 注意書きを一読のうえ「確認」ボタンを押してください（ポップアップが表示されます）。
- ・ 登録した科目に誤りがないか、また、履修登録した結果の単位修得状況について、確認してください。
- ・ 登録内容に誤りがない場合、画面を印刷して保管してください。

**確認**

①登録内容も確認してください。  
 ②2年次まで卒業年次または、画面下部の見込単位数を必ず確認しましょう。  
 ③エラーメッセージが表示された場合は、ヘルプ等を参照し、エラー内容を訂正してください。エラーが解消している場合、履修登録が完了せず、登録科目が決定しません。  
 ※履修確認画面は履修確認期間が過ぎると表示されません。履修確認画面を必ずプリントアウトして保管しましょう。

**履修確認**

履修を確認したら、必ずプリントアウトして保管してください。

**確認**

確認期間 4月16日(水)~4月28日(月)

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科

自動削除科目一覧(カリンダ-から自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

自動で削除された科目はありません。

**時間割**

	履修制限単位数	履修予定単位数【エラーを含む】 ※( )は履修制限外	履修可能単位数
申込単位数状況	年間 54	24 (0)	30

曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	抽選	A・B	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位 数	教場	エラー
月5	前期	必修	外国語科目			仏 248201 / 英語 II Aa		1	9-408	
月5	後期	必修	外国語科目			仏 249801 / 英語 II Ab		1	9-408	
火1	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 000401 / 坐禅 I		4	禅研-坐禅 堂	
火3	通年	必修	保健体育科目 必修	抽		仏 196201 / 健康・スポーツ実習		2	体育館	
火4	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 002801 / 仏典・禅観解説		4	8-256	
火5	前期	必修	外国語科目	抽		仏 300601 / 中国語 I Aa		1	9-172	
水2	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 000901 / 禅思想概説		4		
水3	前期	選択	保健体育科目 選択			仏 197502 / 生涯スポーツ実習 II (前期・基礎)		1	体育館	
木1	前期	必修	外国語科目			仏 254701 / 英語 II Ba		1	玉-204	
木1	後期	必修	外国語科目			仏 256301 / 英語 II Bb		1	玉-204	
金4	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 006811 / 宗教学概論		4	8-151	

※「修得見込単位数」の欄を見ると、今年履修する科目の合計単位数が科目分野別にわかります。

※「不足見込単位数」は、今年履修する科目の単位を全て修得できた場合の、卒業までの残り単位数です。

**単位修得状況(後期・通年科目成績認定)**

科目分野	宗必	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保体	専必	専選	卒論	広域	合計	随意	資格
卒業必要単位数	4	<	---	16	---	>	16	8	4	2	64	12	8	6	124		
修得単位数								4			20				24		
不足単位数	4	<	---	16	---	>	16	4	4	2	44	12	8	6	100		
修得見込単位数								4	1	2	16			1	24		
不足見込単位数	4	<	---	16	---	>	16	3			28	12	8	5	76		

※単位はフレックスA・Bの修得を前提として、履修科目の成績認定が完了した科目の履修単位数を指します。  
 ※卒業必要単位には、聴覚科目と講義講座科目をふくみません。  
 ※卒論欄は、「卒業論文」が必修の場合に表示されます。

見込判定(2年次・卒業年次)	3月進級可能
9月卒業申請	
フレックスA・Bでの修得	

印刷

- 16 -

## ②履修訂正期間でエラーがある場合

- エラーの生じている場合は、訂正が必要です。エラー内容については、「エラー内容の確認」ボタンをクリックし、エラー内容を確認してください。

履修確認

エラー

履修登録内容にエラーがあります。内容を確認してください。詳細はヘルプを確認してください。

エラー内容の確認

**確認期間** 4月16日(水)～4月29日(水) 検定中につき「9月12日(金)」まで延長

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科	英語 中国語

**自動削除科目一覧** (カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

自動で削除された科目はありません。

時間割

申込単位数状況		履修制限単位数	履修予定単位数【エラーを含む】 ※( )は履修制限外	履修可能単位数
年間	54		24 (0)	30

曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	抽選 A・B	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位 数	教場	エラー
月5	前期	必修	外国語科目		0248201 / 英語IAa		1	9-408	
月5	後期	必修	外国語科目		0249801 / 英語IAb		1	9-408	
火1	通年	必修	専門教育科目 必修		000401 / 坐禅I		4	禅研一坐禅 室	
火3	通年	必修	保健体育科目 必修	抽	0196201 / 健康・スポーツ実習		2	体育館	91
火4	通年	必修	専門教育科目 必修		002801 / 仏典・禅籍解説		4	8-256	
火5	前期	必修	外国語科目	抽	0300601 / 中国語IAa		1	9-172	
水2	通年	必修	専門教育科目 必修		000901 / 禅思想概説		4		
水3	前期	選択	保健体育科目 選択		0197502 / 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)		1	体育館	
木1	前期	必修	外国語科目		0254701 / 英語IBa		1	玉-204	
木1	後期	必修	外国語科目		0256301 / 英語IBb		1	玉-204	
金4	通年	必修	専門教育科目 必修		006811 / 宗教学概論		4	8-151	

※エラーがある科目は、赤色の網掛けになります。

## ※主なエラーメッセージ

エラーコード	エラーメッセージ	エラー内容等
27	抽選登録なし	抽選登録科目のため、履修登録ができません。
91	先着オーバー	定員を超過したため、登録できません。
6	同一曜日・時限に2科目以上履修	該当科目の訂正をしてください。
61	同一曜日・時限に2科目以上履修 ※セメスター科目主曜日と重複	
62	同一曜日・時限に2科目以上履修 ※セメスター科目副曜日と重複	
21	同一科目を2科目以上履修	
22	重複履修確認	既に修得済みの科目と同等の科目を登録しています。履修不可科目を確認してください。
79	同時履修不可	同等科目を登録しています。履修不可科目を確認してください。
78	同一開講期の履修不可	履修前に修得する必要がある科目があります。履修条件を確認してください。

42	演習担当者エラー	演習科目と同一担当者・同一曜日時限開講の科目のみ履修可能です。 該当する科目を登録してください。
75	特定者履修科目エラー	指定された学生以外は履修できません。
77	キャンパス間移動時間エラー	玉川・駒沢キャンパス間の移動時間が不足しているため、履修登録できません。 ※キャンパス間の移動時間は約60分
72	介護等体験エラー	登録していない講座の科目のため、履修できません。
76	履修条件エラー	履修前提条件となる科目または単位数が不足しています。 履修条件を確認してください。
35	単位不足エラー	
38	前提条件科目不足エラー	
39	指定科目不足エラー	
51	履修制限単位エラー	年間履修制限を超えて登録しています。
31	他学部履修オーバー	他学部履修科目の履修制限（既修得単位を含む）を超えて登録しています。
36	昼夜制限オーバー（専門教育）	専門教育科目の分野の昼夜開講科目制限（既修得単位含む）を超えて登録しています。
40	昼夜制限オーバー（教養教育）	教養教育科目の分野の昼夜開講科目制限（既修得単位含む）を超えて登録しています。
44	保健体育オーバー	保健体育科目の履修制限単位数を超えて登録しています。 (法学部のみ)
	ロックされています。	指定科目の履修予定がある等により、履修科目の登録はできません。詳細は窓口で確認してください。

### ③履修訂正申込画面

- ・トップページ【履修】の項目より【履修訂正申込】をクリックすると、以下の画面が表示されます。

**履修訂正申込**

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 完了

**STEP1** カレンダー内の選択ボタンをクリックするか、科目一括選択ボタンをクリックして、履修したい科目を選択してください。詳細はヘルプを確認してください。  
履修登録期間内は、随時、申込内容の変更が可能です。

訂正期間 4月16日(水)～4月22日(火)

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語
BK0018	駒澤 次郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教育学部 禅学科	英語 中国語

単位修得状況(後期・通年科目成績認定) 非表示

科目分野	宗必	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保体	専必	専選	卒論	広域	合計	随意	資格
卒業必要単位数	4	<---	16	----		16		8	4	2	64	12	8	6	124		
修得単位数								4			20				24		
不足単位数	4	<---	16	----		16		4	4	2	44	12	8	6	100		

※Lifeはライフデザイン分野を表します。  
※卒業必要単位には、随意科目と課程課履修科目をふくみません  
※卒業論は、「卒業論文」が必修の場合に表示されます

自動削除科目一覧(カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	履修コード / 科目名称	教員氏名	単 位 数	事 由
水3	前期	選択	保健体育科目	自197502 / 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)		1	落選(定員オーバー)

※エラーにより自動削除された科目が表示されます。

	月	火	水	木	金	土
1	選択	④【4】000401 坐禅Ⅰ 自 禅研・坐禅堂	選択	④【1】256301 英語Ⅱ Bb 自 五-204	選択	選択
2	選択	選択	④【4】000901 禅思想概説 自	選択	選択	選択
3	選択	②【2】196201 健康・スポーツ実習 自 体育館 《抽選科目-当選》 削除	選択	選択	選択	選択
4	選択	④【4】002801 仏典・禅籍概説 自 8-256	選択	選択	④【4】006811 宗教学概論 自 8-151	選択
5	④【1】249801 英語Ⅱ Ab 自 9-408	選択	選択	選択	選択	選択
6	選択	選択	選択	選択	選択	
7	選択					選択

※各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックすると、混雑状況、最新混雑状況を確認することができます。  
混雑状況の説明  
○…定員に余裕があります。  
先着順で登録を受付します。  
△…定員まで残り僅かです。  
満員…現在定員を充足しています。

## 5. 後期履修

9月13日（土）～19日（金）は、後期履修期間です。この期間では、年間履修制限単位数の残り単位数の範囲内（前期不合格科目含む）で、後期開講科目を追加履修及び取消しをすることができます。なお、先着順での登録となります。当選した抽選科目の取消はできませんので注意してください。

## 6. 他学部履修 ※医療健康科学部を除く。

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。他学部履修科目は3年次から履修できます。履修する際は、「他学部履修科目授業時間表（PDF）」と該当科目のシラバスをよく確認してください。

履修方法の詳細については、第2章「他学部履修科目」の頁を確認してください。

## 7. 再履修

再履修とは、前年度もしくは前期に履修登録し、単位を修得できなかった科目を再度履修することをいいます。単位を修得できなかった場合、以下の点に注意してください。

- 再履修する科目の単位は、各年次の年間履修制限単位数に含まれます。
- 後期履修で再履修を申込みする際は、年間履修制限単位数の範囲内に限ります。
- 再履修する科目の担当教員が異なる場合でも、科目名が同じであれば同一科目の再履修と見なします。
- 再履修専用のクラス（再クラス）を開講している科目があります。再クラスがある科目は、授業時間表やシラバスの付記欄に「再クラス」と明記しています。対象科目は以下のとおりです。
  - ・「仏教と人間」
  - ・「健康・スポーツ実習」（必修の学部のみ）
  - ・必修・選択必修の外国語科目（「外国語再履修科目授業時間表 PDF」参照）
  - ・「坐禅Ⅰ」（仏教学部のみ）
  - ・「Written CommunicationⅠ・Ⅱ」「Critical Reading」「Introduction to Writing」（グローバル・メディア・スタディーズ学部のみ）
- 初修年次に、学生番号指定されていた科目を再履修する際は、学生番号に関係なく履修することができます。
- 1年次に玉川キャンパスで開講していた必修・選択必修科目の再履修は、駒沢キャンパスで行います。ただし、平成27（2015）年度から、「仏教と人間」「健康・スポーツ実習」の再クラスは、駒沢キャンパスでは開講されません（医療健康科学部を除く）。平成26（2014）年度までに単位を修得できなかった場合、入学年度に関わらず玉川キャンパスで再履修をすることになります。なお、昼休みをはさむ2～3時限を除き、

キャンパス間の連続した時限の履修登録は許可していない点に注意してください。

- (7) 履修年次に上限の決められた科目があります。自分の年次が上限を超えた場合は、それらの科目を再履修することはできません。開設科目一覧をよく確認しましょう。

## 8. シラバスの閲覧

シラバスとは、各科目の授業計画についてまとめられたものです。授業概要、授業スケジュール、成績評価の方法、教科書等について詳細に掲載されています。

シラバスは、KONECO から閲覧します。時間割表画面や、履修登録等の画面上に表示された科目名をクリックして閲覧できます。この他に、科目名や担当教員名を直接入力して検索する機能もあります。

### ①時間割表示形式画面からシラバスを閲覧する

前期   後期 非表示		月	火	水	木	金	土
1	選択		④【4】000401 坐禅Ⅰ 禅研-坐禅室	選択	①【1】254701 英語Ⅲa 玉-204	④【4】070901 心理学概論 1-303	選択
2	選択	選択		④【4】000901 禅思想概説 2研-209	④【4】000321 仏教漢文入門 2研-209	選択	選択
3	選択	②【2】196201 健康・スポーツ実習Ⅰ 体育館 《抽選科目-当選》	申込状況【○】 ②【2】170901 日本語文化理解Ⅰ 4-303 《受講予約科目-申込中》	②【2】196311 健康・スポーツ実習Ⅱ 体育館	選択	①【1】301401 中国語ⅠAa 9-175	①【1】301511 中国語ⅠAa 9-403
4	選択	④【4】002801 仏典・禅語概説 8-256	②【2】196301 健康・スポーツ実習Ⅱ 体育館	申込状況【○】 ②【2】190001 経済学A 8-380 《受講予約科目-申込中》	④【4】006811 宗教学概論 8-151	ロックされています。詳細は教務部窓口にお問い合わせください。 2単位、1時限長	

※時間割表形式の画面で、科目名をクリックするとその科目のシラバスが閲覧できます。  
※各曜日・時限の「選択」ボタンをクリックすると、自分の所属学科で履修可能な科目名が表示されます。

## ②シラバス検索画面からシラバスを閲覧する

確認

指定した検索条件に一致するシラバス一覧を表示します。  
※詳細を確認する場合は、該当するシラバスの「履修コード / 科目名称」をクリックしてください。

「健康・スポーツ実習」等シラバスはこちら

条件を隠す

検索範囲  履修  すべて

学種  学部検索  大学院検索

年度  年度

配当学部

配当学科

配当年次  1  2  3  4

配当科目 / 分野  /

履修コード

科目名称  (漢字、カナ、英語含む)

担当教員氏名  (漢字、カナ、英語含む)

開講期間  前期  後期  通年

開講曜日  月  火  水  木  金  土  日  特曜日  集中

開講時限  1  2  3  4  5  6  7  8  9

開講キャンパス  駒沢  玉川  深沢

キーワード  (部分一致)

クリア 検索

※シラバス検索画面では、初期設定で「検索範囲」が「履修」に指定されており、自分の所属学科で履修可能な科目だけが検索される設定になっています。

※「検索範囲」を「すべて」に変更した場合、他学部の時間割をすべて閲覧できるようになります。ただし、自分の所属学科では履修できない科目も検索されるようになってしまいます。たとえ自分の所属学科と同じ科目名があったとしても、必ずしもそれを履修できるとは限りませんので注意してください。

## ③シラバス照会画面

シラバス照会

PDF出力

履修コード/科目名称	000401 / 新入生セミナー	
開講年度・期	2014年 前期	開講曜日・時限
単位数	2	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	駒澤 太郎(コマザワ タロウ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	<p>高度な専門に触れることになる大学においては、高等学校等におけるよりも更に「自立的」「主体的」な学習態度が要求されます。問題意識をもって世界に向き合う中でテーマや課題を自ら探し出し、必要な資料や文献等の調査を行い、レポートや発表によって自分の考えを他者に的確に伝え、他者の意見に真摯に耳を傾けること——専門分野を問わず、これが「自立的」「主体的」な学習の道筋です。本科目はこうした学習のための入り口であり、次の4点を共通の指針としています。</p> <p>①駒澤大学において、誇りある大学生としての自覚を養う。 ②学びの態度を「学習」から「学問」へと深化させる。 ③他者との交流を通して自己を磨く。 ④たえず流動する社会のなかで自己を方向づけ、位置づける。</p>	
到達目標(ねらい)	「自立的」かつ「主体的」な学習態度を身につけ、今後の大学生活を乗り切るものとするために、授業概要の4点は重要な柱となるはず。すべての新入生がこれらの柱の意味を理解し、大学で学ぶことの意義について考えを深めることが本科目の目標です。	
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション
	第2回	大学で学ぶとは？
	第3回	演習1

※「PDF出力」ボタンをクリックすると、表示されているシラバスのPDFファイルをダウンロードすることができます。履修を決めた科目のシラバスはPDFファイルを保存しておくか、印刷しておきましょう。

#### ④シラバス照会画面の用語説明

履修コード／科目名称	履修コード（各科目に付けられた固有番号）と科目名称
開講年度・期	科目の開講年度と開講期（通年・前期・後期）
開講曜日・時限	科目の開講している曜日・時限
単位数	その科目を合格すると得られる単位数
付記	科目に関する補足情報
主担当教員氏名	その科目の代表教員（採点を行う教員）の氏名
副担当教員氏名	代表教員以外の教員氏名
授業概要	その科目で行われる授業の概要について
到達目標（ねらい）	その科目で修得する知識・技術等の達成目標について
授業スケジュール	各回の授業スケジュールについて。※スケジュールはシラバス作成時点の予定であるため、授業の進捗によって変更される可能性があります
準備学習	履修に際し、事前事後の学習に関する指示
履修上の留意点	履修する際の留意点や、受講方法に関する指示
成績評価の方法	成績評価の方法（試験やレポート等）や評価割合について
教科書／テキスト	授業で使用する教科書やテキストについて。書籍の場合は購入が必要となります
参考書	受講にあたり、参考にすべき図書等について
その他	その他、担当教員からの指示やメッセージ等
関連リンク	授業に関連した URL

## 授業

### 1. 授業期間

本学では学則の定めにより、1年間を前期・後期の2つの期間に分けて授業を実施しています。

期間については、①前期または後期のみ授業が行われる半期科目と、②前期・後期両方の期間を使って授業を実施する通年科目の2種類があります。

前期	4月1日～9月15日	※夏季休業 7月29日～9月15日
後期	9月16日～3月31日	※冬季休業 12月26日～1月7日

※休業期間を利用して、集中授業が開かれる科目があります。詳しくは、「開設科目一覧」を参照してください。

### 2. 休日授業日

各曜日の授業日数を調整するため、特定の祝日・休日等を授業日として設定しています。授業日に振り替えた休日は、別の日程で同じ日数分を休日に置き換えています。

休日授業日

10月13日（月）	体育の日
11月24日（月）	勤労感謝の日の振替休日

### 3. 課題授業

休日授業日を含む通常の授業とは別に、課題授業が前期および後期に実施されます。

各科目の課題授業の実施時期や方法については教員からの指示に従ってください。シラバスに記載されている場

合もありますので注意してください。

課題授業の方法は以下にあげるものがあります。

①駒澤大学 e-learning システム「YeStudy」を活用

利用方法はホームページ>在学生・教職員の方（ログイン画面）>「YeStudy」ログイン画面の指示に従ってください。

②補講

平日の夜間時間帯や、土曜日の午後を中心に実施されます。実施日や教場については受講生に対し KONECO で配信されます。

複数の補講授業が同一時限に重なってしまった場合、必修科目を最優先し、科目担当教員に相談してください。

教員に対しては科目の重なりがあった際は学生から相談があることを伝えてあります。

③レポート提出

教員からレポート課題が出題されます。提出期限、体裁等は教員の指示に従ってください。

④ C-learning による課題提出

教員から指示があります。パソコンを利用してレポートを提出してください。このアプリの利用は、つぎのアドレスにログインが必要です。

<https://komazawa.c-learning.jp/s/>

## 4. 補講

各教員の授業の進行状況や休講等による不足分を調整するため、補講を実施することがあります。補講の情報は KONECO に配信されます。

開講期	実施期間	曜日・時限
前期	6月1日～前期授業最終日	平日：6・7時限、土曜日：4・5時限 ※他の時限で行われる場合もあります。
後期	11月1日～後期授業最終日	

## 5. 授業時間

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時間	9：00	10：40	13：00	14：40	16：20	18：00	19：40
	～ 10：30	～ 12：10	～ 14：30	～ 16：10	～ 17：50	～ 19：30	～ 21：10

※定期試験期間の時間帯については、「試験時間」の頁を参照してください。

## 6. 授業の欠席

病気・ケガ・事故・冠婚葬祭など、やむを得ない理由により授業を欠席する場合、大学には所定の欠席届がありませんので、直接各授業の担当教員に申し出てください。

可能な範囲で、欠席を証明するもの（1週間以上の傷病であれば医師の診断書等）を持参することをお勧めします。

- 休学については、教務部11番窓口へご相談ください。
- 病気・怪我などで1か月以上の入院治療を要する場合は、事前に保健管理センターへ連絡してください。
- 感染症により授業を欠席した場合で担当教員から証明書類の提出を求められた場合は、診断書のほか、「感染症」の治癒証明書（保健管理センターHP [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/h-kansen/] 参照）の用紙を利用して提出することもできます。

- 教職課程、博物館学講座、社会教育主事講座、社会福祉士の実習のため、他の授業を欠席をする場合、所定の欠席届を用意していますので、教務部2番窓口へ申し出てください。

## 7. 代講

病気・退職等の理由のため、年度の途中で担当教員が変更することを代講といいます。  
代講となった授業については、KONECO に掲示します。

## 8. 休講

大学や授業担当教員にやむを得ない事情が発生した場合に、授業を休講することがあります。休講について連絡があり次第、KONECO に掲示します。

教場黒板への板書での休講連絡は原則として行いません。授業開始後30分を経過しても連絡がない場合は、教務部9番窓口へ申し出て、指示を受けてください。

## 9. 震災及びその他の災害・事故に伴う授業休講措置

(休講措置を検討する状態)

- ・東急田園都市線が運休もしくは運転を見合わせている場合
- ・台風、低気圧等により、東京23区内及びその隣接地域に「暴風警報」「暴風雪警報」「大雨警報」「大雪警報」が発表された場合

上記の場合、休講するか否かを大学が検討し、決定し次第、以下の手段でお知らせします。緊急時はアクセスが集中しますので、以下の優先順位で確認してください。

- ①パソコンからの KONECO サイト利用
- ②携帯電話からの KONECO サイト利用
- ③パソコンからの大学ホームページ利用
- ④携帯電話からの大学ホームページ利用
- ⑤大学テレフォンサービス (03-3418-9028)

## 10. 教場変更・教場貸出

### ●教場変更

教場が変更となる場合、KONECO に掲示します。継続して変更になる場合と、当日のみ変更になる場合があります。

### ●教場貸出

ゼミ活動で教場を使用する場合は、担当教員の承諾を得た上で、教務部窓口へ「教場使用願」を提出してください。サークル等で教場を使用する場合は、学生部へ申し出てください。

## 11. 大学からの掲示・連絡

大学からの掲示・連絡は、KONECO と掲示板に掲示されます。掲示板の場所と種類については、表紙裏の「事務室・掲示板配置図」を参照してください。

## 12. e-learning システム (YeStudy)

本学のeラーニングシステム“YeStudy (イエスタデイ)”を利用した授業科目があります。担当教員がYeStudyのコースに科目を開設している場合のみ利用できますので、担当教員の指示に従って登録してください。また、利用方法・操作方法については、1号館3階事務室の「e コンシェル」がサポートを行っています。

### ● YeStudy へのアクセス

<ul style="list-style-type: none"><li>・ PC からアクセス <a href="https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/">https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/</a></li><li>・ 携帯電話からアクセス <a href="http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/">http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/</a></li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1号館3階 総合情報センターサポート窓口 月～金 9:00～17:00 (12:30～13:30を除く) e コンシェル (メール) <a href="mailto:econ@komazawa-u.ac.jp">econ@komazawa-u.ac.jp</a> ※長期休業期間等、サポート時間が変更になる場合があります。</li></ul>	QR コード 
---	---

なお、学内のパソコン利用には、KOMAnet ユーザIDが必要です。

パスワードの再発行は、4号館2階事務室にて対応しています。

詳細は総合情報センターのホームページ、または『総合情報センター利用ガイド』で確認してください。

## 13. アンケートシステム

本学では、FD (Faculty Development) の一環として、各教員の授業改善を目的に「学生による授業アンケート」を前期と後期の年2回実施しています。アンケート実施期間の前に、実施に関する連絡を行います。

なお、アンケートはアンケートシステム“C-learning (シーラーニング)”を利用して実施します。

システムを利用するために、事前に利用登録を行っておいてください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ スマートフォン、携帯電話、PC からアクセス <a href="https://komazawa.c-learning.jp/s/">https://komazawa.c-learning.jp/s/</a></li><li>・ C-learning の利用登録については、<a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jugyo/clearning/">http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jugyo/clearning/</a> を参照してください。</li><li>※問い合わせ先 (教務部 教育支援係)</li></ul>	QR コード 
---	---

## Ⅱ 試験・成績

### 試験

#### 1. 試験について

受講する科目の多くは、授業に出席し、試験を受けることで評価されます。

試験はいくつかの種類がありますので、自分の受講している授業がどの試験を行うのかを KONECO や掲示板等で必ず確認してください。

また、履修する科目がどのような試験を行うかについては、シラバスを参照してください。

#### ●試験の種類

定期試験（筆記）	前期科目定期試験期間、後期・通年科目定期試験期間に行われる筆記試験。試験会場で60分間で行われる。
定期試験（レポート）	前期科目定期試験期間、後期・通年科目定期試験期間に行われるレポート試験。試験開始時間から30分以内に試験会場へ提出しなければならない。
追試験（筆記）	やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者のための筆記試験。
追試験（レポート）	やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者のためのレポート試験。
授業内試験	授業期間中に担当教員が任意で行う試験。筆記試験あるいはレポート試験等で行われる。定期試験や追試験と異なり、試験実施の告知は授業内だけで行われ、掲示がされない場合もあるので注意が必要。

※やむを得ない理由については、「5. 追試験受験対象となる欠席理由」を参照。

#### 2. 定期試験

##### ●定期試験の実施日程

前期科目	7月16日（水）～18日（金）	※専門教育科目集中試験
	7月22日（火）～26日（土）、28日（月）	
後期科目と 通年科目	1月13日（火）～15日（木）	※専門教育科目集中試験
	1月19日（月）～23日（金）、26日（月）	※26日は土曜日の授業科目の試験を行います。

※専門教育科目集中試験とは、専門教育科目のうち、以下の条件のいずれかに該当する科目の試験を特別な日程で実施するものです。日程および、履修中の科目が該当しているかどうかは、試験掲示を確認してください。

- ・同一教員が同一科目名の授業を複数担当している科目
- ・履修人数が大人数である科目

##### ●定期試験の注意事項

- ・履修登録した科目のみ受験できます。従って、同一科目名、同一教員名であっても、履修登録していない開講期・曜日・時限の科目は、受験できません。
- ・定期試験はすべて駒沢キャンパスで実施します。
- ・筆記試験の代わりにレポートの提出を課せられた場合は、論題・学科・年次・学生番号・氏名を明記し、読み易く綴じて提出してください。なお、指定された曜日・時限に提出しなければなりません。
- ・試験時間割は履修登録している科目が開講している曜日・時限とし、試験日及び教場等については掲示で発表します。試験時間は通常の授業時間とは異なります。（「試験時間」の頁を参照）

### 3. 授業内試験

授業内試験とは、授業期間中に担当教員が任意で行う試験のことです。筆記試験あるいはレポート試験等で行われます。定期試験や追試験と異なり、試験実施の告知は授業内だけで行われ、掲示がされない場合もあるので注意が必要です。また、大人数授業の場合、普段の教場とは異なる教場で試験が行われる場合があります。

なお、試験掲示がされている科目については、掲示板・KONECO で閲覧することができます。

### 4. 追試験

追試験は、次項に掲載した理由により、定期試験（レポート提出を含む）を受けられなかった場合に、受験することができる試験です。

定期試験欠試者は教務部に相談のうえ、所定の「追試験受験願」に記入し、証明書を添付して下記期日までに教務部（8番窓口）の受験許可を得てください。

	追試受験願受付	追試験期間	備考
前期科目	7月30日（水）まで	8月18日（月）～23日（土）	
後期科目と 通年科目	1月28日（水）まで	2月9日（月）・10日（火）・ 12日（木）～14日（土）	
		2月16日（月）	※16日は水曜日の授業科目の追試験を行います。

### 5. 追試験受験対象となる欠席理由

全ての書類において、該当日時等の記載があるもの。なお原本（コピー不可）に限る。

	欠席理由	提出する証明書・書類等
A	本人の病気・負傷	医師の診断書
B	忌引	3親等以内、会葬御礼等証明するもの
C	公共交通機関の遅延	当該機関で発行された遅延証明書
D	就職試験等	公共機関・会社等が発行する受験証明書、または試験の案内状か受験票の写し
E	勤務の都合	定職者に限る、勤務先の証明書
F	交通事故	交通事故証明書
G	天災その他の災害	被災を証明するもの
H	公式試合	公式試合参加を証明するもの
I	結婚式	招待状等証明するもの
J	ボランティア参加	参加証明書
K	他大学での履修科目の試験が本学の定期試験と重複した場合	
L	資格取得のための実習等	本学の資格課程講座に限る
M	その他公的な会議・式出席	案内状等証明するもの
N	その他	学部長が特別に認めた場合、教務部所定の許可願用紙と理由が明記されている書類、証明書等

※ただし、医師の診断を要しない程度の病気や寝坊による遅刻等は、やむを得ない理由とはみなさないで注意してください。

## 提出する証明書・書類等についての注意事項

※全ての書類において、該日時等の記載があるもの、なお原本（コピー不可）に限る。

### A. 本人の病気・負傷

試験当日の症状の記載がある医師の診断書に限る。

### C. 公共交通機関の遅延

原則、試験当日の申請に限る。遅延証明書は通学経路で利用する交通機関で発行されたものに限る（但しインターネットでの発行は不可）。

### H. 公式試合

大学の部活動等で選手として参加する場合に限る。

### K. 他大学での履修科目の試験が本学の定期試験と重複した場合

履修証明書あるいは試験日時等の記載のあるものに限る。

### L. 資格取得のための実習等

実習先、実習期間の記載のあるものに限る。

## 6. 受験心得

- 1 当該科目を履修登録していなければなりません。
- 2 指定された日時・試験場で受験しなければなりません。
- 3 試験中、学生証を机上に提示しなければなりません。ただし、仮受験票を以って学生証に代えることができます。
- 4 試験開始後30分以内に当該試験場に入室しなかった者は、受験できません。
- 5 試験終了までは試験場を退場できません。
- 6 学部・学科・年次・学生番号・氏名の記入はペンまたはボールペン書きとします。
- 7 答案または受験者名簿に記名の無い者の受験は無効と扱われます。
- 8 試験場において、受験者は試験監督員の指示に従わなければなりません。
- 9 試験場の秩序を乱した者、または試験実施の妨げになる行為をした者は、主任監督の判断により退場を命じられ、学則に基づき処分されます。
- 10 試験において下記のような不正受験行為が行われた場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されま  
す。
  - a. 代人受験
  - b. 答案の交換
  - c. カンニングペーパー等の使用
  - d. 机、辞書、身体等への書き込み
  - e. 他人の答案の転写
  - f. 言動または携帯電話等による連絡
  - g. 許可の無い教科書、ノート、参考書等の参照
  - h. 参照が許可された教科書、ノート、参考書等の貸し借り
  - i. 答案の持ち出し
  - j. その他、上記行為に準ずる行為
- 11 追試験受験者は、受験許可証を持参しなければなりません。

## 7. 試験時間

〈定期試験・追試験〉

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時間	9:30 ～ 10:30	11:00 ～ 12:00	13:00 ～ 14:00	14:40 ～ 15:40	16:20 ～ 17:20	18:10 ～ 19:10	19:40 ～ 20:40

※レポート提出は、開始後30分で受付を終了しますので遅れないよう注意してください。

## 8. 試験実施規程

### 試験実施規程

(昭和59年7月13日制定)

(目的)

第1条 この規程は、駒澤大学学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

(試験の実施責任)

第2条 試験は、授業科目を開設する教授会等の責任のもとに実施される。

(試験の種類及び実施の時期)

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

(1) 定期試験 履修した授業科目の単位修得の認定のために学期末の所定試験期間内に行う試験をいう。

(2) 追加試験 (以下「追試験」という。) 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について、所定試験期間内に行う試験をいう。

(3) 授業内試験 第1号、第2号の試験とは別に平常の授業時間内に授業科目担当者が行う試験をいう。

2 定期試験及び追試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、授業内試験については、この限りではない。

(定期試験実施本部)

第4条 定期試験及び追試験の円滑な実施のため定期試験実施本部を設ける。

2 定期試験実施本部に必要な事項については、別に定める。

(試験の方法)

第5条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担当者は、レポート提出をもってこれに代えることができる。

(試験時間)

第6条 試験時間は、原則として60分とする。

(受験資格)

第7条 定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

(1) 当該授業科目を履修していること。

(2) 授業料その他の学費を納入していること。

2 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、授業時間数の3分の2以上に出席していない者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。

3 追試験を受験するためには、当該授業科目の追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第8条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目の受験資格を失う。

(1) 学生証を携帯していないとき。

(2) 試験開始後30分以内に試験場に入室しなかったとき。

(3) 試験監督員の指示に従わないとき。

(4) 不正受験行為の事実が確認されたとき。

(受験心得)

第9条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効の答案及びレポート)

第10条 次の各号の一に該当する答案及びレポートは、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案及びレポート
- (2) 不正受験行為により作成された答案及びレポート
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案及びレポート
- (4) 指定された時間及び場所に提出されない答案及びレポート
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(試験監督)

第11条 試験の監督は、当該授業科目担当者の責任においてこれを行う。ただし、必要あるときは、補助試験監督員を置くことができる。

2 試験監督員は、試験場内の秩序を維持し、試験を厳正かつ円滑に実施する任にあたる。

3 試験監督要領は、別にこれを定める。

(不正受験行為の扱い)

第12条 試験監督員は、試験実施中に学生が不正受験行為をしたときは、受験を停止させ、学生証、答案用紙並びに不正受験行為に使用した物品等を証拠品とし、当該学生を伴って教務部長（又は教務課長）に報告するものとする。

2 教務部長（又は教務課長）は、試験監督員及び当該学生より事情を聴取し、不正受験行為の事実確認を行う。

3 当該学生の不正受験行為の事実を確認したとき、教務部長は、当該授業科目担当者の意見を付し、証拠品を添えた報告書を学生部長に速やかに提出するものとする。

4 試験実施後、不正受験行為が発見されたときも、前項に準じてこれを取り扱うものとする。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部の所管とする。

附 則

この規程は、平成21年10月30日から施行する。

## 9. 不正受験行為者処分規程

### 不正受験行為者処分規程

(昭和59年7月13日制定)

(目的)

第1条 この規程は、試験実施規程第12条及び第13条並びに法科大学院試験実施規程第12条及び第13条に基づき、定期試験及び追加試験における不正受験行為者の処分に関する必要事項について定めるものとする。

(決定及び通達)

第2条 不正受験行為者の処分決定は、学部教授会又は法科大学院研究科教授会の議を経て学長が行い、本人への通達は、学部長又は研究科長が行う。

(不正受験行為の内容)

第3条 不正受験行為の内容は、次のとおりとする。

- (1) 代人受験
- (2) 答案の交換
- (3) カンニングペーパー等の使用
- (4) 机、辞書、身体等への書込み
- (5) 他人の答案の転写
- (6) 言動又は携帯電話等による連絡
- (7) 許可のない教科書、ノート、参考書等の参照
- (8) 参照が許可された教科書、ノート、参考書等の貸し借り
- (9) 答案の持ち出し
- (10) その他、上記各号に準ずる行為

(処分の種類)

第4条 不正受験行為者の処分は、次のとおりとする。

- (1) 前条第2号から第10号の不正受験行為を行った者は、譴責処分とし、当該受験科目を無効とする。

(2) 前条第1号の不正受験行為を行った者及び前条第2号から第10号の不正受験行為を再度行った者は、停学処分とし、当該期の定期試験及び追加試験期間の全受験科目を無効とする。

(3) 前条第1号を含む不正受験行為を再度行った者及び前条第2号から第10号の不正受験行為を三度行った者は、退学処分とする。

(不正受験行為を助けた者の処分)

第5条 第3条に定める不正受験行為を助ける行為を行った者は、前条の各号に準じて処分する。

(事後発覚者の処置)

第6条 試験終了後に不正受験行為が発覚したときは、第4条により処分する。

(処分の起算日)

第7条 処分の起算日は、学長の決裁日とする。

(通知及び原簿記載)

第8条 処分の内容については、本人及び保証人に通知するとともに、学籍原簿に記載するものとする。

(公示)

第9条 処分の内容は、掲示により公表するものとする。

(停学者の指導)

第10条 停学処分中の者は、当該学部長又は研究科長の指導に従わなければならない。

(事務所管)

第11条 本規程の事務所管は次の通りとする。

(1) 不正受験行為の事実確認に関しては教務部

(2) 不正受験行為に対する処分手続きに関しては学生部

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

## 成績

### 1. 成績評価

履修科目の全授業日数のうち3分の2以上出席し、合格の成績評価を得た科目については単位を認定します。なお、追試験の成績評価は定期試験に準じます。

成績評価は下表の通りです。なお、素点に関する問い合わせについては応じられません。

#### ●評価の記載

合格／不合格	合格				不合格		認定
素点	100点～ 90点	89点～ 80点	79点～ 70点	69点～ 60点	59点～ 0点	評価なし	認定
評価	S	A	B	C	F	空欄	T
成績評価分布	履修者全体の 5%程度	履修者全体の 30%程度					

※成績評価分布対象外の科目もあります。

### 2. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、S・A・B・C・Fの各評価に対して、それぞれ4.0・3.0・2.0・1.0・0.0のグレードポイントを付与し、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割った値です。

不合格 (F)・学修放棄 (空欄) の科目のGPAの値は、0ポイントとして計算されますので、履修科目の登録を慎重に行う必要があります。不合格 (F)・学修放棄 (空欄) の科目を、翌年度以降に再履修し合格点を修得した場合、先の0ポイントは削除され合格点のポイントが加算されます。

GPAの値は、成績を参考とする選考基準等に使用されます。本学では、平成18（2006）年度以降入学生より適用しています。

#### 《GPAの算出方法について》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{S修得単位数} \times 4.0) + (\text{A修得単位数} \times 3.0) + (\text{B修得単位数} \times 2.0) + (\text{C修得単位数} \times 1.0)}{\text{履修登録した科目の総単位数 (F・空欄は含むがTは含まない)}}$$

※再履修した科目の単位数は、履修登録した科目の総単位数には含まれません。

※Tは単位認定科目（他大学で修得した単位を含む）。

※GPAの数値は、小数点第3位を四捨五入とする。

※卒業必要単位数に含まれない科目（随意科目、教職課程・資格講座科目）は除外されます。

### 3. 成績発表

成績発表はWeb（KONECO）にて行います。発表の日程は下記のとおりです。

種類	成績発表日
前期科目成績発表	平成26年8月22日（金）
前期追試験科目成績発表（集中授業含む）	平成26年8月27日（水）
後期・通年科目成績発表	平成27年2月13日（金）
後期・通年追試験科目成績発表（生涯スポーツ演習Ⅱ含む）	平成27年2月19日（木）

※その他の成績更新時期についてはKONECO〔成績紹介〕内のヘルプを参照してください。

### 4. 成績に関する相談・調査

成績発表を確認し、以下のような場合は、所定の期間内に教務部窓口にて相談してください。

電話による問い合わせは行っていません。

- ①授業に出席し、受験した科目に評価が付いていない場合
- ②受験しなかった科目に評価が記載されている場合
- ③評価に対して、疑問点がある場合

#### ●成績調査の申請期間

種類	対象者	申請期間
前期科目	前期終了科目履修者	成績発表日から8月28日（木）まで
後期・通年科目	後期・通年科目履修者	成績発表日から2月21日（土）正午まで

#### ●注意事項

成績は上記期間内に申し出がない場合、了承されたものとして確定します。

必ず期間終了までに成績を確認してください。

### 5. 保証人への成績表送付

3月中旬以降に保証人住所に送付します。保証人住所に変更等がある場合は、必ず教務部11番窓口にて手続きしてください。

※前期終了の際は送付されません。学生本人にはKONECOにて発表します。

## 6. 進級基準

学業奨励を目的として、3年次への進級に際し、進級基準を設けています。

- (1) 平成26 (2014) 年度以降の入学生の進級基準 (グローバル・メディア・スタディーズ学部を除く)  
(平成26 (2014) 年度以降の編入学・再入学生は、入学年度によって進級基準の適用が異なります。)

2年次終了時の成績	
進級	①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、 かつ ②外国語必修 I Aa および I Ab の2単位または I Ba および I Bb の2単位のどちらか※を 修得している者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目で2単位以上を修得している者)
原級に留め置く	①卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者、 または ②外国語必修 I Aa および I Ab の2単位および I Ba および I Bb の2単位が全て未修得の者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目の修得単位が1単位以下の者)
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を 継続しなければならない

※< I Aa および I Ba >、< I Aa および I Bb >、< I Ab および I Ba >、< I Ab および I Bb >のセットでは条件を満たしません。

- (2) 平成25 (2013) 年度～平成18 (2006) 年度の入学生の進級基準

(グローバル・メディア・スタディーズ学部を除く)

(平成18 (2006) 年度以降の編再入学生は、入学年度によって進級基準の適用が異なります。)

2年次終了時の成績	
進級	①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、 かつ ②外国語必修 I A または I B のいずれか2単位を修得している者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目で2単位以上を修得している者)
原級に留め置く	①卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者、 または ②外国語必修 I A および I B が全て未修得の者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目の修得単位が1単位以下の者)
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を 継続しなければならない

### (3) グローバル・メディア・スタディーズ学部の進級基準

2年次終了時の成績	
進級	卒業に必要な単位のうち30単位以上修得の者
原級に留め置く	卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を継続しなければならない

## 7. 進級規程に伴う警告と勧告

以下の条件に該当する者は、所属学部より警告もしくは勧告がなされます。

警告	2年次を通年で2回継続し、翌年3年次に進級できない場合
退学勧告	2年次を通年で3回継続し、翌年3年次に進級できない場合

## 8. 在学条件

- ・ 在学年数を4年以上経過する3年次生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することはできません。
- ・ 3年次までに卒業に必要な単位数を修得した場合でも、4年間（在学年数）在学しなければ卒業することはできません（経済学部、法学部を除く）。
- ・ 上述のいずれの場合も、1科目以上履修登録していなければなりません。その際、成績がFや空欄であっても卒業は可能です。

## 9. 原級者

- ・ 原級者は留め置かれた年次に配当されている科目を履修してください。ただし、原級に留め置かれた場合に履修できなくなる科目がありますので、不明な点は教務部窓口で相談してください。

## 10. 駒澤大学進級規程

### ○駒澤大学進級規程

平成18年4月1日制定

(目的)

第1条 この規程は、駒澤大学学則第14条に基づき駒澤大学（以下「本大学」という。）の学生の教育並びに修学指導の充実を図るため、進級及び在学について必要な事項を定める。

(進級基準単位)

第2条 学生が2年次終了までに、次項に定める単位（以下「基準単位」という。）を修得しない場合は、3年次に進級することができない。

(1) 平成25年度以前入学生（グローバル・メディア・スタディーズ学部除く）

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修 I A 又は I B 2 単位を含む）

(2) 平成26年度以降入学生（グローバル・メディア・スタディーズ学部除く）

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修 I A a 及び I A b の2単位又は I B a 及び I B b の2単位のどちらかを含む）

(3) グローバル・メディア・スタディーズ学部所属学生

卒業に必要な単位のうち30単位

(4) 日本語を必修としている外国人留学生

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修科目で2単位を含む）

(修学指導)

第3条 学生が2年次終了までに、基準単位に対して修得単位が不足する場合には、適切な指導を行い、かつ、保証人へ文書で学業に精励するよう促すものとする。

(退学勧告)

第4条 学生が在学年数4年を経過した次の学年始めに、3年次への進級ができない場合には、本大学学則第57条第3項第2号を準用し、教授会の議を経て退学を勧告する。ただし、半期休学をした学生の取り扱いは別に定める。

(在学条件)

第5条 在学年数4年以上を経過する3年次の学生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することができない。

(休学原級)

第6条 進級は、学年始めをもって行う。ただし、前年度において1学年（通年）休学中の学生は、進級することができない。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

## Ⅲ 留学

グローバル化の時代と言われる今日、広い視野で積極的に活動する国際感覚豊かなグローバル人材に大きな期待が寄せられています。こうした人材になるためには、国際情勢を正しく理解し、外国の言語や文化を海外の生活習慣のなかで学ぶことが必要不可欠です。本学では国際感覚を養う学習として多彩なプログラムを用意し、意欲ある学生をバックアップしています。留学や国際交流に興味のある皆さんは、なるべく早めに国際センター事務室（深沢キャンパス）で確認してください。

詳細は、国際センター事務室発行「駒澤大学留学ハンドブック」を参照してください。

### 1. 交換留学

本学と国際交流協定・学生交流協定を締結している海外の大学（協定校）に、交換留学生として1年間留学する制度です。この留学期間は駒澤大学での在学期間とみなし、留学先で修得した単位は学部教授会の承認により、卒業に必要な単位に算入することができます。

出願資格・選考試験等詳細は、国際センター事務室発行「交換留学生募集要項」を参照してください。

### 2. 認定校留学

「認定校留学」とは、外国における、「日本の大学に相当する」高等教育機関に該当する大学の正規の学部で、現在所属している学部の専門科目と同様の科目を履修登録し、単位を修得したうえで、帰国後に本学の学部教授会を通じて本学の単位として認定される留学です。

ただし、留学先の決定から申請、諸手続きにいたるまでをすべて自分自身でおこない、留学先の授業料・滞在費等についても、自己負担となります。

留学前に本学の国際センター事務室に認定校留学の申請書類を提出し、所定の手続きをおこない、学部教授会で認定校留学の承認を受ける必要があります。

### 3. 短期語学セミナー

本学では協定校で、夏と春の年に2回、約1か月の短期語学セミナーを実施しています。留学の入門的コースで、1か月間ホームステイまたは大学寮に滞在しながら、外国人との交流を通して生きた語学を集中的に学習します。

この語学セミナー修了者には、随意科目として「英語（海外演習）」、「フランス語（海外演習）」または「中国語（海外演習）」の単位が認定されます（GMS学部除く）。詳細は、国際センター事務室発行「短期語学セミナー募集要項」を参照してください。

## IV 学籍

### 1. 修業年限と在学年数

修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことで、本学の修業年限は4年です。

在学年数とは、大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本学の在学年数は休学期間を除き7年以下と定められています。

### 2. 休学

傷病その他の理由で、学年の前期または後期、もしくは1学年の3分の1以上の授業期間を修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければなりません。

また、在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えている者が半期科目で卒業必要単位を修得見込となる場合は、半期の履修による半期休学（前期休学もしくは後期休学）を願い出ることができます。

#### ●休学期間

①休学期間は前期または後期、もしくは1学年を区分とし、休学許可日（休学願受付日）から以下の期日までとします。

- a. 前期休学・・・9月15日まで
- b. 後期休学・・・当該年度末（3月31日）まで
- c. 通年休学・・・当該年度末（3月31日）まで
- d. 半期履修（後期休学）・・・2月20日まで

②引き続き休学を要する特別の事情があるときは、許可を得てさらに1か年に限り休学することができます。

③休学期間は通算4年を超えることはできません。

④休学が許可された学期または学年は在学年数に算入されません。

⑤休学理由が休学許可日より以下の期限内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがあります。

- a. 前期休学・後期休学・・・1か月未満
- b. 通年休学・・・2か月未満

#### ●休学の手続き

休学願（本学所定様式）に添えて次の書類を提出してください。

- a. 傷病・・・医師の診断書
- b. 海外研修・・・修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届
- c. その他の理由・事前の窓口相談で指示された添付書類（理由書等）

#### ●休学手続の締切日

- a. 前期休学・・・6月30日
- b. 後期休学・通年休学・・・11月30日

※締切日は、曜日により変動することがあります。事前に相談してください。

#### ●休学する場合の学費

休学を願い出る者は在籍料として、下記の休学願提出日に応じて、当該年度学費を納入しなければなりません。

休学願提出日

- a. 4月1日～9月20日・・・前期学費納入時期に半期分学費を納入済みのこと

- b. 9月21日～11月30日・・・前期・後期分学費を納入済みのこと

### ●休学原級

休学者が復学した場合の年次は以下のとおりです。

- a. 通年休学（1学年を区分とした休学）・・・従前年次に留め置き（休学原級）
- b. 前期休学・後期休学・・・次年次に進級。ただし、進級規程第2条に該当する者はこの限りではありません。

## 3. 復学

- ①通年休学者（1学年を区分とした休学）および後期休学者が復学する場合は、当該年度前期分学費を納入のうえ、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得なければなりません。
- ②前期休学を許可された者が復学する場合は、保証人連署の復学願を9月20日までに提出し許可を得なければなりません。また、卒業必要単位充足により後期休学を許可された者は、保証人連署の復学願を2月20日までに提出し許可を得なければなりません。
- ③傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の診断書が必要です。

## 4. 退学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得なければなりません。

- ①退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出なければなりません。
- ②退学願提出時に学生証を返還しなければなりません。
- ③退学年月日は次のとおりとします。
  - 当該期学費納入者・・・退学願提出日
  - 当該期学費未納者・・・学費納入済学期の最終日

## 5. 除籍

次の事項に該当する者は、学則第36条に基づき除籍となります。

- ①在学年数を越えた者
- ②休学期間を超え復学願を提出しない者
- ③前期、後期の納入期限までに所定の学費を納入せず、督促を受けてもなお納入しない者
- ④外国人留学生で、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を喪失した者

## 6. 懲戒

- ①本大学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、学則第57条に基づき懲戒します。  
懲戒は、情状により譴責、停学、退学とします。
- ②退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行います。
  - a. 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
  - b. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - c. 正当の理由がなくて出席常でない者
  - d. 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 7. 編入学

- ①本大学卒業生（卒業見込者を含む）が編入学を希望するときは、選考のうえ、3年次への入学を許可することがあります。
- ②編入学希望者は、入学センター（大学会館246 Tel. 03-3418-9048）に相談してください。

## 8. 再入学

本大学を退学した者または除籍された者で、再入学を希望する者があるときは、選考のうえ、許可することがあります。ただし、従前在学していた学部・学科および専攻のみ可能で、学生募集を停止した学部・学科・専攻・コースには再入学できません。

- ①在学期間1年未満で退学した者または除籍された者は対象外とします。
- ②退学または除籍後3年以内の者とします。(出願時を基準とする)
- ③再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し7年以内とします。
- ④再入学した場合、既修得単位がすべて認定されるとは限りません。
- ⑤再入学希望者は、事務手続きが必要ですので、入学センター(大学会館246 Tel. 03-3418-9109)に相談してください。

## 9. 転部・転科・転専攻・転コース

本学の学生で、同一学部の他学科、同一学科の他専攻または他コースもしくは他の学部学科に転部、転科または転専攻もしくは転コースを希望する者があるときは、選考のうえ、許可することがあります。許可されたものの在学年数は、所属変更した年次に関わらず入学時期から通算します。

これについては、説明会を6月に開催しますので、希望者は5月中旬に教務部掲示板またはKONECOで日程等の確認をしてください。

※ここで対象となるコースは法学部法律学科の「昼間主コース」、「夜間主コース」を指します。その他のコースについては教務部7~10番窓口で相談してください。

## 10. 学生氏名・保証人

- ①学生氏名は、住民票記載事項証明書または住民票に基づき、原則としてJIS規格の文字で表示します。規格にない文字はJIS準拠のものに改めることがあります。
- ②住民票に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得てください。
- ③通称名使用の許可を得た者は、在学中一貫して通称名を使用することとし、学位記、証明書、成績表、各種名簿等すべて通称名で表示します。
- ④保証人は原則として、父、母とし、やむを得ない場合は独立の生計を営む親族または縁故者とします。
- ⑤保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとします。
- ⑥学生・保証人の氏名住所等に変更があった時は、速やかに所定の変更届を提出してください。

## 11. 学生・保証人住所変更

- ・学生住所の変更方法・・・KONECO(※)または、教務部11番窓口
- ・保証人住所の変更方法・・・教務部11番窓口

※KONECOでの住所変更申請は『保証人と別居(一人暮らし・下宿・入寮等)している学生のみ』が対象です。保証人住所の変更と一部の学生(留学生等)はKONECOで申請できません。教務部11番窓口で手続きを行ってください。

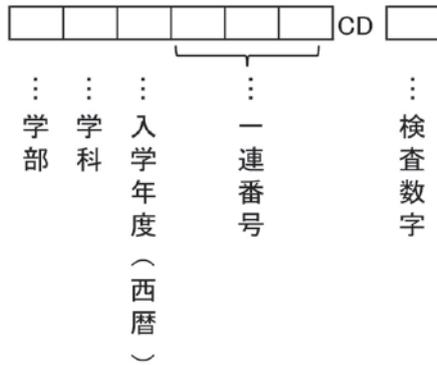
## 12. 学生番号

①学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておいてください。

②学生番号は2種類の英字と4ケタの数字とCD1ケタの数字からなっており、その各位の英数字に次の意味を持たせてあります。

※CD（チェックデジット＝検査数字）とは、学生番号をカード読み取りや機械入力する際に番号の入力が正しいかをチェックするための数字です。

### 学生番号区分



### (例)2014年度入学・文学部国文学科18番



学部	学科・科	専攻等	学部 コード	学科 コード	備考	
仏教			B	R	2014年度以降入学生	
	禅		B	K	2013年度以前入学者	
	仏教		B	B		
文	国文		C	K		
	英米文		C	B		
	地理	地域文化研究		N	R	
		地域環境研究		N	G	
	歴史	日本史学		C	G	
		外国史学		C	X	
		考古学		C	M	
	社会	社会学		S	K	
社会福祉学			S	B		
心理			N	B		
経済	経済		E	X		
	商		E	R		
	現代応用経済		E	G		
法	法律	フレックスA	L	K		
		フレックスB	L	B		
	政治		L	R		
経営	経営	フレックスA	M	K	2007年度以前入学者	
		フレックスB	M	B	2007年度以前入学者	
	経営		M	G		
	市場戦略		M	R		
医療健康科	診療放射線技術科		H	K		
グローバル・メディア・ スタディーズ	グローバル・メディア		G	K		

## V 事務取扱いについて

### 1. 窓口受付時間

教務部の事務受付時間は以下のとおりです。

窓口	月～金	土		備考
	対応時間	対応時間	休止時間	
教務部	9:00～ 18:00	9:00～ 15:00	12:00～ 13:00	※履修登録期間等是对応時間を変更する場合があります。
夜間事務センター	16:00～ 21:30	16:00～ 20:00		※簡易的な業務のみ取り扱いのため、履修相談等は教務部窓口で行ってください。

### 2. 届書・願書の受付

	種類	要領（必要書類）	本人印	保証人印	取扱窓口
届書	改氏名届	・戸籍抄本添付 変更後速やかに届け出ること	要	不要	11番
	本籍地変更届 (都道府県名が変更された場合のみ提出)	・住民票記載事項証明書添付 変更後速やかに届け出ること	要	不要	
	保証人変更届	・在学誓書（保証書）添付 変更後速やかに届け出ること	要	要	
	住所変更届（学生・保証人）	変更後速やかに届け出ること	不要	不要	
	死亡届	・死亡を証明できる書類添付（写し可）		要	
願書	追試験受験願	・大学が認めるやむを得ない理由の証明書を添付し、締切日までに届け出ること	不要	不要	8番
	休学願	・傷病による場合は、医師の診断書添付 ・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届 ・その他の場合は、保証人連署の理由書等	要	要	11番
	復学願	・傷病により休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の診断書添付 ・後期休学、通年休学の場合は、4月10日までに提出すること ・前期休学した場合は、9月20日までに提出すること ・卒業必要単位充足により後期休学した場合は、2月20日までに提出すること	要	要	
	退学願	・学生証添付	要	要	

※大学の定める諸届・願書の提出期限が、日曜・祝日の場合は、その翌日までとします。

### 3. 証明書発行

大学で発行する主な証明書は、下表のとおりです。

- ① 下表(1)に該当する証明書は、教務部前に設置した証明書自動発行機で発行します。各自が学生証を使用して、発行機を操作してください。直接、その場で証明書を受け取ることができます。証明書の種類によっては発行期間が限られていますので窓口で確認してください。
- ② 下表(2)に該当する証明書は、窓口発行になります。証明書によっては発行に時間がかかりますので、余裕をもって申し込んでください。
- ③ 発行機を利用できる時間は、日曜・祝日と大学が定める休日を除き、月～金曜日は午前9時～午後9時20分、土曜日は午前9時～午後7時20分までです（「窓口発行」と指定されている証明書は窓口取扱時間に注意してください）。ただし、夏季休業中など利用時間を短縮する時期がありますので、大学ホームページ等で窓口時間を確認してください。

証明書の種類等		取扱窓口	料金
(1)	在学証明書	証明書自動発行機	●在生にかかわる証明書は 1通200円(英文500円) ただし、以下の証明書は無料 ・学割証 ・推薦書(就職用) ・通学証明書  ●卒業生にかかわる証明書は1通300円 (英文600円)
	成績・卒業見込証明書(卒業年次生のみ) ※1		
	成績証明書(在学生)		
	健康診断証明書 (受診者のみ。5月中旬以降)		
	教員免許状取得見込証明書		
	学割証(年間10枚まで)		
(2)	卒業証明書	教務部11番窓口	
	成績証明書(卒業生)	教務部11番窓口	
	証明書(各種資格試験用)※2		
	英文による証明書	教務部2番窓口	
	資格講座単位修得(見込)証明書		
	学力に関する証明書		
	人物考査書(就職用に限る)	キャリアセンター	
推薦書(就職用に限る)※3	キャリアセンター		
通学証明書	学生部		

※1 「成績・卒業見込証明書」は、在学3年以上の4年次生に対し、その年次の履修単位数内で卒業に必要な単位数を満たすことができる場合に発行されます。

※2 「証明書(各種資格試験用)」は、会計士・税理士等の各種試験用です。

※3 「推薦書(就職用に限る)」は、求職登録者に限ります。また「調査書(進学用)」は、教務部に相談してください(各大学発行の所定の用紙持参のこと)。

その他、証明書に関することは、教務部11番窓口にご相談してください。

## 第2章

### 教育課程（開設科目）について

# I 教育課程の編成

## 履修をはじめるとあって

この『履修要項』は、経営学部生の皆さんがこれから学修をはじめるとあって必要とする基本的情報をまとめたものです。皆さんが、今後4年間あるいは卒業までに残された期間の学修計画をたてるときの指針として利用することを期待しています。この点に留意し、各自が自己責任のもとに学修計画をたて、充実した学生生活をおくることを願っています。

### 1. 学修目的に沿った履修計画をたてること

経営学部の教育課程は「全学共通科目」と「専門教育科目」で構成されており、それぞれの科目区分には必ず履修しなければならない科目（必修科目）と選択して履修する科目（選択科目）があり、いずれも定められた年次に配当されています。皆さんは科目区分毎に定められている単位を修得し、卒業に必要な単位数を満たすように履修しなければなりません。

さらに各年次で履修できる単位数には制限が設けられています。したがって、履修にあたっては計画的に学修することが必要です。そのためにはしっかりと学修目的をもち、単に今年度の履修だけでなく次年度以降の履修も合わせて検討し、長期的視点にたって履修計画をたててください。

### 2. 「コース」、「演習」を中心に系統的履修を心掛けること

経営学部の科目系統は多彩な領域に及んでいます。はっきりとした履修計画をもたずに、各科目区分に設けられた卒業に必要な単位数を揃えるだけでは、学修目的を実現することはできません。安易な履修は、大学での学修に意義を見いだせず、将来に悔いを残すことにもなりかねません。学修効果をあげるためには、自らの学修目標にあわせて履修要項に記載された各科目の性格や関連性を十分に調べ、系統立てて履修することが重要です。

#### ①経営学科（平成20〈2008〉年度以降入学生）および市場戦略学科

専門教育科目の体系的学修のためにコース制を導入し、学修の到達目標に応じたコースを設けています。皆さんの学問的関心や将来の進路希望にあわせてコースを選択し、選択したコースに従った学修計画を立ててください。また、講義科目と「演習」を結び付けることによって、より効果的に教育研究上の目的を達成するよう意図しています。学生の皆さんにとって学問研究に触れる中心的な場となるのは「演習」であることから、「演習」を学修計画の中心に据えるよう努めてください。

#### ②経営学科フレックス A およびフレックス B

講義科目と「演習」を結び付けることによって、より効果的に教育研究上の目的を達成するよう意図しています。少人数制の「演習」を講義科目と同様に、経営学系、会計学系、経済学系、経営科学系と多岐にわたって数多く開講しており、学生の皆さんが自ら選んだテーマを主体的かつ専門的な視点にたって取り組めるよう配慮しています。学生の皆さんにとって学問研究に触れる中心的な場となるのは「演習」であることから、「演習」を学修計画の中心に据えるよう努めてください。

### 3. 自主的に学修をすること

大学では、すべての結果が自分の責任に帰せられます。それゆえ、学生生活全般にわたって十分な目配りが必要となります。この履修要項を熟読し、経営学部の教育課程を理解し、自主的な学修計画を立て充実した学生生活を送ってください。在学中に十分な学修成果を収めるためには、積極的な学修姿勢が必要です。皆さんの日常における学業への取り組み方が学修効果を左右します。消極的・義務的・受動的な授業への取り組みは何の成果も生みだしません。意欲をもって積極的に大学の授業に参加することが皆さんの学生生活をより豊かなものにし、将来的にも意義のあるものになると期待されます。

#### 4. フレックス制（昼夜開講制）について（平成19（2007）年度以前入学生）

経営学科フレックス A の学生諸君は、フレックス B 時間帯のフレックス B の科目を教養教育科目については12単位まで、専門教育科目については60単位まで履修・修得することができます。（特定の科目を除く。教育課程の頁参照）

経営学科フレックス B の学生諸君は、フレックス A 時間帯のフレックス A の科目を教養教育科目については20単位まで、専門教育科目については60単位まで履修・修得することができます。（特定の科目を除く。教育課程の頁参照）

フレックス A の授業時間とは、月曜日から金曜日の1時限から5時限までの授業時間帯と土曜日の1時限から4時限までの授業時間帯を指します。

フレックス B の授業時間とは、月曜日から金曜日の6時限・7時限と土曜日の3時限から7時限までの授業時間帯を指します。

##### ※ 授業時間帯

月～金曜日

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
フレックス A 時間帯					フレックス B 時間帯	

土曜日

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
フレックス A 時間帯		フレックス A・B 共通時間帯		フレックス B 時間帯		

## 授業科目の区分と教育目標

授業科目は、次のように区分されます。

●卒業に必要な単位に含まれる科目	●卒業に必要な単位に含まれない科目
1. 全学共通科目	・ 随意科目
(1) 宗教教育科目	・ 教職課程・資格講座科目
(2) 教養教育科目	
(3) 外国語科目	
(4) 保健体育科目	
2. 専門教育科目	
3. 他学部履修科目	

各授業科目の区分には、次のような教育目標が設定されています。

授業科目の区分	教育目標
宗教教育科目	本学は、仏教の教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り、学校教育を行うことを目的として設置されており、この点が私学としての本学の特色です。宗教教育科目は、この設置の目的に基づき、全学生諸君が仏教や禅の教えについての理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につけることを教育の目標とします。
教養教育科目	多角的な知識と深い教養を身につけることによって、公正な判断力を有する豊かな人間性を涵養することを教育の目標としています。
外国語科目	情報通信や交通手段の発達によって、世界がますます狭くなり、それに合わせて日本も国際社会の中に深く組み込まれている今日、外国の文化や社会について正確な知識を得、国際感覚を養い、諸外国の人々との交流を深めることは、大きな意義をもつはずで、そのためには、外国語の確かな運用能力を身につけることが不可欠です。学習者の希望・関心や進路に応じて、積極的に系統だった知識を深めるように心がけてください。
保健体育科目	本学の「保健体育科目」は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。 人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的財産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。
専門教育科目	専門分野の理論的・実践的な基礎知識を習熟することにより、問題解決能力や論理的な思考習慣・研究姿勢を身につけることを教育目標としています。

# 単位

---

## 1. 単位制度

大学での学修は単位制をとっています。単位制とは、授業科目を履修し、平素の学修状況・出席状況および所定の試験（レポート提出を含む）による成績評価の結果、合格することにより、授業科目ごとに定められている単位を修得していく制度です。そして、在学期間内に卒業に必要な単位をすべて修得すれば卒業することができます。

## 2. 授業科目の単位数

単位とは、授業科目の学修量を数字で表したものです。授業科目の単位数は1単位につき、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。この時間には、教場で行われる授業時間以外に予習・復習等にあてる時間も含まれています。授業の実施方法に応じ、学修量等を考慮してそれぞれの授業科目によって単位数が決められています。

## 3. 単位の認定

授業科目ごとに定められた所定の単位を修得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

- ・単位の認定を受けようとする授業科目について、履修登録をすること。
- ・履修科目の授業に出席し、必要な学修をすること。
- ・履修科目の試験（レポート提出を含む）等による成績評価を受け、合格すること。

## 4. 履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）

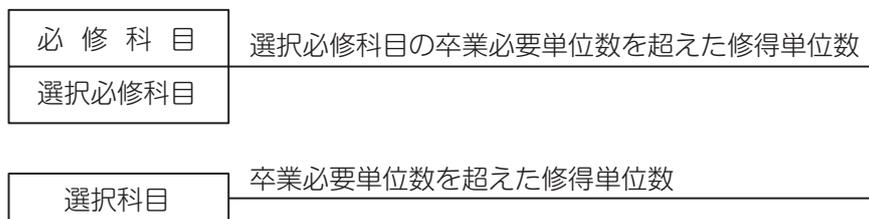
授業科目は、下表の条件に従ってグループ分けされています。

必修科目	卒業するために、必ず修得しなければならない科目
選択必修科目	卒業するために、指定された複数の授業科目群の中で、指定された科目数（単位数）を修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択・履修でき、卒業に必要な単位に算入される科目

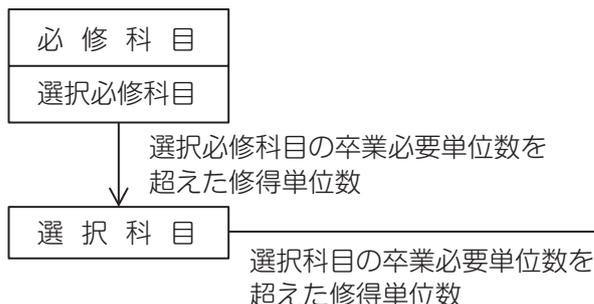
## 5. 卒業必要単位における修得単位算定の流れ

指定された卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、下表のように流れます。

(全学共通科目)



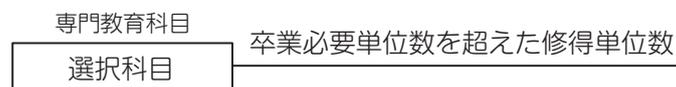
(専門教育科目)



(他学部履修科目)

- ・ 経営学科  
(平成20 (2008) 年度以降入学生)
- ・ 市場戦略学科

経済学部、法学部、経営学部の他学科、グローバル・メディア・スタディーズ学部が開講している科目



仏教学部、文学部、医療健康科学部が開講している科目

- ・ 経営学科フレックスA (平成19 (2007) 年度以前入学生)
- ・ 経営学科フレックスB



●**広域選択の単位について**

- ・全学共通科目の各授業科目の区分で指定されている卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数は、広域選択の単位数となり、卒業に必要な単位数として認定されます。
- ・専門教育科目の選択必修科目に指定されている卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、選択科目の単位数として算入されます。そして、選択科目に指定されている卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、広域選択の単位数となり、卒業に必要な単位数として認定されます。
- ・経営学科（平成20年（2008）年度以降入学生）と市場戦略学科  
 経済学部、法学部、経営学部の他学科、グローバル・メディア・スタディーズ学部が開講している科目から修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、卒業に必要な専門選択の単位数に算入されます。  
 仏教学部、文学部、医療健康科学部が開講している科目から修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ・経営学科フレックス A、フレックス B  
 修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、卒業に必要な専門選択の単位数に算入されます。

**6. 卒業に必要な単位数**

卒業に必要な単位数とは、それぞれの学部、学科を卒業し、学位を得るために必要な最低限の単位数です。

・**経営学科《平成26（2014）年度以降入学生適用》**（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			10	
	教養教育科目	人文分野				12
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		8			
保健体育科目			2			
専門教育科目		16	16	56		
合計		124				

・**経営学科《平成20（2008）～平成25（2013）年度入学生適用》**（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			22	
	教養教育科目	人文分野				
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		8			
保健体育科目			2			
専門教育科目		16	16	56		
合計		124				

・経営学科フレックス A ≪平成19（2007）年度以前入学生適用≫（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			18	
	教養教育科目	人文分野				
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		12			
保健体育科目	2					
専門教育科目		16	4	68		
合計		124				

・経営学科フレックス B（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			22	
	教養教育科目	人文分野				
		社会分野				
		自然分野				
	外国語科目		8			
	保健体育科目	2				
専門教育科目		8		80		
合計		124				

・市場戦略学科≪平成26（2014）年度以降入学生適用≫（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			10	
	教養教育科目	人文分野				12
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		8			
保健体育科目			2			
専門教育科目		20	20	48		
合計		124				

・市場戦略学科≪平成25（2013）年度以前入学生適用≫（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			22	
	教養教育科目	人文分野				
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		8			
保健体育科目			2			
専門教育科目		20	20	48		
合計		124				

## 7. 年間履修制限単位数

各年次において、修得できる単位数に上限が定められています。

- ・ 経営学科《平成20（2008）年度以降入学生》
- ・ 市場戦略学科

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	2単位以上 44単位以内	2単位以上 44単位以内	2単位以上 48単位以内	2単位以上 48単位以内

- ・ 経営学科フレックス A《平成19（2007）年度以前入学生》
- ・ 経営学科フレックス B

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	2単位以上 42単位以内	2単位以上 42単位以内	2単位以上 48単位以内	2単位以上 48単位以内

### ●注意事項

- ・ 再履修する授業科目の単位も、年間履修制限単位数に含まれます。
- ・ 他学部履修する授業科目の単位も、年間履修制限単位数に含まれます。
- ・ 教職課程・資格講座科目および随意科目の単位は、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・ 卒業必要単位数を充足していたとしても、各年次に1科目以上は履修登録しなければなりません。

## 8. 卒業および学位記の授与

大学に4年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した者は卒業となります。卒業者には次の学位が与えられ、学位記が授与されます。

学部	学科	学位記名
経営学部	経営学科（フレ A・B 含む）	学士（経営学）
	市場戦略学科	学士（経営学）

## 9. 9月卒業・卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）について

### (1) 9月卒業

#### ●対象者

9月15日現在で在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えており、卒業に必要な単位を修得見込みで、9月卒業を希望する者。

#### ●9月卒業申請

(3) の説明会に必ず出席し、所定の期間に「9月卒業申請書」を提出してください。また、9月卒業の希望を追加・取り消す場合は、前期科目定期試験期間内に必ず申し出てください。

申請がない場合は、9月卒業の対象となりませんので、注意してください。

#### ●9月卒業申請期間

4月25日（金）～26日（土）、28日（月）

#### ●9月卒業申請追加・取消期間

7月16日（水）～18日（金）、22日（火）～26日（土）、28日（月）【前期科目定期試験期間】

#### ●相談窓口

教務部7～10番窓口

### (2) 卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）

#### ●対象者

9月15日現在で在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えており、かつ前期に卒業必要単位数を充足した者で3月卒業を希望する者（9月卒業申請者は、後期休学を申請できません）。

#### ●休学申請

(3) の説明会に必ず出席し、所定の期間に「後期休学」の手続きを行ってください。

#### ●担当窓口

教務部11番窓口

### (3) 9月卒業等説明会

平成26年4月4日（金）※時間・場所は教務部掲示板を参照のこと。

## 10. 1年次履修科目の決定順序

下表は、卒業必要単位数と1年次に履修可能な授業科目を踏まえ、年間履修制限単位数一杯まで単位数を埋めて履修する場合の履修科目の決定順序案です。

### ・経営学科《平成26（2014）年度以降入学生》

順序	科目区分	授業科目	科目数	単位数
1	宗教教育科目	仏教と人間	1	4
2	外国語科目	I Aa、I Ab、I Ba、I Bb	4	4
3	専門教育科目	経営学 経済学概説 簿記学 会計学	4	16
4	教養教育科目	ライフデザイン分野 新入生セミナー（指定クラス）	1	2
5	専門教育科目	選択科目		18 以内
	全学共通科目 (宗教・教養・ 外国・保健)	(選択)		
1年次履修制限単位数				44

### ・市場戦略学科《平成26（2014）年度以降入学生》

順序	科目区分	授業科目	科目数	単位数
1	宗教教育科目	仏教と人間	1	4
2	外国語科目	I Aa、I Ab、I Ba、I Bb	4	4
3	専門教育科目	経営学 市場戦略概説 経済学概説 会計学 情報処理基礎 A 情報処理基礎 B	6	20
4	教養教育科目	ライフデザイン分野 新入生セミナー（指定クラス）	1	2
5	専門教育科目	選択科目		14 以内
	全学共通科目 (宗教・教養・ 外国・保健)	(選択)		
1年次履修制限単位数				44

## Ⅱ 開設科目

# 経営学科（平成20〈2008〉年度以降入学生）

## 開設科目一覧の見方

### 開設科目一覧のサンプル

必・選	卒業必要		科目名	科目数	単位数	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					(※1)分野	(※2)系列	単位	1				
必修	1科目	4単位	科目 A		4	通年	1							(玉川キャンパス) (再クラス)
選択			科目 B		4	通年	1	2	3	4	◎予		休	
			科目 C		4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
			科目 D		4	通年	1	2	3	4	◎先			
			科目 E		2	半期	1	2	3	4	◎抽			

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、指定された単位数を修得してください。
(※1) 分野	教養教育科目のみ表示があります。 4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
(※2) 系列	経営学科（フレ A・B 含む）の専門教育科目のみ表示があります。 学習効果を高めるため、専門教育科目を系統的に履修するための系列を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期（半期・通年）を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目      「◎先」：受講先行予約科目      「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載有無を表します。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。
注意事項	履修時に必要な注意事項を表します。 「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。 「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。 「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。 「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。 「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。

# 全学共通科目

## 宗教教育科目

### 1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

### 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							〈学生番号指定〉 〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
選択			文化と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			社会と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			自然と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎先			

# 教養教育科目

## 1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置されており、人文分野、社会分野、自然分野およびライフデザイン分野に分かれています。平成25（2013）年度以前は、人文分野、社会分野、自然分野および総合分野に分かれていました。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。但し総合分野の単位数は、ライフデザイン分野の単位として認定されます。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ③平成26（2014）年度以降入学生が定められた単位を超えて修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。平成25（2013）年度以前入学生が選択科目として修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④フレックスB時間帯（月～金曜日6・7時限、土曜日3～7時限）に開講されている教養教育科目を履修することができます。

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択	12 単位	↑	人文分野	宗教学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。	
				世界の宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。	
			人間観A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人間観B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			価値観	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			制度とモラル	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代と倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			東洋倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			科学と技術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			近代科学の成立と展開	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			科学方法論と現代論理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			知の技法	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			西洋思想の源流	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			近代の人間観と世界観	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			日本美術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			西洋芸術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			音楽	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			歴史学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			文学	4	通年	1	2	3	4	◎予				

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択	12 単位	人文分野	日本語テーマ研究Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本語テーマ研究Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本語文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			日本文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			実務表現Ⅰ（話すこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本語文化探求Ⅰ	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本語文化探求Ⅱ	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅠA	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅡA	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅠB	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅡB	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本語文化理会Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本語文化理会Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅠA	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅡA	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅠB	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅡB	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
	人文地理学	4	通年	1	2	3	4	◎予						
	教育心理	4	通年	1	2	3	4	◎予						
				社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予			・「経済学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「経済学」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
				経済学A	2	半期	1	2	3	4	◎予			・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学A・B」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
				経済学B	2	半期	1	2	3	4	◎予			
				政治学	4	通年	1	2	3	4	◎予			
				法学・憲法	4	通年 集中	1	2	3	4	◎予			・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、『シラバス』掲載の日程を確認し、履修してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。
				民族と文化A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				民族と文化B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				日本の文化と社会	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				アジアの社会と文化	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				文化人類学概論	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				統計学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		・「統計学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
				統計学A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学A・B」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
			統計学B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

心・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択	12単位	社会分野	社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		・「社会学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。	
			社会学A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学A・B」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。		
			社会学B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			教育学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			社会科学論A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			社会科学論B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			現代社会と宗教A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
			現代社会と宗教B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
			応用倫理学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代文明と哲学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
		自然分野	心理学	4	通年 集中	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学Ⅰ・Ⅱ」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「心理学」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。 ・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については「シラバス」掲載日程を確認の上、履修登録してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。		
		心理学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学Ⅰ・Ⅱ」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。			
		心理学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		人類学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		人類学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		宇宙科学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		宇宙科学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		化学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		化学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		物理学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
物理学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学Ⅳ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
自然誌Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択	12 単位	自然分野	自然誌Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			自然環境論	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			地球科学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			地球科学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			生物学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			生物学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			自然観察実習	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		ライフデザイン分野	新生セミナー	2	半期	1								〈学生番号指定〉
			キャリアを考えるⅠ	2	半期		2				◎予			・「Ⅱ」と同時履修すること。
			キャリアを考えるⅡ	2	半期		2				◎予			・「Ⅱ」は「Ⅰ」と同時に履修すること。または、2年次で「Ⅰ」の単位を修得済であること。
			駒澤大学の歴史	2	半期	1	2	3	4	◎予				

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25 (2013) 年度以前	日本文化理解 I B	日本文化研究 I B	平成25 (2013) 年度以前
現代社会と宗教 A			日本文化理解 II B		
現代社会と宗教 B			文化人類学		
人間観 A	民族と文化 A				
人間観 B	民族と文化 B				
価値観	日本の文化と社会				
制度とモラル	アジアの社会と文化				
現代と倫理	文化人類学概論				
東洋倫理	統計学				
応用倫理学			統計学 A		
科学と技術	科学史		統計学 B		
近代科学の成立と展開			社会学 A		
科学方法論と現代論理	論理学		社会学 B		
知の技法			社会科学論 A		
西洋思想の源流	哲学		社会科学論 B		
近代の人間観と世界観			心理学 I		
現代文明と哲学			心理学 II		
日本美術	芸術学		人類学 I		
西洋芸術			人類学 II		
音楽			宇宙科学 I		
日本語テーマ研究 I	日本文化テーマ研究 A		宇宙科学 II		
日本語テーマ研究 II	日本文化テーマ研究 B		化学 I		
実務表現 I (話すこと)	実務表現		化学 II		
実務表現 II (書くこと)			物理学 I		
日本語文化探求 I	日本語文化研究 II		物理学 II		
日本語文化探求 II			数学 I		
日本文化探求 I A	日本文化研究 II A		数学 II		
日本文化探求 II A			数学 III		
日本文化探求 I B	日本文化研究 II B		数学 IV		
日本文化探求 II B			自然誌 I		
日本語文化研究会 I	日本語文化研究 I		自然誌 II		
日本語文化研究会 II			自然環境論 (2単位)		
日本文化理解 I A	日本文化研究 I A		自然環境論 (4単位)		
日本文化理解 II A			地球科学 I		
			地球科学 II		
			生物学 I		
			生物学 II		

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
フレッシュマンセミナー	平成26（2014）年度以降	日本語文化研究Ⅰ	平成26（2014）年度以降
哲学		日本文化研究Ⅱ A	
倫理学		日本文化研究Ⅱ B	
論理学		日本語文化研究Ⅱ	
科学史		社会科学論	
芸術学		文化人類学	
日本文化テーマ研究A		数学	
日本文化テーマ研究B		物理学	
日本文化テーマ研究C		化学	
日本文化テーマ研究D		生物学	
日本文化テーマ研究E		人類学	
日本文化テーマ研究F		地球科学	
日本文化テーマ研究G		宇宙科学	
日本文化テーマ研究H		自然誌	
実務表現		自然環境論（4単位）	
日本文化研究Ⅰ A		情報数学	
日本文化研究Ⅰ B			

## 外国語科目

### 1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②学生番号が指定されている場合は、指定された曜日、時限、担当教員の科目を履修してください。学生番号の指定については、『授業時間表』に掲載されています。
- ③同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ⑤習熟度別クラス編成について  
2014（平成26）年度入学生より、英語を選択必修として履修する入学者は、全員「英語科目クラス分けテスト」を受験し、そのテストの成績により履修レベルを初級・中級・上級のいずれかに決定しています（原則的に履修レベルは2年次においても継続されます）。  
なお、初級と上級の授業は駒沢キャンパスで行います。玉川キャンパスで開講されている「英語 I B a・I B b」は、中級のみ受講できます。
- ⑥英語選択科目について  
英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。  
外国語科目について：[http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo\\_risyu](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu)

### 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次	抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数										
選択必修	入学手続時に指定した1か国語の I A a・I A b、I B a、I B b	4科目	4単位	英語 I A a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
				英語 I A b	1	半期	1				有	
				英語 I B a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
				英語 I B b	1	半期	1				有	
				ドイツ語 I A a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
				ドイツ語 I A b	1	半期	1				有	
				ドイツ語 I B a	1	半期	1				有	
				ドイツ語 I B b	1	半期	1				有	
				フランス語 I A a	1	半期	1				有	
				フランス語 I A b	1	半期	1				有	
				フランス語 I B a	1	半期	1				有	
				フランス語 I B b	1	半期	1				有	

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項			
	科目数	単位数				1	2	3	4							
入学手続時に指定した1カ国語のI A a・I A b、I B a、I B b  入学手続時に指定した1カ国語のII A a・II A b、II B a、II B b  選択必修	4科目	4単位	中国語 I A a	1	半期	1					有		〈学生番号指定〉 〈再クラス〉			
			中国語 I A b	1	半期	1					有					
			中国語 I B a	1	半期	1					有					
			中国語 I B b	1	半期	1					有					
			スペイン語 I A a	1	半期	1					有					
			スペイン語 I A b	1	半期	1					有					
			スペイン語 I B a	1	半期	1					有					
			スペイン語 I B b	1	半期	1					有					
			ロシア語 I A a	1	半期	1					有					
			ロシア語 I A b	1	半期	1					有					
			ロシア語 I B a	1	半期	1					有					
			ロシア語 I B b	1	半期	1					有					
			4科目	4単位	英語 II A a	1	半期		2					有		〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
					英語 II A b	1	半期		2					有		
					英語 II B a	1	半期		2					有		
					英語 II B b	1	半期		2					有		
	ドイツ語 II A a	1			半期		2			◎抽	有	〈再クラス〉				
	ドイツ語 II A b	1			半期		2			◎抽	有					
	ドイツ語 II B a	1			半期		2			◎抽	有					
	ドイツ語 II B b	1			半期		2			◎抽	有					
	フランス語 II A a	1			半期		2			◎抽	有					
	フランス語 II A b	1			半期		2			◎抽	有					
	フランス語 II B a	1			半期		2			◎抽	有					
	フランス語 II B b	1			半期		2			◎抽	有					
	中国語 II A a	1			半期		2			◎抽	有					
	中国語 II A b	1			半期		2			◎抽	有					
	中国語 II B a	1			半期		2			◎抽	有					
	中国語 II B b	1			半期		2			◎抽	有					
	スペイン語 II A a	1	半期		2			◎抽	有							
	スペイン語 II A b	1	半期		2			◎抽	有							
	スペイン語 II B a	1	半期		2			◎抽	有							
	スペイン語 II B b	1	半期		2			◎抽	有							
ロシア語 II A a	1	半期		2				有								
ロシア語 II A b	1	半期		2				有								
ロシア語 II B a	1	半期		2				有								
ロシア語 II B b	1	半期		2				有								
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			実用英語資格試験 I a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			実用英語資格試験 I b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			ビジネス英語 I	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			英語プレゼンテーション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			英語プレゼンテーション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予						
			実用英語資格試験 II a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予						

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選択			実用英語資格試験Ⅱb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			ビジネス英語Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅡa	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅡb	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅠa	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅠb	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅰa（読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅰb（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅠa	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅠb	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅲa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅲb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			総合英語資格試験a（読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			総合英語資格試験b（聴解・二次）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅡa	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅡb	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅱa（読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅱb（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅡ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語多読・多聴a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語多読・多聴b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4	○予			
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	○予			
		英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	○予				
		ドイツ語ⅠAa（選）	1	半期	1	2	3	4	○予	有			
		ドイツ語ⅠAb（選）	1	半期	1	2	3	4	○予	有			

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選			ドイツ語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			ドイツ語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むドイツ語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むドイツ語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			ドイツ語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			フランス語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むフランス語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むフランス語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			フランス語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			中国語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			中国語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			中国語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			中国語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
		中国語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
		中国語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		現代を読む中国語 a	2	半期			3	4	◎予	有			

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
選択			現代を読む中国語b	2	半期			3	4	◎予	有		
			中国語スキルアップa	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			中国語スキルアップb	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			スペイン語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語b	2	半期			3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップa	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップb	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			ロシア語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むロシア語a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むロシア語b	2	半期			3	4	◎予	有		
			ロシア語スキルアップa	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		ロシア語スキルアップb	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 II a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
		朝鮮語 II b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度
英語 I A a	英語 I A	平成25 (2013) 年度以前
英語 I A b		
英語 I B a	英語 I B	
英語 I B b		
ドイツ語 I A a	ドイツ語 I A	
ドイツ語 I A b		
ドイツ語 I B a	ドイツ語 I B	
ドイツ語 I B b		
フランス語 I A a	フランス語 I A	
フランス語 I A b		
フランス語 I B a	フランス語 I B	
フランス語 I B b		
中国語 I A a	中国語 I A	
中国語 I A b		
中国語 I B a	中国語 I B	
中国語 I B b		
スペイン語 I A a	スペイン語 I A	
スペイン語 I A b		
スペイン語 I B a	スペイン語 I B	
スペイン語 I B b		
ロシア語 I A a	ロシア語 I A	
ロシア語 I A b		
ロシア語 I B a	ロシア語 I B	
ロシア語 I B b		
英語 II A a	英語 II A	
英語 II A b		
英語 II B a	英語 II B	
英語 II B b		
ドイツ語 II A a	ドイツ語 II A	
ドイツ語 II A b		
ドイツ語 II B a	ドイツ語 II B	
ドイツ語 II B b		
フランス語 II A a	フランス語 II A	
フランス語 II A b		
フランス語 II B a	フランス語 II B	
フランス語 II B b		
中国語 II A a	中国語 II A	
中国語 II A b		
中国語 II B a	中国語 II B	
中国語 II B b		
スペイン語 II A a	スペイン語 II A	
スペイン語 II A b		
スペイン語 II B a	スペイン語 II B	
スペイン語 II B b		
ロシア語 II A a	ロシア語 II A	
ロシア語 II A b		

現行科目名	旧科目名	修得年度
ロシア語ⅡB a	ロシア語ⅡB	平成25(2013)年度以前
ロシア語ⅡB b		
ドイツ語ⅠA a (選)	ドイツ語ⅠA (選)	
ドイツ語ⅠA b (選)		
ドイツ語ⅠB a (選)	ドイツ語ⅠB (選)	
ドイツ語ⅠB b (選)		
ドイツ語Ⅱa (選)	ドイツ語Ⅱ (選)	
ドイツ語Ⅱb (選)		
ドイツ語コミュニケーションA a	ドイツ語コミュニケーションⅠ	
ドイツ語コミュニケーションA b		
ドイツ語コミュニケーションB a	ドイツ語コミュニケーションⅡ	
ドイツ語コミュニケーションB b		
現代を読むドイツ語a	現代を読むドイツ語	
現代を読むドイツ語b		
ドイツ語スキルアップa	ドイツ語スキルアップ	
ドイツ語スキルアップb		
フランス語ⅠA a (選)	フランス語ⅠA (選)	
フランス語ⅠA b (選)		
フランス語ⅠB a (選)	フランス語ⅠB (選)	
フランス語ⅠB b (選)		
フランス語Ⅱa (選)	フランス語Ⅱ (選)	
フランス語Ⅱb (選)		
フランス語コミュニケーションA a	フランス語コミュニケーションⅠ	
フランス語コミュニケーションA b		
フランス語コミュニケーションB a	フランス語コミュニケーションⅡ	
フランス語コミュニケーションB b		
現代を読むフランス語a	現代を読むフランス語	
現代を読むフランス語b		
フランス語スキルアップa	フランス語スキルアップ	
フランス語スキルアップb		
中国語ⅠA a (選)	中国語ⅠA (選)	
中国語ⅠA b (選)		
中国語ⅠB a (選)	中国語ⅠB (選)	
中国語ⅠB b (選)		
中国語Ⅱa (選)	中国語Ⅱ (選)	
中国語Ⅱb (選)		
中国語コミュニケーションA a	中国語コミュニケーションⅠ	
中国語コミュニケーションA b		
中国語コミュニケーションB a	中国語コミュニケーションⅡ	
中国語コミュニケーションB b		
現代を読む中国語a	現代を読む中国語	
現代を読む中国語b		
中国語スキルアップa	中国語スキルアップ	
中国語スキルアップb		
スペイン語ⅠA a (選)	スペイン語ⅠA (選)	
スペイン語ⅠA b (選)		
スペイン語ⅠB a (選)	スペイン語ⅠB (選)	
スペイン語ⅠB b (選)		

現行科目名	旧科目名	修得年度
スペイン語Ⅱ a (選)	スペイン語Ⅱ (選)	平成25 (2013) 年度以前
スペイン語Ⅱ b (選)		
スペイン語コミュニケーションA a	スペイン語コミュニケーションⅠ	
スペイン語コミュニケーションA b		
スペイン語コミュニケーションB a	スペイン語コミュニケーションⅡ	
スペイン語コミュニケーションB b		
現代を読むスペイン語 a	現代を読むスペイン語	
現代を読むスペイン語 b		
スペイン語スキルアップ a	スペイン語スキルアップ	
スペイン語スキルアップ b		
ロシア語Ⅰ A a (選)	ロシア語Ⅰ A (選)	
ロシア語Ⅰ A b (選)		
ロシア語Ⅰ B a (選)	ロシア語Ⅰ B (選)	
ロシア語Ⅰ B b (選)		
ロシア語Ⅱ a (選)	ロシア語Ⅱ (選)	
ロシア語Ⅱ b (選)		
ロシア語コミュニケーションA a	ロシア語コミュニケーションⅠ	
ロシア語コミュニケーションA b		
ロシア語コミュニケーションB a	ロシア語コミュニケーションⅡ	
ロシア語コミュニケーションB b		
現代を読むロシア語 a	現代を読むロシア語	
現代を読むロシア語 b		
ロシア語スキルアップ a	ロシア語スキルアップ	
ロシア語スキルアップ b		
朝鮮語Ⅰ A a (選)	朝鮮語Ⅰ A (選)	
朝鮮語Ⅰ A b (選)		
朝鮮語Ⅰ B a (選)	朝鮮語Ⅰ B (選)	
朝鮮語Ⅰ B b (選)		
朝鮮語Ⅱ a (選)	朝鮮語Ⅱ (選)	
朝鮮語Ⅱ b (選)		

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
英語ⅠA	平成26(2014)年度以降	朝鮮語ⅠA(選)	平成26(2014)年度以降
英語ⅠB		朝鮮語ⅠB(選)	
ドイツ語ⅠA		英文講読	
ドイツ語ⅠB		時事英語研究	
フランス語ⅠA		マルチ・メディア	
フランス語ⅠB		英会話Ⅱ	
中国語ⅠA		英会話Ⅲ	
中国語ⅠB		英語LⅡ	
スペイン語ⅠA		英語LⅢ	
スペイン語ⅠB		ドイツ語コミュニケーションⅠ	
ロシア語ⅠA		フランス語コミュニケーションⅠ	
ロシア語ⅠB		中国語コミュニケーションⅠ	
英語ⅡA		スペイン語コミュニケーションⅠ	
英語ⅡB		ロシア語コミュニケーションⅠ	
ドイツ語ⅡA		ドイツ語コミュニケーションⅡ	
ドイツ語ⅡB		フランス語コミュニケーションⅡ	
フランス語ⅡA		中国語コミュニケーションⅡ	
フランス語ⅡB		スペイン語コミュニケーションⅡ	
中国語ⅡA		ロシア語コミュニケーションⅡ	
中国語ⅡB		ドイツ語Ⅱ(選)	
スペイン語ⅡA		フランス語Ⅱ(選)	
スペイン語ⅡB		中国語Ⅱ(選)	
ロシア語ⅡA		スペイン語Ⅱ(選)	
ロシア語ⅡB		ロシア語Ⅱ(選)	
英会話Ⅰ		朝鮮語Ⅱ(選)	
英語LⅠ		現代を読むドイツ語	
ドイツ語ⅠA(選)		現代を読むフランス語	
ドイツ語ⅠB(選)		現代を読む中国語	
フランス語ⅠA(選)		現代を読むスペイン語	
フランス語ⅠB(選)		現代を読むロシア語	
中国語ⅠA(選)		ドイツ語スキルアップ	
中国語ⅠB(選)		フランス語スキルアップ	
スペイン語ⅠA(選)		中国語スキルアップ	
スペイン語ⅠB(選)		スペイン語スキルアップ	
ロシア語ⅠA(選)	ロシア語スキルアップ		
ロシア語ⅠB(選)			

# 保健体育科目

## 1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目として設置され、選択科目（実技・講義）として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ③玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。
- ・受講する学生の習熟度によって学習の進度が変更になる場合があります。
  - ・『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ④玉川キャンパスでは、雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、授業が行われる校舎の掲示板等で周知します。
- ⑤見学について
- ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
  - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ⑥服装について
- ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑦事故・負傷・貴重品の管理について
- ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
  - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑧「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
  - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
  - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
  - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
  - ・オリエンテーション日程  
1回目：4月 5日（土）12：10～12：40 1-304教場  
2回目：4月12日（土）12：10～12：40 1-304教場
  - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
  - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数													
選択	*	実技	健康・スポーツ実習	2	通年	1							<学生番号指定> <玉川キャンパス> <再クラス> <種目・定員> ・前期と後期で異なる種目を受講してください。 ・4月初回の授業で種目を決定しますので、必ず出席してください。服装は普段着で構いません。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。		
			実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	半期	1				○予				
				生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	1	半期		2			○予				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	1	半期			3		○予				
				生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	1	半期				4	○予				
				生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	半期	1				○予				
				生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）	1	半期		2			○予				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	1	半期			3		○予				
				生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	1	半期				4	○予				
				生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	半期	1				○予				
				生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）	1	半期		2			○予				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	1	半期			3		○予				
				生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	1	半期				4	○予				
		生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）		1	半期	1				○予					
		生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）		1	半期		2			○予					
		生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	1	半期			3		○予						
		生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	1	半期				4	○予						
		講義実技	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4						
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4						
		講義	健康・スポーツ論1	2	半期	1				○予				<玉川キャンパス>	
			健康・スポーツ論2	2	半期	1	2	3	4	○予					
余暇学	2		半期		2	3	4	○予							

### 3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	平成25（2013）年度以降	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・基礎）	平成25（2013）年度以降
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・応用）	

### 実技科目の開講種目

「別表1」

・「健康・スポーツ実習」の開講種目

	木1（経営）	木2（経営）
種目	体操・トランポリン	空手道
	サッカー	体操・トランポリン
	室内球技	卓球
	空手道	サッカー
	トレーニング	室内球技
	テニス	テニス

※教職課程登録者で、1年次に単位を修得していない者は以下の履修が可能となりますので、教務部2番窓口で相談してください。本校体育館にて開講します。

	月2・3・4	火3	水4	木3
種目	室内球技（50名）	室内球技（50名）	室内球技（50名）	室内球技（50名）

「別表2」

・「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（前期／後期、基礎／応用）」の開講種目

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限										
2時限	前期基礎	室内球技	前期応用	室内球技	前期基礎	室内球技	前期応用	バレーボール	前期応用	室内球技
	後期基礎	室内球技	後期応用	室内球技	後期基礎	室内球技	後期応用	バレーボール	後期応用	室内球技
3時限	前期応用	室内球技	前期基礎	室内球技	前期基礎	室内球技	前期基礎	バドミントン	前期基礎	室内球技
	後期応用	室内球技	後期基礎	室内球技	後期基礎	室内球技	後期基礎	バドミントン	後期基礎	室内球技
4時限	前期応用	室内球技					前期応用	室内球技		
	後期応用	室内球技					後期応用	室内球技		

# 専門教育科目

## 1. 履修上の注意

### ・経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

- ①専門教育科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位数は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④コース制について、経営学科では平成20年度入学生より、専門教育科目の体系的学修のためにコース制を導入し、学修の到達目標に対応した3つのコースを設けています。皆さんの学問的関心や将来の進路希望にあわせてコースを選択し、選択したコースに従った履修計画を立ててください。コース制の詳細については経営学科のコース制のページを参照してください。

## 2. 開設科目一覧

### 対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	系列	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
必修	4科目	16単位	経営学	経営学	4	通年	1							〈学生番号指定〉 ・1年次に修得できなかった場合、同名科目を再度履修してください。（クラス指定はありません）
			経済学概説	経済学	4	通年	1							
			簿記学	会計学	4	通年	1							
			会計学		4	通年	1							
選択必修	4科目	16単位	経営管理論	経営学	4	通年		2			○先			《受講制限》 ・原則「演習Ⅰ」と同じ指導教員を履修してください。
			経営組織論		4	通年		2			○先			
			経済原論	経済学	4	通年		2			○予			
			産業組織論		4	通年		2			○予			
			財務会計論	会計学	4	通年		2			○予			
			原価計算論		4	通年		2			○予			
			演習Ⅱ	演習	4	通年			3					
			演習Ⅲ		4	通年				4				
			外書講読（英書Ⅰ）A	その他	2	半期			3	4	○予	有		
			外書講読（英書Ⅰ）B		2	半期			3	4	○予	有		

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	系列	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3				
選択	56単位以上 (16単位を超えた選択必修科目の単位数を含む)	↑	現代企業論	経営学	4	通年	1				○予		
			経営学史		4	通年		2	3	4	○予		
			アメリカ経営学		4	通年		2	3	4			休
			ドイツ経営学		4	通年		2	3	4	○予		
			経営労務論		4	通年		2	3	4	○予		
			経営心理学		4	通年		2	3	4	○予		
			生産管理論		4	通年		2	3	4	○予		
			マーケティング論		4	通年		2	3	4	○予		
			経営財務論		4	通年		2	3	4	○先		
			国際経営論		4	通年		2	3	4	○予		
			経営戦略論		4	通年		2	3	4	○予		
			ベンチャー企業論		4	通年		2	3	4	○予		
			経営史		4	通年		2	3	4	○予		
			環境経営論		4	通年		2	3	4	○先		
			日本経営史		4	通年		2	3	4	○予		
			商業史		4	通年		2	3	4			休
			公益企業論		4	通年		2	3	4	○予		
			経済政策		経済学	4	通年	2	3	4	○予		
			財政学			4	通年	2	3	4	○予		
			金融論			4	通年	2	3	4	○予		
			国際経済論			4	通年	2	3	4	○予		
			日本経済論			4	通年	2	3	4	○予		
			証券市場論			4	通年	2	3	4	○予		
			計量経済学			4	通年	2	3	4	○予		
			イノベーション論			4	通年	2	3	4	○予		
			ファイナンス理論			4	通年	2	3	4	○予		
			ゲーム理論A			2	半期	2	3	4	○予		
			ゲーム理論B		2	半期	2	3	4	○予			
			日本経済史		4	通年	2	3	4	○予			
			上級簿記		会計学	4	通年	2	3	4	○予		
			管理会計論			4	通年	2	3	4	○先		
			会計監査論			4	通年	2	3	4	○予		
			税務会計論			4	通年	2	3	4	○予		
			経営分析論			4	通年	2	3	4	○先		
国際会計論	4	通年	2	3		4	○予						
経営数学A	経営科学	2	半期	1			○予			・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。			
経営数学B		2	半期	1			○予						
確率・統計入門A		2	半期	1			○予			・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。			
確率・統計入門B		2	半期	1			○予						

対象入学年度：経営学科 平成20（2008）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	系列	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
選択	56単位以上 16単位を超えた選択必修科目の単位数を含む		情報処理基礎A	経営科学	2	半期	1			○予		・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。	
			情報処理基礎B		2	半期	1			○予			
			経営科学概論		4	通年		2	3	4	○予		
			経営情報システムA		2	半期		2	3	4	○予		・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。
			経営情報システムB		2	半期		2	3	4	○予		
			経営統計A		2	半期		2	3	4	○予		・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。
			経営統計B	2	半期		2	3	4	○予			
			民法Ⅰ（総則・物権法）	法学	4	通年		2	3	4	○予		
			商法Ⅰ（総則・会社法）		4	通年		2	3	4	○予		
			経済法		4	通年		2	3	4	○予		
			労働法		4	通年		2	3	4	○先		
			税法		4	通年		2	3	4	○予		
			民法Ⅱ（債権法）		4	通年			3	4	○予		
			商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）		4	通年			3	4	○予		
			演習Ⅰ		演習	4	通年		2				
			外書講読（英書Ⅱ）A	その他	2	半期			3	4	○予	有	・駒澤大学会計人会協力講座です。
			外書講読（英書Ⅱ）B		2	半期			3	4	○予	有	
			ビジネス英語		4	通年			3	4	○予		
			特殊講義Ⅰ		2	半期		2	3	4	○予		
			特殊講義Ⅱ		2	半期			3	4	○予		
	特殊講義Ⅲ	2	半期			2	3	4	○予				
	特殊講義Ⅳ	2	半期			2	3	4	○予				

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度
外書講読（英書Ⅰ）A	外書講読（英書Ⅰ）	平成25（2013）年度以前
外書講読（英書Ⅰ）B		
外書講読（英書Ⅱ）A	外書講読（英書Ⅱ）	
外書講読（英書Ⅱ）B		

## 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
外書講読（英書Ⅰ）	平成26（2014）年度以降	外書講読（中国書）	平成26（2014）年度以降
外書講読（英書Ⅱ）		外書講読（スペイン書）	
外書講読（独書）		外書講読（ロシア書）	
外書講読（仏書）			

## 5. コース制

### ○経営学科のコース制

経営学科では、企業経営に対する深い理解に基づいて、実社会における多様な局面で新たな問題を見出し、その問題に対して総合的な解決策を提示できるプロフェッショナルの養成を目指しています。そのため、カリキュラムにおいてはバランスを重視し、経営学分野、経済学分野、会計学分野、経営科学分野、法学分野、および企業経営に関連した外国語分野それぞれに十分な数の専門教育科目を設けています。また、バランスのとれた学修と並行して、自分の関心や将来の希望進路を踏まえて専門的能力をより一層高められるように、学びのガイドラインとして専門教育課程にコース制（**企業経営コース**、**企業会計コース**、**経済分析コース**）を設け、系統的に経営学・会計学・経済学が学べるように配慮しています。コースの種類と特徴については表1に、コースの登録と修了認定については表2に、コース毎の修了認定対象科目については表3に示しています。履修計画作成にあたっては、自分自身の学問的関心や将来の希望進路に合わせてコースを選ぶとともに、外国語科目や教養教育科目や演習科目も含めてバランスのとれた学修になるよう心がけてください。

表1：コースの種類と特徴

コースの種類	特徴
企業経営コース	企業経営に関する理論と歴史と実践について深く学び、企業および企業行動のあり方を理解するためのコースです。企業経営者としての仕事をしようと考えている人だけでなく、企業経営を外部から指導するコンサルタントの仕事を目指す人にも適したコースです。
企業会計コース	企業経営者が経営意思決定を行うにあたって必要となる財務情報の収集・分類・分析のためのスキルを学ぶコースです。企業の財務・会計担当者を志している人、監査のプロフェッショナルを目指している人、税務の仕事に就こうとしている人に適したコースです。
経済分析コース	企業経営者が事業計画・投資計画を立てたり、他社への融資を決定したり、有価証券の売買を行ったりする際に事前に実施する各種経済分析の理論と実践について学ぶコースです。エコノミストやアナリスト、その他金融の仕事を目指している人に適したコースです。

表2：コースの登録と修了認定

登録	すべての学生が、2年次の初めにひとつのコースを選び登録します。
修了認定	コース毎に指定された科目から32単位以上修得した場合にコース修了と認定し、卒業時に修了証を交付します。

表3：コース別指定科目表

コースの種類	特徴
企業経営コース	現代企業論、経営管理論、経営組織論、経営学史、アメリカ経営学、ドイツ経営学、経営労務論、生産管理論、マーケティング論、経営財務論、国際経営論、経営戦略論、経営史、商業史、演習Ⅱ、演習Ⅲ
企業会計コース	財務会計論、原価計算論、経営財務論、上級簿記、管理会計論、会計監査論、税務会計論、経営分析論、国際会計論、民法Ⅰ（総則・物権法）、商法Ⅰ（総則・会社法）、税法、民法Ⅱ（債権法）、商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）、演習Ⅱ、演習Ⅲ
経済分析コース	確率・統計入門A、確率・統計入門B、経済原論、産業組織論、経済政策、財政学、金融論、国際経済論、日本経済論、証券市場論、計量経済学、イノベーション論、ファイナンス理論、ゲーム理論A、ゲーム理論B、日本経済史、演習Ⅱ、演習Ⅲ

### ○コースの登録方法

2年次に進級した全ての学生は、下記の前期登録期間に KONECO の「コース登録」画面より希望コースを登録してください。2年次以降の学生でコース登録をしていない場合も、登録期間に申請できます。なお、システム変更に伴い、平成25年度以前にコース登録用紙を提出した学生も KONECO による再登録が必要です。

コース認定を申請できるのは、1コースのみです。修了認定前であれば、コース変更も可能です。

希望コースに必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、コース登録期間終了後になります。詳細な日程は KONECO に掲示します。

#### ・コース登録期間

前期 4月29日（火）～7月19日（土）

後期 9月29日（月）～1月10日（土）

### ○認定と修了証発行

前期は8月末、後期は2月中旬に KONECO により成績発表が行われます。科目修得状況を確認してください。

コース認定対象科目のうち、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、コース認定に必要な単位数として算入されます。廃講科目については所属学科の廃講科目掲載ページを参照してください。

登録済みのコースにおける必要科目を修得した場合、下記の期間においてコース修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機により発行します。

#### ・コース修了証発行日

前期 9月16日（火）～

後期 3月13日（金）～

※卒業年次生は卒業式当日までの発行となります。

※3月末～4月2日までは、証明書自動発行機の停止期間となりますので注意してください。

# 経営学科フレックスA（平成19〈2007〉年度以前入学生）

## 開設科目一覧の見方

### 開設科目一覧のサンプル

必・選	卒業必要		科目名	※2 系列	単位	開講期	※3 開講 時限	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本 年 度 休 講	注意事項
	科目 数	単 位 数						1	2	3	4				
必修	1 科目	4 単位	科目 A		4	通年		1							〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
選択			科目 B		4	通年		1	2	3	4	◎予		休	
			科目 C		4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
			科目 D		4	通年		1	2	3	4	◎先			
			科目 E		2	半期		1	2	3	4	◎抽			

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているのかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、指定された単位数を修得してください。
※1 分野	教養教育科目のみ表示があります。 4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表示します。
科目名	授業科目名を表します。
※2 系列	経営学科（フレ A・B 含む）の専門教育科目のみ表示があります。 学習効果を高めるため、専門教育科目を系統的に履修するための系列を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期（半期・通年）を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
※3 開講時限	経営学科フレ A・B の教養教育科目と専門教育科目に表示があります。 ・経営学科フレックス A 生の開設科目一覧に表示される「☆」は、フレックス B 時間帯（月～金6・7時限、土曜3～7時限）でも履修可能（卒業までの履修制限単位数は教養教育科目12単位、専門教育科目は60単位）な科目です。 ・経営学科フレックス B 生の開設科目一覧に表示される「☆」は、フレックス A 時間帯（月～金1～5時限、土曜1～4時限、特1）でも履修可能（卒業までの履修制限単位数は教養教育科目20単位、専門教育科目は60単位）な科目です。
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目 「◎先」：受講先行予約科目 「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載有無を表します。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。

<p>注意事項</p>	<p>履修時に必要な注意事項を表します。</p> <p>「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。</p> <p>「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。</p> <p>「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。</p> <p>「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。</p> <p>「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。</p>
-------------	---

## 全学共通科目

### 宗教教育科目

#### 1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

#### 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							〈学生番号指定〉 〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
選択			文化と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			社会と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			自然と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎先			

# 教養教育科目

## 1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、選択科目として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野およびライフデザイン分野に分かれています。平成25（2013）年度以前は、人文分野、社会分野、自然分野および総合分野に分かれていました。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。但し総合分野の単位数は、ライフデザイン分野の単位として認定されます。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④選択科目として修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ⑤フレックス A 生は、フレックス B 時間帯（月～金曜日6・7時限、土曜日3～7時限）に開講されている経営学科フレックス B の教養教育科目を卒業までに12単位まで修得できます。ただし、『開設科目一覧』で開講時限に「☆」が付いているものに限ります。

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必 選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年度休 講	注意事項
	科目 数	単 位 数						1	2	3	4				
選 択	12 単 位	↑	人 文 分 野	宗教学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。	
				世界の宗教	4		通年	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。	
			人間観 A	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人間観 B	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
			価値観	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			制度とモラル	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代と倫理	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			東洋倫理	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			科学と技術	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			近代科学の成立と展開	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			科学方法論と現代論理	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			知の技法	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			西洋思想の源流	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			近代の人間観と世界観	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			日本美術	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
西洋芸術	4		通年	1	2	3	4	◎予	有						
音楽	4		通年	1	2	3	4	◎予	有						

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項	
	科目数	単位数						1	2	3	4					
選 択	12	単 位	人 文 分 野	歴史学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予				
				文学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予				
				日本語テーマ研究Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本語テーマ研究Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本語文化基礎	2		半期	1	2	3	4	◎予				
				日本文化基礎	2		半期	1	2	3	4	◎予				
				実務表現Ⅰ（話すこと）	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				実務表現Ⅱ（書くこと）	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本語文化探求Ⅰ	2		半期		2	3	4	◎予	有			
				日本語文化探求Ⅱ	2		半期		2	3	4	◎予	有			
				日本文化探求ⅠA	2		半期		2	3	4	◎予	有			
				日本文化探求ⅡA	2		半期		2	3	4	◎予	有			
				日本文化探求ⅠB	2		半期		2	3	4	◎予	有			
				日本文化探求ⅡB	2		半期		2	3	4	◎予	有			
				日本語文化理合Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本語文化理合Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本文化理解ⅠA	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本文化理解ⅡA	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅠB	2		半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本文化理解ⅡB	2		半期	1	2	3	4	◎予	有				
			人文地理学	4		通年	1	2	3	4	◎予					
			教育心理	4		通年	1	2	3	4	◎予					
			社 会 分 野	経済学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予				・「経済学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「経済学」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
				経済学A	2		半期	1	2	3	4	◎予				・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学A・B」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
				経済学B	2		半期	1	2	3	4	◎予				
				政治学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予				
				法学・憲法	4	☆	通年 集中	1	2	3	4	◎予				・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、「シラバス」掲載の日程を確認し、履修してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。
				民族と文化A	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				民族と文化B	2		半期	1	2	3	4	◎予	有			
				日本の文化と社会	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			アジアの社会と文化	4		通年	1	2	3	4	◎予	有				
			文化人類学概論	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有				

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本学 度休 講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選 択	12 単 位		社 会 分 野	統計学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有	・「統計学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。	
				統計学 A	2		半期	1	2	3	4	◎予	有	・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学 A・B」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。	
				統計学 B	2		半期	1	2	3	4	◎予	有	・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学 A・B」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。	
				社会学	4		通年	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。	
				社会学 A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学 A・B」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。	
				社会学 B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学 A・B」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。	
				教育学	4		通年	1	2	3	4	◎予			
				社会科学論 A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				社会科学論 B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			現代社会と宗教 A	2		半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。		
			現代社会と宗教 B	2		半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。		
			応用倫理学	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代文明と哲学	4		通年	1	2	3	4	◎予	有			
			自 然 分 野	心理学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学 I・II」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「心理学」を履修することはできません。また「心理学 I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。 ・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については『シラバス』掲載日程を確認の上、履修登録してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。	
				心理学 I	2		半期	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学 I・II」を履修することはできません。また「心理学 I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。	
				心理学 II	2		半期	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学 I・II」を履修することはできません。また「心理学 I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。	

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選 択	12 単 位	↓	自 然 分 野	人類学Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				人類学Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				宇宙科学Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				宇宙科学Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				化学Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				化学Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				物理学Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				物理学Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				数学Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				数学Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				数学Ⅲ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				数学Ⅳ	2	☆	半期	1	2	3	4	○予	有		
				自然誌Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				自然誌Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	○予	有		
				自然環境論	2	☆	半期	1	2	3	4	○予	有		
				地球科学Ⅰ	2	☆	半期	1	2	3	4	○予	有		
				地球科学Ⅱ	2	☆	半期	1	2	3	4	○予	有		
				生物学Ⅰ	2	☆	半期	1	2	3	4	○予	有		
			生物学Ⅱ	2	☆	半期	1	2	3	4	○予	有			
			自然観察実習	2		半期	1	2	3	4	○予				
			ラ イ フ テ ザ イ ン 分 野			キャリアを考えるⅠ	2		半期		2			○予	
		キャリアを考えるⅡ		2		半期		2			○予		・「Ⅱ」は「Ⅰ」と同時に履修すること。または、2年次で「Ⅰ」の単位を修得済であること。		
		駒澤大学の歴史		2		半期	1	2	3	4	○予				

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25 (2013) 年度以前	日本文化理解 I B	日本文化研究 I B	平成25 (2013) 年度以前
現代社会と宗教 A			日本文化理解 II B		
現代社会と宗教 B			文化人類学		
人間観 A	民族と文化 A				
人間観 B	民族と文化 B				
価値観	日本の文化と社会				
制度とモラル	アジアの社会と文化				
現代と倫理	文化人類学概論				
東洋倫理	統計学				
応用倫理学			統計学 A		
科学と技術	科学史		統計学 B	社会学	
近代科学の成立と展開	論理学		社会学 A		
科学方法論と現代論理			社会学 B		
知の技法	哲学		社会科学論 A	社会科学論	
西洋思想の源流			社会科学論 B		
近代の人間観と世界観	芸術学		心理学 I	心理学	
現代文明と哲学			心理学 II		
日本美術	実務表現		人類学 I	人類学	
西洋芸術			人類学 II		
音楽	日本文化テーマ研究 A		宇宙科学 I	宇宙科学	
日本語テーマ研究 I			宇宙科学 II		
日本語テーマ研究 II	日本文化テーマ研究 B		化学 I	化学	
実務表現 I (話すこと)	実務表現		化学 II		
実務表現 II (書くこと)			物理学 I	物理学	
日本語文化探求 I	日本言語文化研究 II		物理学 II		
日本語文化探求 II			数学 I	数学	
日本文化探求 I A	数学 II				
日本文化探求 II A	数学 III				
日本文化探求 I B	日本文化研究 II A		数学 IV	情報数学	
日本文化探求 II A			自然誌 I	自然誌	
日本文化探求 I B	日本文化研究 II B		自然誌 II		
日本文化探求 II B			自然環境論 (2単位)	自然環境論 (4単位)	
日本語文化理會 I	日本言語文化研究 I		地球科学 I	地球科学	
日本語文化理會 II			地球科学 II		
日本文化理解 I A	日本文化研究 I A	生物学 I	生物学		
日本文化理解 II A		生物学 II			

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
フレッシュマンセミナー	平成26（2014）年度以降	数学	平成26（2014）年度以降
哲学		物理学	
倫理学		化学	
論理学		生物学	
科学史		人類学	
芸術学		地球科学	
日本文化テーマ研究A		宇宙科学	
日本文化テーマ研究B		自然誌	
日本文化テーマ研究C		自然環境論（4単位）	
日本文化テーマ研究D		情報数学	
日本文化テーマ研究E		総合Ⅰ	
日本文化テーマ研究F		総合Ⅱ	
日本文化テーマ研究G		総合Ⅲ	
日本文化テーマ研究H		総合Ⅳ	
実務表現		総合Ⅴ	
日本文化研究ⅠA		総合Ⅵ	
日本文化研究ⅠB		総合Ⅶ	
日本語文化研究Ⅰ		総合Ⅷ	
日本文化研究ⅡA		教育の思想	平成20（2008）年度以降
日本文化研究ⅡB		教育と社会	
日本語文化研究Ⅱ		発達と学習の心理学	
社会科学論		カリキュラムと学習	
文化人類学			

# 外国語科目

## 1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②学生番号が指定されている場合は、指定された曜日、時限、担当教員の科目を履修してください。学生番号の指定については、『授業時間表』に掲載されています。
- ③同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ⑤習熟度別クラス編成について  
2014（平成26）年度入学生より、英語を選択必修として履修する入学者は、全員「英語科目クラス分けテスト」を受験し、そのテストの成績により履修レベルを初級・中級・上級のいずれかに決定しています（原則的に履修レベルは2年次においても継続されます）。  
なお、初級と上級の授業は駒沢キャンパスで行います。玉川キャンパスで開講されている「英語 I B a・I B b」は、中級のみ受講できます。
- ⑥英語選択科目について  
英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。  
外国語科目について：[http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo\\_risyu](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu)

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次	抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数									
選択必修	入学手続時に指定した1か国語の I A a・I A b、I B a、I B b、I C（会話）	↑ 5科目 ↑ 6単位	英語 I A a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
			英語 I A b	1	半期	1				有	
			英語 I B a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
			英語 I B b	1	半期	1				有	
			英語 I C（会話）	2	通年	1					〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
			ドイツ語 I A a	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I A b	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I B a	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I B b	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I C（会話）	2	通年	1					
			フランス語 I A a	1	半期	1				有	
			フランス語 I A b	1	半期	1				有	
			フランス語 I B a	1	半期	1				有	
			フランス語 I B b	1	半期	1				有	
			フランス語 I C（会話）	2	通年	1					

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次	抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数									
入学手続時に指定した1カ国語のI A a、I A b、I B a、I B b、I C（会話）	5科目	6単位	中国語 I A a	1	半期	1			有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉	
			中国語 I A b	1	半期	1			有		
			中国語 I B a	1	半期	1			有		
			中国語 I B b	1	半期	1			有		
			中国語 I C（会話）	2	通年	1					
			スペイン語 I A a	1	半期	1			有		
			スペイン語 I A b	1	半期	1			有		
			スペイン語 I B a	1	半期	1			有		
			スペイン語 I B b	1	半期	1			有		
			スペイン語 I C（会話）	2	通年	1					
			ロシア語 I A a	1	半期	1			有		
			ロシア語 I A b	1	半期	1			有		
			ロシア語 I B a	1	半期	1			有		
			ロシア語 I B b	1	半期	1			有		
			ロシア語 I C（会話）	2	通年	1					
入学手続時に指定した1カ国語のII A a・II A b、II C（会話）	3科目	4単位	英語 II A a	1	半期	2			有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉	
			英語 II A b	1	半期	2			有		
			英語 II C（会話）	2	通年	2					
			ドイツ語 II A a	1	半期	2		◎抽	有		
			ドイツ語 II A b	1	半期	2		◎抽	有		
			ドイツ語 II C（会話）	2	通年	2					
			フランス語 II A a	1	半期	2		◎抽	有		
			フランス語 II A b	1	半期	2		◎抽	有		
			フランス語 II C（会話）	2	通年	2					
			中国語 II A a	1	半期	2		◎抽	有		
			中国語 II A b	1	半期	2		◎抽	有		
			中国語 II C（会話）	2	通年	2					
			スペイン語 II A a	1	半期	2		◎抽	有		
			スペイン語 II A b	1	半期	2		◎抽	有		
			スペイン語 II C（会話）	2	通年	2					
ロシア語 II A a	1	半期	2			有					
ロシア語 II A b	1	半期	2			有					
ロシア語 II C（会話）	2	通年	2								
1・2年次に履修した1カ国語Ⅲ A	1科目	2科目	英語Ⅲ A	2	通年		3			休	〈再クラス〉
			ドイツ語Ⅲ A	2	通年		3			休	
			フランス語Ⅲ A	2	通年		3			休	
			中国語Ⅲ A	2	通年		3			休	
			スペイン語Ⅲ A	2	通年		3			休	
			ロシア語Ⅲ A	2	通年		3			休	
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	◎予	
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	◎予	
			実用英語資格試験 I a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予	
			実用英語資格試験 I b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予	
			ビジネス英語 I	1	半期	1	2	3	4	◎予	
			英語プレゼンテーション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予	

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選			英語プレゼンテーション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験 II a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験 II b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			ビジネス英語 II	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーション II a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーション II b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験 I a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験 I b（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティング I a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティング I b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験 III a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験 III b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			総合英語資格試験 a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			総合英語資格試験 b（聴解・二次）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッション II a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッション II b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験 II a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験 II b（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティング II	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語多読・多聴 a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語多読・多聴 b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 I）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 II）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 III）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 IV）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 V）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 VI）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 VII）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語 VIII）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化 I）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化 II）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化 III）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化 IV）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化 V）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化 VI）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会 I）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
		英語で学ぶ教養（歴史と社会 II）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（歴史と社会 III）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（歴史と社会 IV）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（歴史と社会 V）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（歴史と社会 VI）	2	半期	1	2	3	4	◎予				

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選			ドイツ語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目)
			ドイツ語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			ドイツ語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むドイツ語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むドイツ語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			ドイツ語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目)
			フランス語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			フランス語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むフランス語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むフランス語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			フランス語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			中国語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			中国語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			中国語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			中国語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
		中国語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目)	
		中国語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
		中国語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		中国語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		現代を読む中国語 a	2	半期			3	4	◎予	有			

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
選択			現代を読む中国語b	2	半期			3	4	◎予	有		
			中国語スキルアップa	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			中国語スキルアップb	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II a（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」（選択必修科目）
			スペイン語 II b（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		・「I A a（選）」・「I A b（選）」・「I B a（選）」・「I B b（選）」
			スペイン語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語b	2	半期			3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップa	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップb	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II a（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」（選択必修科目）
			ロシア語 II b（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		・「I A a（選）」・「I A b（選）」・「I B a（選）」・「I B b（選）」
			ロシア語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むロシア語a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むロシア語b	2	半期			3	4	◎予	有		
			ロシア語スキルアップa	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		ロシア語スキルアップb	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I A a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I A b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 II a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a（選）」・「I A b（選）」・「I B a（選）」・「I B b（選）」	
		朝鮮語 II b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
英語 I A a	英語 I A	平成25 (2013) 年度以前	現代を読むドイツ語 a	現代を読むドイツ語	平成25 (2013) 年度以前
英語 I A b			現代を読むドイツ語 b		
英語 I B a	英語 I B		ドイツ語スキルアップ a	ドイツ語スキルアップ	
英語 I B b			ドイツ語スキルアップ b		
ドイツ語 I A a	ドイツ語 I A		フランス語 I A a (選)	フランス語 I A (選)	
ドイツ語 I A b			フランス語 I A b (選)		
ドイツ語 I B a	ドイツ語 I B		フランス語 I B a (選)	フランス語 I B (選)	
ドイツ語 I B b			フランス語 I B b (選)		
フランス語 I A a	フランス語 I A		フランス語 II a (選)	フランス語 II (選)	
フランス語 I A b			フランス語 II b (選)		
フランス語 I B a	フランス語 I B		フランス語コミュニケーションA a	フランス語コミュニケーション I	
フランス語 I B b			フランス語コミュニケーションA b		
中国語 I A a	中国語 I A		フランス語コミュニケーションB a	フランス語コミュニケーション II	
中国語 I A b			フランス語コミュニケーションB b		
中国語 I B a	中国語 I B		現代を読むフランス語 a	現代を読むフランス語	
中国語 I B b			現代を読むフランス語 b		
スペイン語 I A a	スペイン語 I A		フランス語スキルアップ a	フランス語スキルアップ	
スペイン語 I A b			フランス語スキルアップ b		
スペイン語 I B a	スペイン語 I B		中国語 I A a (選)	中国語 I A (選)	
スペイン語 I B b			中国語 I A b (選)		
ロシア語 I A a	ロシア語 I A	中国語 I B a (選)	中国語 I B (選)		
ロシア語 I A b		中国語 I B b (選)			
ロシア語 I B a	ロシア語 I B	中国語 II a (選)	中国語 II (選)		
ロシア語 I B b		中国語 II b (選)			
英語 II A a	英語 II A	中国語コミュニケーションA a	中国語コミュニケーション I		
英語 II A b		中国語コミュニケーションA b			
ドイツ語 II A a	ドイツ語 II A	中国語コミュニケーションB a	中国語コミュニケーション II		
ドイツ語 II A b		中国語コミュニケーションB b			
フランス語 II A a	フランス語 II A	現代を読む中国語 a	現代を読む中国語		
フランス語 II A b		現代を読む中国語 b			
中国語 II A a	中国語 II A	中国語スキルアップ a	中国語スキルアップ		
中国語 II A b		中国語スキルアップ b			
スペイン語 II A a	スペイン語 II A	スペイン語 I A a (選)	スペイン語 I A (選)		
スペイン語 II A b		スペイン語 I A b (選)			
ロシア語 II A a	ロシア語 II A	スペイン語 I B a (選)	スペイン語 I B (選)		
ロシア語 II A b		スペイン語 I B b (選)			
ドイツ語 I A a (選)	ドイツ語 I A (選)	スペイン語 II a (選)	スペイン語 II (選)		
ドイツ語 I A b (選)		スペイン語 II b (選)			
ドイツ語 I B a (選)	ドイツ語 I B (選)	スペイン語コミュニケーションA a	スペイン語コミュニケーション I		
ドイツ語 I B b (選)		スペイン語コミュニケーションA b			
ドイツ語 II a (選)	ドイツ語 II (選)	スペイン語コミュニケーションB a	スペイン語コミュニケーション II		
ドイツ語 II b (選)		スペイン語コミュニケーションB b			
ドイツ語コミュニケーションA a	ドイツ語コミュニケーション I	現代を読むスペイン語 a	現代を読むスペイン語		
ドイツ語コミュニケーションA b		現代を読むスペイン語 b			
ドイツ語コミュニケーションB a	ドイツ語コミュニケーション II	スペイン語スキルアップ a	スペイン語スキルアップ		
ドイツ語コミュニケーションB b		スペイン語スキルアップ b			

現行科目名	旧科目名	修得年度
ロシア語ⅠA a (選)	ロシア語ⅠA (選)	平成25 (2013) 年度以前
ロシア語ⅠA b (選)		
ロシア語ⅠB a (選)	ロシア語ⅠB (選)	
ロシア語ⅠB b (選)		
ロシア語Ⅱ a (選)	ロシア語Ⅱ (選)	
ロシア語Ⅱ b (選)		
ロシア語コミュニケーションA a	ロシア語コミュニケーションⅠ	
ロシア語コミュニケーションA b		

現行科目名	旧科目名	修得年度
ロシア語コミュニケーションB a	ロシア語コミュニケーションⅡ	平成25 (2013) 年度以前
ロシア語コミュニケーションB b		
現代を読むロシア語 a	現代を読むロシア語	
現代を読むロシア語 b		
ロシア語スキルアップ a	ロシア語スキルアップ	
ロシア語スキルアップ b		

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度		
英語ⅠA	平成26 (2014) 年度以降	時事英語研究	平成26 (2014) 年度以降		
英語ⅠB		マルチ・メディア			
ドイツ語ⅠA		英会話Ⅱ			
ドイツ語ⅠB		英会話Ⅲ			
フランス語ⅠA		英語LLⅡ			
フランス語ⅠB		英語LLⅢ			
中国語ⅠA		ドイツ語コミュニケーションⅠ			
中国語ⅠB		フランス語コミュニケーションⅠ			
スペイン語ⅠA		中国語コミュニケーションⅠ			
スペイン語ⅠB		スペイン語コミュニケーションⅠ			
ロシア語ⅠA		ロシア語コミュニケーションⅠ			
ロシア語ⅠB		ドイツ語コミュニケーションⅡ			
英語ⅡA		フランス語コミュニケーションⅡ			
ドイツ語ⅡA		中国語コミュニケーションⅡ			
フランス語ⅡA		スペイン語コミュニケーションⅡ			
中国語ⅡA		ロシア語コミュニケーションⅡ			
スペイン語ⅡA		ドイツ語Ⅱ (選)			
ロシア語ⅡA		フランス語Ⅱ (選)			
英会話Ⅰ		中国語Ⅱ (選)			
英語LLⅠ		スペイン語Ⅱ (選)			
ドイツ語ⅠA (選)		ロシア語Ⅱ (選)			
ドイツ語ⅠB (選)		朝鮮語Ⅱ (選)			
フランス語ⅠA (選)		現代を読むドイツ語			
フランス語ⅠB (選)		現代を読むフランス語			
中国語ⅠA (選)		現代を読む中国語			
中国語ⅠB (選)		現代を読むスペイン語			
スペイン語ⅠA (選)		現代を読むロシア語			
スペイン語ⅠB (選)		ドイツ語スキルアップ			
ロシア語ⅠA (選)		フランス語スキルアップ			
ロシア語ⅠB (選)		中国語スキルアップ			
朝鮮語ⅠA (選)		スペイン語スキルアップ			
朝鮮語ⅠB (選)		ロシア語スキルアップ			
英文講読					

## 保健体育科目

### 1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目（実技）と選択科目（実技・講義）に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②選択科目として修得した単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ③玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。
- ・受講する学生の習熟度によって学習の進度が変更になる場合があります。
  - ・『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ④玉川キャンパスでは、雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、授業が行われる校舎の掲示板等で周知します。
- ⑤見学について
- ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
  - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ⑥服装について
- ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑦事故・負傷・貴重品の管理について
- ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
  - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑧「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
  - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
  - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
  - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
  - ・オリエンテーション日程  
1回目：4月 5日（土）12：10～12：40 1-304教場  
2回目：4月12日（土）12：10～12：40 1-304教場
  - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
  - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数												
必修	1科目	2単位	健康・スポーツ実習	2	通年	1							《種目・定員》 ・4月初回の授業で種目を決定しますので必ず出席してください。服装は普段着で構いません。 ・前期と後期で異なる種目を受講してください。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。 《玉川キャンパス》 《再クラス》	
	実技													
選択	実技		生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	半期	1				◎予				
			生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	1	半期		2			◎予				
			生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	1	半期			3			◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	1	半期				4		◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	半期	1					◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）	1	半期		2				◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	1	半期			3			◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	1	半期				4		◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	半期	1					◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）	1	半期		2				◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	1	半期			3			◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	1	半期				4		◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	1	半期	1					◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）	1	半期		2				◎予			
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	1	半期			3			◎予					
	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	1	半期				4		◎予					
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4				・「1. 履修上の注意」を参照してください。
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4				
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4				
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4				
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4				
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4				
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4				
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義			健康・スポーツ論1	2	半期	1				◎予		<玉川キャンパス>	
				健康・スポーツ論2	2	半期	1	2	3	4	◎予			
				余暇学	2	半期		2	3	4	◎予			

## 3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎)	平成25（2013）年度以降	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・基礎）	平成25（2013）年度以降
生涯スポーツ実習(集中前期・応用)		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎)		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ実習(集中後期・応用)		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・応用）	

## 実技科目の開講種目

〔別表1〕

・「健康・スポーツ実習（再クラス）」の開講種目

※再クラスを履修する場合は、抽選登録が必要となります。本校体育館にて開講します。

	月2・3・4	火3	水4	木3
種目	室内球技（50名）	室内球技（50名）	室内球技（50名）	室内球技（50名）

〔別表2〕

・「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（前期／後期、基礎／応用）」の開講種目

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限										
2時限	前期基礎	室内球技	前期応用	室内球技	前期基礎	室内球技	前期応用	バレーボール	前期応用	室内球技
	後期基礎	室内球技	後期応用	室内球技	後期基礎	室内球技	後期応用	バレーボール	後期応用	室内球技
3時限	前期応用	室内球技	前期基礎	室内球技	前期基礎	室内球技	前期基礎	バドミントン	前期基礎	室内球技
	後期応用	室内球技	後期基礎	室内球技	後期基礎	室内球技	後期基礎	バドミントン	後期基礎	室内球技
4時限	前期応用	室内球技					前期応用	室内球技		
	後期応用	室内球技					後期応用	室内球技		

# 専門教育科目

## 1. 履修上の注意

### ・経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

- ①専門教育科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。専門教育科目全般にわたって十分検討して履修することが必要です。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位数は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④経営学科フレックス A 生は、フレックス B 時間帯（月～金曜6・7時限、土曜3～7時限）に開講されている経営学科フレックス B 専門教育科目の選択科目を卒業までに60単位を限度として修得できます。ただし、《開設科目一覧》で開講時限に「☆」印がついているものに限りです。また、フレックス A 時間帯に休講であっても、フレックス B 時間帯に開講されている科目は、フレックス B 時間帯で履修することができます。  
経営学部において開設されている専門教育科目をどのように履修するかは皆さんの任意ですが、学修効果を高めるためには系統的に履修することが望まれます。履修計画をたてる際、「《開設科目一覧》・系列」を参考にしてください。

## 2. 開設科目一覧

### 対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	系列	単位	開講期	開講時限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数						1	2	3	4					
必修	4科目	16単位	経済学概説	経済学	4	通年		1							〈学生番号指定〉 ・1年次に修得できなかった場合、同名科目を再度履修してください。（クラス指定はありません）	
			経営学	経営学	4	通年		1								
			簿記学	会計学	4	通年		1								
			会計学		4	通年		1								
選択必修	1科目	▲4単位 ▼	経済学原論	経済学	4	通年			2			◎予				
			近代経済学		4	通年			2				◎予			
			経営科学概論	経営科学	4	通年				2			◎予			
選択	68単位以上 (4単位を超えた選択必修科目の単位数を含む)	▲	経営数学A	経営科学	2	半期	☆	1	2	3	4	◎予	有	・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。		
			経営数学B		2	半期	☆	1	2	3	4		有			
			情報処理基礎A		2	半期		1	2	3	4	◎予	有		・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。	
			情報処理基礎B		2	半期		1	2	3	4	◎予	有			
		演習 I	演習	4	通年				2					《受講制限》		
		経営学史	経営学	4	通年	☆		2	3	4	◎予			・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。		
		アメリカ経営学		4	通年	☆		2	3	4			休			
		ドイツ経営学		4	通年	☆		2	3	4	◎予					
		経営管理論		4	通年	☆		2	3	4	◎先					
		経営組織論		4	通年	☆		2	3	4	◎先					
経営労務論	4	通年		☆		2	3	4	◎予							

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	系列	単位	開講期	開講時限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数												
選択	68	単位以上（4単位を超えた選択必修科目の単位数を含む）	経営心理学	経営学	4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			生産管理論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			マーケティング論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			経営財務論		4	通年	☆	2	3	4	◎先			
			国際経営論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			経営戦略論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			現代企業論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			ベンチャー企業論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			公益企業論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			環境経営論		4	通年	☆	2	3	4	◎先			
			経営史		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			日本経営史		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			商業史		4	通年	☆	2	3	4	◎予		休	
			保険経営論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			銀行経営論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			商業経営論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			上級簿記	会計学	4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			財務会計論		4	通年	☆	2	3	4	◎先			
			管理会計論		4	通年	☆	2	3	4	◎先			
			会計監査論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			原価計算論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			税務会計論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			経営分析論		4	通年	☆	2	3	4	◎先			
			国際会計論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			経済政策	経済学	4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			財政学		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			金融論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			国際経済論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			日本経済論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			証券市場論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			計量経済学		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			イノベーション論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			ファイナンス理論		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			日本経済史		4	通年	☆	2	3	4	◎予			
			情報処理応用A	経営科学	2	半期		2	3	4	◎予	有		
			情報処理応用B		2	半期		2	3	4	◎予	有		
情報セキュリティA	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
情報セキュリティB	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
マネジメント・サイエンスA	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
マネジメント・サイエンスB	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
経営情報システムA	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
経営情報システムB	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
経営統計A	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
経営統計B	2	半期	☆		2	3	4	◎予	有					
流通システム論A（マクロ）	2	半期			2	3	4	◎予	有					

・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。

対象入学年度：経営学科フレックス A 平成19（2007）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	系列	単位	開講期	開講 時限	配当年次			抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数						2	3	4				
選 択	68 単位以上 (4 単位を超えた選択必修科目の 単位数を含む)		流通システム論B（マイクロ）	経営科学	2	半期		2	3	4	○予	有	・「B」の履修は同一 名称科目の「A」の単 位を修得済または同時 に履修することが望ま しい。	
			ゲーム理論A		2	半期	☆	2	3	4	○予			
			ゲーム理論B		2	半期	☆	2	3	4	○予			
			e - ビジネス		4	通年			3	4	○予		休	
			グローバル・マーケティング論		4	通年			3	4	○予			
			消費者行動論		4	通年			3	4	○予			
			製品開発論		4	通年			3	4	○予			
			マーケティング・コミュニケーション論		4	通年			3	4	○予			
			マーケティング・サイエンスA		2	半期			3	4	○予			
			マーケティング・サイエンスB		2	半期			3	4	○予			・「B」の履修は同一 名称科目の「A」の単 位を修得済または同時 に履修することが望ま しい。
			マーケティング・リサーチA		2	半期			3	4	○予			
			マーケティング・リサーチB		2	半期			3	4	○予			
			マーケティング史		4	通年			3	4	○予			
			リスクマネジメント論	4	通年	☆		3	4	○予				
			経済法	法学	4	通年			2	3	4	○予	有	
			民法Ⅰ（総則・物権法）		4	通年			2	3	4	○予		
			商法Ⅰ（総則・会社法）		4	通年			2	3	4	○予		
			労働法		4	通年	☆		2	3	4	○先		
			税法		4	通年	☆		2	3	4	○予		
			演習Ⅱ	演習	4	通年			3					《受講制限》
			民法Ⅱ（債権法）	法学	4	通年			3	4	○予			
			商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）		4	通年			3	4	○予			
			外書講読（英書Ⅰ）A	その他	2	半期			3	4	○予	有		
			外書講読（英書Ⅰ）B		2	半期			3	4	○予	有		
			外書講読（英書Ⅱ）A		2	半期			3	4	○予	有		
			外書講読（英書Ⅱ）B		2	半期			3	4	○予	有		
ビジネス英語	4	通年	☆			3	4	○予						
特殊講義Ⅰ	2	半期				2	3	4	○予	有				
特殊講義Ⅱ	2	半期				3	4	○予	有	・駒澤大学会計人会協 力講座です。				
特殊講義Ⅲ	2	半期				2	3	4	○予					
特殊講義Ⅳ	2	半期				2	3	4	○予					
演習Ⅲ	演習	4	通年					4			《受講制限》			

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	
流通システム論A (マクロ)	流通システム論	平成25 (2013) 年度以前	
流通システム論B (ミクロ)			
外書講読 (英書 I) A	外書講読 (英書 I)		
外書講読 (英書 I) B			
外書講読 (英書 II) A	外書講読 (英書 II)		
外書講読 (英書 II) B			
経営数学A	経営数学 (4単位)		平成19 (2007) 年度以前
経営数学B			
情報セキュリティA	情報理論		
情報セキュリティB			
マネジメント・サイエンスA	経営科学		
マネジメント・サイエンスB			
経営情報システムA	経営情報論		
経営情報システムB			
経営統計A	経営統計		
経営統計B			
外書講読 (英書 I)	外書講読 (英書)		
特殊講義 I	特殊講義 (前期)		
特殊講義 II	特殊講義 (後期)		
情報処理応用A	情報処理応用 II		
情報処理応用B	情報処理応用 III		
経済法 (経営学科開講)	経済法 (他学部履修科目開講)		
情報処理基礎A	情報処理基礎 (2単位)		
情報処理基礎B	情報処理応用 I (2単位)		

### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度	
システム論	平成26 (2014) 年度以降	情報理論	平成20 (2008) 年度以降	
統計原論		経営科学		
流通システム論		経営情報論		
マーケティング・チャネル論		経営統計		
外書講読 (英書 I)		外書講読 (英書)		
外書講読 (英書 II)		特殊講義 (前期)		
外書講読 (独書)		特殊講義 (後期)		
外書講読 (仏書)		情報処理応用 II		
外書講読 (中国書)		情報処理応用 III		
外書講読 (スペイン書)		情報処理基礎 (2単位)		
外書講読 (ロシア書)		情報処理応用 I (2単位)		
情報会計論		平成20 (2008) 年度以降	企業形態論	平成19 (2007) 年度以降
経営数学 (4単位)				

# 経営学科フレックスB

## 開設科目一覧の見方

### 開設科目一覧のサンプル

必・選	卒業必要		(※1) 分野	科目名	(※2) 系列	単位	開講期	(※3) 開講時限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数							1	2	3	4				
必修	1科目	4単位		科目A		4	通年		1							〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
選択				科目B		4	通年		1	2	3	4	◎予		休	
				科目C		4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				科目D		4	通年		1	2	3	4	◎先			
				科目E		2	半期		1	2	3	4	◎抽			

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、指定された単位数を修得してください。
(※1) 分野	教養教育科目のみ表示があります。 4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
(※2) 系列	経営学科（フレA・B含む）の専門教育科目のみ表示があります。 学習効果を高めるため、専門教育科目を系統的に履修するための系列を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期（半期・通年）を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
(※3) 開講時限	経営学科フレA・Bの教養教育科目と専門教育科目に表示があります。 ・経営学科フレックスA生の開設科目一覧に表示される「☆」は、フレックスB時間帯（月～金6・7時限、土曜3～7時限）でも履修可能（卒業までの履修制限単位数は教養教育科目12単位、専門教育科目は60単位）な科目です。 ・経営学科フレックスB生の開設科目一覧に表示される「☆」は、フレックスA時間帯（月～金1～5時限、土曜1～4時限、特1）でも履修可能（卒業までの履修制限単位数は教養教育科目20単位、専門教育科目は60単位）な科目です。
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目      「◎先」：受講先行予約科目      「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載有無を表します。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。

注意事項	<p>履修時に必要な注意事項を表します。</p> <p>「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。</p> <p>「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。</p> <p>「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。</p> <p>「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。</p> <p>「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。</p>
------	---

# 全学共通科目

## 宗教教育科目

### 1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置されており、必修科目として単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。

### 2. 開設科目一覧

#### 経営学科フレックスB

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							〈再クラス〉

# 教養教育科目

## 1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目の選択科目として設置されており、人文分野、社会分野および自然分野に分かれています。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④経営学科フレックスB生は、フレックスA時間帯（月～金曜日1～5時限、土曜日1～4時限、特1）に開講されている経営学科フレックスAの教養教育科目を卒業までに20単位まで修得できます。ただし、『開設科目一覧』で開講時限に「☆」印が付いているものに限ります。
- ⑤フレックスA時間帯に開講されている科目が抽選登録科目である場合、抽選登録期間内に抽選登録を行う必要があります（『第1章 履修・授業・試験・成績について I 履修・授業』ページを参照）。これらは当選しなければ履修することができません。

## 2. 開設科目一覧

### 経営学科フレックスB

必 選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年度休 講	注意事項
	科目 数	単 位 数						1	2	3	4				
選 択			人 文 分 野	宗教学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。
				世界の宗教	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。
				人間観A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				人間観B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				価値観	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				制度とモラル	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				現代と倫理	4		通年	1	2	3	4	◎予	有		
				東洋倫理	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				科学方法論と現代論理	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				知の技法	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				西洋思想の源流	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				近代の人間観と世界観	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				歴史学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予			
		文学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予					

経営学科フレックスB

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本学 度休 講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選 択			社会 分野	政治学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予			
				法学・憲法	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予			
				民族と文化A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				民族と文化B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				日本の文化と社会	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				アジアの社会と文化	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				文化人類学概論	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				統計学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		・「統計学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
				統計学A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学A・B」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
				統計学B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				社会学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有		・「社会学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。
				社会学A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学A・B」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。
				社会学B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				社会科学論A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			社会科学論B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			現代社会と宗教A	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。	
			現代社会と宗教B	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。	
			応用倫理学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代文明と哲学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			自然 分野			心理学	4	☆	通年	1	2	3	4	◎予	有

## 経営学科フレックスB

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講 時限	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選択			自然 分野	心理学Ⅰ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学Ⅰ・Ⅱ」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。	
				心理学Ⅱ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				数学Ⅳ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				自然環境論	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				地球科学Ⅰ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				地球科学Ⅱ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				生物学Ⅰ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				生物学Ⅱ	2	☆	半期	1	2	3	4	◎予	有		

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25 (2013) 年度以前	日本の文化と社会	文化人類学	平成25 (2013) 年度以前
現代社会と宗教A			アジアの社会と文化		
現代社会と宗教B			文化人類学概論		
人間観A	倫理学		統計学A	統計学	
人間観B			統計学B		
価値観			社会学A	社会学	
制度とモラル			社会学B		
現代と倫理	論理学		社会科学論A	社会科学論	
東洋倫理			社会科学論B		
応用倫理学			心理学Ⅰ	心理学	
科学方法論と現代論理	心理学Ⅱ				
知の技法	哲学		数学Ⅳ	情報数学	
西洋思想の源流			自然環境論 (2単位)	自然環境論 (4単位)	
近代の人間観と世界観			地球科学Ⅰ	地球科学	
現代文明と哲学	地球科学Ⅱ				
民族と文化A	文化人類学		生物学Ⅰ	生物学	
民族と文化B			生物学Ⅱ		

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
哲学	平成26（2014）年度以降
倫理学	
論理学	
社会科学論	
文化人類学	
生物学	
地球科学	
自然環境論（4単位）	
情報数学	
教育の思想	平成20（2008）年度以降
教育と社会	
発達と学習の心理学	
カリキュラムと学習	

# 外国語科目

## 1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され選択必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。

## 2. 開設科目一覧

### 経営学科フレックスB

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項				
	科目数	単位数				1	2	3	4								
選 修 必 修	4 科 目	4 単 位	英語 I A a	1	半期	1					有		〈学生番号指定〉 〈再クラス〉				
			英語 I A b	1	半期	1					有						
			英語 I B a	1	半期	1					有						
			英語 I B b	1	半期	1					有						
			ドイツ語 I A a	1	半期	1					有						
			ドイツ語 I A b	1	半期	1					有						
			ドイツ語 I B a	1	半期	1					有						
			ドイツ語 I B b	1	半期	1					有						
			フランス語 I A a	1	半期	1					有						
			フランス語 I A b	1	半期	1					有						
			フランス語 I B a	1	半期	1					有						
			フランス語 I B b	1	半期	1					有						
			中国語 I A a	1	半期	1					有						
			中国語 I A b	1	半期	1					有						
			中国語 I B a	1	半期	1					有						
			中国語 I B b	1	半期	1					有						
			スペイン語 I A a	1	半期	1					有						
			スペイン語 I A b	1	半期	1					有						
			スペイン語 I B a	1	半期	1					有						
			スペイン語 I B b	1	半期	1					有						
			ロシア語 I A a	1	半期	1					有						
			ロシア語 I A b	1	半期	1					有						
			ロシア語 I B a	1	半期	1					有						
			ロシア語 I B b	1	半期	1					有						
				4 科 目	4 単 位	英語 II A a	1	半期		2					有		〈再クラス〉
			英語 II A b			1	半期		2			有					
			英語 II B a			1	半期		2			有					
			英語 II B b			1	半期		2			有					
ドイツ語 II A a	1	半期				2			◎抽	有							
ドイツ語 II A b	1	半期				2			◎抽	有							
ドイツ語 II B a	1	半期				2			◎抽	有							
ドイツ語 II B b	1	半期				2			◎抽	有							

## 経営学科フレックスB

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数										
選 択 必 修	4 科 目	4 単 位	フランス語ⅡA a	1	半期	2			○抽	有		〈再クラス〉
			フランス語ⅡA b	1	半期	2			○抽	有		
			フランス語ⅡB a	1	半期	2			○抽	有		
			フランス語ⅡB b	1	半期	2			○抽	有		
			中国語ⅡA a	1	半期	2			○抽	有		
			中国語ⅡA b	1	半期	2			○抽	有		
			中国語ⅡB a	1	半期	2			○抽	有		
			中国語ⅡB b	1	半期	2			○抽	有		
			スペイン語ⅡA a	1	半期	2			○抽	有		
			スペイン語ⅡA b	1	半期	2			○抽	有		
			スペイン語ⅡB a	1	半期	2			○抽	有		
			スペイン語ⅡB b	1	半期	2			○抽	有		
			ロシア語ⅡA a	1	半期	2				有		
			ロシア語ⅡA b	1	半期	2				有		
			ロシア語ⅡB a	1	半期	2				有		
			ロシア語ⅡB b	1	半期	2				有		

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
英語ⅠA a	英語ⅠA	平成25(2013)年度 以前	英語ⅡA a	英語ⅡA	平成25(2013)年度 以前
英語ⅠA b			英語ⅡA b		
英語ⅠB a	英語ⅠB		英語ⅡB a	英語ⅡB	
英語ⅠB b			英語ⅡB b		
ドイツ語ⅠA a	ドイツ語ⅠA		ドイツ語ⅡA a	ドイツ語ⅡA	
ドイツ語ⅠA b			ドイツ語ⅡA b		
ドイツ語ⅠB a	ドイツ語ⅠB		ドイツ語ⅡB a	ドイツ語ⅡB	
ドイツ語ⅠB b			ドイツ語ⅡB b		
フランス語ⅠA a	フランス語ⅠA		フランス語ⅡA a	フランス語ⅡA	
フランス語ⅠA b			フランス語ⅡA b		
フランス語ⅠB a	フランス語ⅠB		フランス語ⅡB a	フランス語ⅡB	
フランス語ⅠB b			フランス語ⅡB b		
中国語ⅠA a	中国語ⅠA		中国語ⅡA a	中国語ⅡA	
中国語ⅠA b			中国語ⅡA b		
中国語ⅠB a	中国語ⅠB		中国語ⅡB a	中国語ⅡB	
中国語ⅠB b			中国語ⅡB b		
スペイン語ⅠA a	スペイン語ⅠA	スペイン語ⅡA a	スペイン語ⅡA		
スペイン語ⅠA b		スペイン語ⅡA b			
スペイン語ⅠB a	スペイン語ⅠB	スペイン語ⅡB a	スペイン語ⅡB		
スペイン語ⅠB b		スペイン語ⅡB b			
ロシア語ⅠA a	ロシア語ⅠA	ロシア語ⅡA a	ロシア語ⅡA		
ロシア語ⅠA b		ロシア語ⅡA b			
ロシア語ⅠB a	ロシア語ⅠB	ロシア語ⅡB a	ロシア語ⅡB		
ロシア語ⅠB b		ロシア語ⅡB b			

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
英語ⅠA	平成26（2014）年度以降	ドイツ語ⅡA	平成26（2014）年度以降
英語ⅠB		ドイツ語ⅡB	
ドイツ語ⅠA		フランス語ⅡA	
ドイツ語ⅠB		フランス語ⅡB	
フランス語ⅠA		中国語ⅡA	
フランス語ⅠB		中国語ⅡB	
中国語ⅠA		スペイン語ⅡA	
中国語ⅠB		スペイン語ⅡB	
スペイン語ⅠA		ロシア語ⅡA	
スペイン語ⅠB		ロシア語ⅡB	
ロシア語ⅠA		英会話Ⅰ	
ロシア語ⅠB		英会話Ⅱ	
英語ⅡA		英語LLⅠ	
英語ⅡB		英語LLⅡ	

## 保健体育科目

### 1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目（実技）と選択科目（実技・講義）に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②選択科目として修得した単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ③見学について
- ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
  - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ④服装について
- ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑤事故・負傷・貴重品の管理について
- ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
  - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑥「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
  - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
  - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
  - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
  - ・オリエンテーション日程  
1回目：4月 5日（土）12：10～12：40 1-304教場  
2回目：4月12日（土）12：10～12：40 1-304教場
  - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
  - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

## 2. 開設科目一覧

### 経営学科フレックスB

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
必修	1科目	2単位	実技 健康・スポーツ実習	2	通年	1							・4月初回の授業で種目を決定します。服装は普段着で結構ですが、必ず出席してください。 《種目》 室内球技 〈再クラス〉
選択	講義実技		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4				・「1. 履修上の注意」を参照してください。
			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4				
			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4				
			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4				
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4				
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4				
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4				
			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義			健康・スポーツ論	2	半期	1	2	3	4	◎予		

## 3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ演習（シーズン前期・基礎）	平成18（2006）年度以降	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	平成22（2010）年度以降
生涯スポーツ演習（シーズン前期・応用）		生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	
生涯スポーツ演習（シーズン後期・基礎）		生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	
生涯スポーツ演習（シーズン後期・応用）		生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	

# 専門教育科目

## 1. 履修上の注意

### ・経営学科フレックスB

- ①専門教育科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ③経営学科フレックスB生は、フレックスA時間帯（月～金曜1～5時限、土曜1～4時限）に開講されている経営学科フレックスA専門教育科目の選択科目を卒業までに60単位を限度として修得できます。ただし、《開設科目一覧》で開講時限に「☆」印がついているものに限りです。また、フレックスB時間帯に休講であっても、フレックスA時間帯に開講されている科目は、フレックスA時間帯で履修することができます。
- ④フレックスA時間帯に開講されている科目が抽選登録科目である場合、抽選登録期間内に抽選登録を行う必要があります（「第1章 履修・授業・試験・成績について I 履修・授業」ページを参照）。これらは当選しなければ履修することができません。

経営学部において開設されている専門教育科目をどのように履修するかは皆さんの任意ですが、学修効果を高めるためには系統的に履修することが望まれます。履修計画をたてる際、「《開設科目一覧》・系列」を参考にしてください。

## 2. 開設科目一覧

### 経営学科フレックスB

必・選	卒業必要単位数	科目名	系列	単位	開講期	開講時限	配当年次				履修不可科目	本年度休講	注意事項
必修	8単位	経営学	経営学	4	通年		1					休	
		簿記学	会計学	4	通年		1					休	
選択	80単位以上	経済学概説	経済学	4	通年		1	2	3	4		休	
		会計学	会計学	4	通年		1	2	3	4		休	
		経営数学A	経営科学	2	半期	☆	1	2	3	4	有	休	
		経営数学B		2	半期	☆	1	2	3	4	有	休	・「B」は同一科目「A」の単位を修得済みまたは同時に履修することが望ましい。
		情報処理基礎A		2	半期		1	2	3	4	有	休	《受講制限》
		情報処理基礎B	2	半期		1	2	3	4	有	休	《受講制限》 ・「B」は同一科目「A」の単位を修得済みまたは同時に履修することが望ましい。	
		演習 I	演習	4	通年				3			休	《受講制限》
		経営学史	経営学	4	通年	☆		2	3	4		休	
		アメリカ経営学		4	通年	☆		2	3	4		休	
		ドイツ経営学		4	通年	☆		2	3	4		休	
		経営管理論		4	通年	☆		2	3	4		休	
		経営組織論		4	通年	☆		2	3	4		休	
		経営労務論		4	通年	☆		2	3	4		休	
経営心理学	4	通年		☆		2	3	4		休			
生産管理論	4	通年		☆		2	3	4		休			
マーケティング論	4	通年		☆		2	3	4		休			

経営学科フレックスB

必・選	卒業 必要 単位数	科目名	系列	単位	開講期	開講 時限	配当年次			履修 不可 科目	本 年 度 休 講	注意事項	
							2	3	4				
選 択	80 単 位 以 上	経営財務論	経営学	4	通年	☆	2	3	4		休		
		国際経営論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		経営戦略論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		現代企業論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		ベンチャー企業論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		公益企業論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		環境経営論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		経営史		4	通年	☆	2	3	4		休		
		日本経営史		4	通年	☆	2	3	4		休		
		商業史		4	通年	☆	2	3	4		休		
		保険経営論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		銀行経営論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		商業経営論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		上級簿記		会計学	4	通年	☆	2	3	4		休	
		財務会計論			4	通年	☆	2	3	4		休	
		管理会計論	4		通年	☆	2	3	4		休		
		会計監査論	4		通年	☆	2	3	4		休		
		原価計算論	4		通年	☆	2	3	4		休		
		税務会計論	4		通年	☆	2	3	4		休		
		経営分析論	4		通年	☆	2	3	4		休		
		国際会計論	4		通年	☆	2	3	4		休		
		経済原論	経済学		4	通年		2	3	4		休	
		近代経済学			4	通年		2	3	4		休	
		経済政策		4	通年	☆	2	3	4		休		
		財政学		4	通年	☆	2	3	4		休		
		金融論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		日本経済論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		国際経済論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		証券市場論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		計量経済学		4	通年	☆	2	3	4		休		
		イノベーション論		4	通年	☆	2	3	4		休		
		ファイナンス理論		4	通年	☆	2	3	4		休		
日本経済史	4	通年		☆	2	3	4		休				
経営科学概論	経営科学	4	通年		2	3	4		休				
マネジメント・サイエンスA		2	半期	☆	2	3	4	有	休				
マネジメント・サイエンスB		2	半期	☆	2	3	4	有	休	・「B」は同一科目「A」の単 位を修得済みまたは同時に履修 することが望ましい。			
情報処理応用A		2	半期		2	3	4	有	休				
情報処理応用B		2	半期		2	3	4	有	休	・「B」は同一科目「A」の単 位を修得済みまたは同時に履修 することが望ましい。			
情報セキュリティA		2	半期	☆	2	3	4	有	休				
情報セキュリティB		2	半期	☆	2	3	4	有	休	・「B」は同一科目「A」の単 位を修得済みまたは同時に履修 することが望ましい。			
経営情報システムA		2	半期	☆	2	3	4	有	休				

## 経営学科フレックスB

必・選	卒業 必要 単位数	科目名	系列	単位	開講期	開講 時限	配当年次			履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
							2	3	4			
選 択	80 単 位 以 上	経営情報システムB	経営科学	2	半期	☆	2	3	4	有	休	・「B」は同一科目「A」の単 位を修得済みまたは同時に履修 することが望ましい。
		経営統計A		2	半期	☆	2	3	4	有	休	
		経営統計B		2	半期	☆	2	3	4	有	休	・「B」は同一科目「A」の単 位を修得済みまたは同時に履修 することが望ましい。
		ゲーム理論A		2	半期	☆	2	3	4			フレックスA時間帯のみ開講。
		ゲーム理論B		2	半期	☆	2	3	4			
		e-ビジネス		4	通年	☆		3	4		休	
		グローバル・マーケティング論		4	通年	☆		3	4			
		消費者行動論		4	通年	☆		3	4			
		製品開発論		4	通年	☆		3	4			
		マーケティング・コミュニケーション論		4	通年	☆		3	4			
		マーケティング・サイエンスA		2	半期	☆		3	4			
		マーケティング・サイエンスB		2	半期	☆		3	4			
		マーケティング・リサーチA		2	半期	☆		3	4			
		マーケティング・リサーチB		2	半期	☆		3	4			
		マーケティング史	4	通年	☆		3	4				
		リスクマネジメント論	4	通年	☆		3	4		休		
		民法	法学	4	通年		2	3	4		休	
		商法		4	通年		2	3	4		休	
		労働法		4	通年	☆	2	3	4			
		税法		4	通年	☆	2	3	4		休	
		演習Ⅱ	演習	4	通年				4		休	≪受講制限≫
		外書講読（英書）	その他	4	通年			3	4		休	
		ビジネス英語		4	通年	☆		3	4		休	
		特殊講義Ⅰ		2	半期	☆	2	3	4	有		
		特殊講義Ⅱ		2	半期	☆		3	4	有		
		特殊講義Ⅲ		2	半期		2	3	4			
特殊講義Ⅳ	2	半期			2	3	4					

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
経営数学A	経営数学（4単位）	平成19（2007） 年度以前	経営統計A	経営統計	平成19（2007） 年度以前
経営数学B			経営統計B		
情報セキュリティA	情報理論		特殊講義Ⅰ	特殊講義（前期）	
情報セキュリティB			特殊講義Ⅱ	特殊講義（後期）	
マネジメント・サイエンスA	経営科学		情報処理応用A	情報処理応用Ⅱ	
マネジメント・サイエンスB			情報処理応用B	情報処理応用Ⅲ	
経営情報システムA	経営情報論		情報処理基礎A	情報処理基礎（2単位）	
経営情報システムB			情報処理基礎B	情報処理応用Ⅰ（2単位）	

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
外書講読（独書）	平成26（2014）年度以降	情報会計論	平成20（2008）年度以降
外書講読（仏書）		経営数学（4単位）	
外書講読（中国書）		情報理論	
外書講読（スペイン書）		経営科学	
外書講読（ロシア書）		経営情報論	
統計原論		経営統計	
システム論		特殊講義（前期）	
流通システム論		特殊講義（後期）	
マーケティング・チャネル論		情報処理応用Ⅱ	
	情報処理応用Ⅲ		
	情報処理基礎（2単位）		
	情報処理応用Ⅰ（2単位）		
	企業形態論	平成19（2007）年度以降	

# 市場戦略学科（平成20〈2008〉年度以降入学生）

## 開設科目一覧の見方

### 開設科目一覧のサンプル

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				(※1)分野	1	2	3				
必修	1科目	4単位	科目 A	4	通年	1							(玉川キャンパス) (再クラス)
選択			科目 B	4	通年	1	2	3	4	◎予		休	
			科目 C	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
			科目 D	4	通年	1	2	3	4	◎先			
			科目 E	2	半期	1	2	3	4	◎抽			

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、指定された単位数を修得してください。
(※1) 分野	教養教育科目のみ表示があります。 4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期（半期・通年）を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目 「◎先」：受講先行予約科目 「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載有無を表します。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。
注意事項	履修時に必要な注意事項を表します。 「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。 「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。 「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。 「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。 「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。

## 全学共通科目

### 宗教教育科目

#### 1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

#### 2. 開設科目一覧

##### 市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							〈学生番号指定〉 〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
選択			文化と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			社会と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			自然と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎先			

# 教養教育科目

## 1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、選択科目として開講しています。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野およびライフデザイン分野に分かれています。平成25（2013）年度以前は、人文分野、社会分野、自然分野および総合分野に分かれていました。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。但し総合分野の単位数は、ライフデザイン分野の単位として認定されます。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④平成26（2014）年度以降入学生が定められた単位を超えて修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。平成25年（2013）年度以前入学生が選択科目として修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ⑤フレックスB時間帯（月～金曜日6・7時限、土曜日3～7時限）に開講されている教養教育科目を履修することができます。

## 2. 開設科目一覧

市場戦略学科 ※平成26（2014）年度以降入学生は12単位が必要です。

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択	※		人文分野	宗教学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。
				世界の宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。
				人間観A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				人間観B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				価値観	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				制度とモラル	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				現代と倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				東洋倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				科学と技術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				近代科学の成立と展開	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				科学方法論と現代論理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				知の技法	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				西洋思想の源流	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				近代の人間観と世界観	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				日本美術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				西洋芸術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
				音楽	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		
歴史学	4	通年	1	2	3	4	◎予							

市場戦略学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数					1	2	3	4					
選択	※	人文分野	文学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			日本語テーマ研究Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本語テーマ研究Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本語文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予					
			日本文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予					
			実務表現Ⅰ（話すこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本語文化探求Ⅰ	2	半期		2	3	4	◎予	有				
			日本語文化探求Ⅱ	2	半期		2	3	4	◎予	有				
			日本文化探求ⅠA	2	半期		2	3	4	◎予	有				
			日本文化探求ⅡA	2	半期		2	3	4	◎予	有				
			日本文化探求ⅠB	2	半期		2	3	4	◎予	有				
			日本文化探求ⅡB	2	半期		2	3	4	◎予	有				
			日本語文化理会Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本語文化理会Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本文化理解ⅠA	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本文化理解ⅡA	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本文化理解ⅠB	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		日本文化理解ⅡB	2	半期	1	2	3	4	◎予	有					
		人文地理学	4	通年	1	2	3	4	◎予						
		教育心理	4	通年	1	2	3	4	◎予						
		社会分野	経済学	4	通年	1	2	3	4	◎予					・「経済学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「経済学」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
			経済学A	2	半期	1	2	3	4	◎予					・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学A・B」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
			経済学B	2	半期	1	2	3	4	◎予					
			政治学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			法学・憲法	4	通年 集中	1	2	3	4	◎予					・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、『シラバス』掲載の日程を確認し、履修してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。
			民族と文化A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			民族と文化B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有				
			日本の文化と社会	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				
			アジアの社会と文化	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				
			文化人類学概論	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				
		統計学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				・「統計学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。	

市場戦略学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選	※	社会分野	統計学A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学A・B」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。		
			統計学B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。		
			社会学A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学A・B」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。		
			社会学B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			教育学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			社会科学論A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			社会科学論B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			現代社会と宗教A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25(2013)年度以前に入学し、平成25(2013)年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
			現代社会と宗教B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25(2013)年度以前に入学し、平成25(2013)年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
		応用倫理学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				
		現代文明と哲学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				
		自然分野	心理学	4	通年 集中	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学Ⅰ・Ⅱ」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「心理学」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。 ・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については「シラバス」掲載日程を確認の上、履修登録してください。「授業時間表」では「集中」と表示されます。		
			心理学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学Ⅰ・Ⅱ」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。		
			心理学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人類学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人類学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			宇宙科学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			宇宙科学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			化学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
化学Ⅱ	2		半期	1	2	3	4	◎予	有					
物理学Ⅰ	2		半期	1	2	3	4	◎予	有					
物理学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						

## 市場戦略学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択	※	自然分野	数学Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			数学Ⅳ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			自然誌Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			自然誌Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			自然環境論	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			地球科学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			地球科学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			生物学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			生物学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	○予	有			
			自然観察実習	2	半期	1	2	3	4	○予				
		ライフデザイン分野	2	半期	1								〈学生番号指定〉	
			2	半期		2				○予			・「Ⅱ」と同時履修すること。	
			2	半期		2				○予			・「Ⅱ」は「Ⅰ」と同時に履修すること。または、2年次で「Ⅰ」の単位を修得済であること。	
			2	半期	1	2	3	4	○予					

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25 (2013) 年度以前	日本語文化探求Ⅰ	日本語文化研究Ⅱ	平成25 (2013) 年度以前
現代社会と宗教A			日本語文化探求Ⅱ		
現代社会と宗教B			日本文化探求ⅠA	日本文化研究ⅡA	
人間観A	日本文化探求ⅡA		日本文化研究ⅡB		
人間観B	日本文化探求ⅠB				
価値観	日本文化探求ⅡB		日本語文化研究会Ⅰ	日本語文化研究Ⅰ	
制度とモラル	倫理学		日本語文化研究会Ⅱ	日本文化研究ⅠA	
現代と倫理			日本文化理解ⅠA		
東洋倫理			日本文化理解ⅡA	日本文化研究ⅠB	
応用倫理学			日本文化理解ⅠB		
科学と技術	科学史		日本文化理解ⅡB	文化人類学	
近代科学の成立と展開	論理学		民族と文化A		
科学方法論と現代論理			民族と文化B		
知の技法	哲学		日本の文化と社会	文化人類学	
西洋思想の源流			アジアの社会と文化		
近代の人間観と世界観			文化人類学概論	統計学	
現代文明と哲学	統計学A	社会学			
日本美術	芸術学		統計学B	社会学	
西洋芸術		社会学A			
音楽	日本文化テーマ研究A	社会学B	社会科学論		
日本語テーマ研究Ⅰ		社会科学論A			
日本語テーマ研究Ⅱ	日本文化テーマ研究B	社会科学論B	心理学		
実務表現Ⅰ（話すこと）	実務表現	心理学Ⅰ			
実務表現Ⅱ（書くこと）		心理学Ⅱ			

現行科目名	旧科目名	修得年度
人類学Ⅰ	人類学	平成25 (2013) 年度以前
人類学Ⅱ		
宇宙科学Ⅰ	宇宙科学	
宇宙科学Ⅱ		
化学Ⅰ	化学	
化学Ⅱ		
物理学Ⅰ	物理学	
物理学Ⅱ		
数学Ⅰ	数学	
数学Ⅱ		
数学Ⅲ		

現行科目名	旧科目名	修得年度
数学Ⅳ	情報数学	平成25 (2013) 年度以前
自然誌Ⅰ	自然誌	
自然誌Ⅱ		
自然環境論 (2単位)	自然環境論 (4単位)	
地球科学Ⅰ	地球科学	
地球科学Ⅱ		
生物学Ⅰ	生物学	
生物学Ⅱ		

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
フレッシュマンセミナー	平成26 (2014) 年度以降
哲学	
倫理学	
論理学	
科学史	
芸術学	
日本文化テーマ研究A	
日本文化テーマ研究B	
日本文化テーマ研究C	
日本文化テーマ研究D	
日本文化テーマ研究E	
日本文化テーマ研究F	
日本文化テーマ研究G	
日本文化テーマ研究H	
実務表現	
日本文化研究ⅠA	
日本文化研究ⅠB	

廃講科目名	廃講年度
日本語文化研究Ⅰ	平成26 (2014) 年度以降
日本文化研究ⅡA	
日本文化研究ⅡB	
日本語文化研究Ⅱ	
社会科学論	
文化人類学	
数学	
物理学	
化学	
生物学	
人類学	
地球科学	
宇宙科学	
自然誌	
自然環境論 (4単位)	
情報数学	

# 外国語科目

## 1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②学生番号が指定されている場合は、指定された曜日、時限、担当教員の科目を履修してください。学生番号の指定については、『授業時間表』に掲載されています。
- ③同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ⑤習熟度別クラス編成について  
2014（平成26）年度入学生より、英語を選択必修として履修する入学者は、全員「英語科目クラス分けテスト」を受験し、そのテストの成績により履修レベルを初級・中級・上級のいずれかに決定しています（原則的に履修レベルは2年次においても継続されます）。  
なお、初級と上級の授業は駒沢キャンパスで行います。玉川キャンパスで開講されている「英語 I B a・I B b」は、中級のみ受講できます。
- ⑥英語選択科目について  
英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。  
外国語科目について：[http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo\\_risyu](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu)

## 2. 開設科目一覧

### 市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次	抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数										
選択必修	入学手続時に指定した1カ国語のIAa・IAb、IBa、IBb	4科目	4単位	英語 I A a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
				英語 I A b	1	半期	1				有	
				英語 I B a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈玉川キャンパス〉 〈再クラス〉
				英語 I B b	1	半期	1				有	
				ドイツ語 I A a	1	半期	1				有	〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
				ドイツ語 I A b	1	半期	1				有	
				ドイツ語 I B a	1	半期	1				有	
				ドイツ語 I B b	1	半期	1				有	
				フランス語 I A a	1	半期	1				有	
				フランス語 I A b	1	半期	1				有	
				フランス語 I B a	1	半期	1				有	
				フランス語 I B b	1	半期	1				有	

市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
選択必修	入学手続時に指定した1カ国語のⅠA a・ⅠA b、ⅠB a、ⅠB b	4科目 4単位	中国語ⅠA a	1	半期	1					有		〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
			中国語ⅠA b	1	半期	1					有		
			中国語ⅠB a	1	半期	1					有		
			中国語ⅠB b	1	半期	1					有		
			スペイン語ⅠA a	1	半期	1					有		
			スペイン語ⅠA b	1	半期	1					有		
			スペイン語ⅠB a	1	半期	1					有		
			スペイン語ⅠB b	1	半期	1					有		
			ロシア語ⅠA a	1	半期	1					有		
			ロシア語ⅠA b	1	半期	1					有		
			ロシア語ⅠB a	1	半期	1					有		
			ロシア語ⅠB b	1	半期	1					有		
	入学手続時に指定した1カ国語のⅡA a・ⅡA b、ⅡB a、ⅡB b	4科目 4単位	英語ⅡA a	1	半期		2				有		〈学生番号指定〉 〈再クラス〉
			英語ⅡA b	1	半期		2				有		
			英語ⅡB a	1	半期		2				有		
			英語ⅡB b	1	半期		2				有		
			ドイツ語ⅡA a	1	半期	2				○抽	有		〈再クラス〉
			ドイツ語ⅡA b	1	半期	2				○抽	有		
			ドイツ語ⅡB a	1	半期	2				○抽	有		
			ドイツ語ⅡB b	1	半期	2				○抽	有		
			フランス語ⅡA a	1	半期	2				○抽	有		
			フランス語ⅡA b	1	半期	2				○抽	有		
			フランス語ⅡB a	1	半期	2				○抽	有		
			フランス語ⅡB b	1	半期	2				○抽	有		
中国語ⅡA a	1	半期	2				○抽	有					
中国語ⅡA b	1	半期	2				○抽	有					
中国語ⅡB a	1	半期	2				○抽	有					
中国語ⅡB b	1	半期	2				○抽	有					
スペイン語ⅡA a	1	半期	2				○抽	有					
スペイン語ⅡA b	1	半期	2				○抽	有					
スペイン語ⅡB a	1	半期	2				○抽	有					
スペイン語ⅡB b	1	半期	2				○抽	有					
ロシア語ⅡA a	1	半期	2					有					
ロシア語ⅡA b	1	半期	2					有					
ロシア語ⅡB a	1	半期	2					有					
ロシア語ⅡB b	1	半期	2					有					
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅰa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅰb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			ビジネス英語Ⅰ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅠa	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅠb	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅱa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅱb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	○予			

市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選 択			ビジネス英語Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅡ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅡ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅠ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅠ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅰ a (読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅰ b (聴解・会話)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅲ a (聴解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅲ b (文法・読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			総合英語資格試験 a (読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			総合英語資格試験 b (聴解・二次)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅡ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅡ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅱ a (読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅱ b (聴解・会話)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅡ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語多読・多聴 a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語多読・多聴 b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4	○予			
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅰ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅱ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅲ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅳ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅴ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅵ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅶ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅷ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅰ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅱ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅲ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅳ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅴ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅵ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅰ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅱ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅲ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅳ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅴ)	2	半期	1	2	3	4	○予				
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅵ)	2	半期	1	2	3	4	○予				
		ドイツ語Ⅰ A a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			
		ドイツ語Ⅰ A b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			
		ドイツ語Ⅰ B a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			

市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選			ドイツ語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			ドイツ語 II a (選)	1	半期		2	3	4	○予	有	・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
			ドイツ語 II b (選)	1	半期		2	3	4	○予	有		
			ドイツ語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			ドイツ語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			ドイツ語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			ドイツ語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			現代を読むドイツ語 a	2	半期			3	4	○予	有		
			現代を読むドイツ語 b	2	半期			3	4	○予	有		
			ドイツ語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			ドイツ語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			フランス語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			フランス語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			フランス語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			フランス語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			フランス語 II a (選)	1	半期		2	3	4	○予	有	・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
			フランス語 II b (選)	1	半期		2	3	4	○予	有		
			フランス語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			フランス語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			フランス語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			フランス語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			現代を読むフランス語 a	2	半期			3	4	○予	有		
			現代を読むフランス語 b	2	半期			3	4	○予	有		
			フランス語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			フランス語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			中国語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			中国語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			中国語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			中国語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有		
			中国語 II a (選)	1	半期		2	3	4	○予	有	・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
			中国語 II b (選)	1	半期		2	3	4	○予	有		
			中国語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			中国語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			中国語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			中国語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	○予	有		
			現代を読む中国語 a	2	半期			3	4	○予	有		
			現代を読む中国語 b	2	半期			3	4	○予	有		
			中国語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	○予	有		
			中国語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	○予	有		

市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選択			スペイン語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			スペイン語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			ロシア語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			現代を読むロシア語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むロシア語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			ロシア語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			朝鮮語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			朝鮮語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
		朝鮮語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 II a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下の科目の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
		朝鮮語 II b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
英語 I A a	英語 I A	平成25 (2013) 年度以前	ロシア語 II A a	ロシア語 II A	平成25 (2013) 年度以前
英語 I A b			ロシア語 II A b		
英語 I B a	英語 I B		ロシア語 II B a	ロシア語 II B	
英語 I B b			ロシア語 II B b		
ドイツ語 I A a	ドイツ語 I A		ドイツ語 I A a (選)	ドイツ語 I A (選)	
ドイツ語 I A b			ドイツ語 I A b (選)		
ドイツ語 I B a	ドイツ語 I B		ドイツ語 I B a (選)	ドイツ語 I B (選)	
ドイツ語 I B b			ドイツ語 I B b (選)		
フランス語 I A a	フランス語 I A		ドイツ語 II a (選)	ドイツ語 II (選)	
フランス語 I A b			ドイツ語 II b (選)		
フランス語 I B a	フランス語 I B		ドイツ語コミュニケーション A a	ドイツ語コミュニケーション I	
フランス語 I B b			ドイツ語コミュニケーション A b		
中国語 I A a	中国語 I A		ドイツ語コミュニケーション B a	ドイツ語コミュニケーション II	
中国語 I A b			ドイツ語コミュニケーション B b		
中国語 I B a	中国語 I B		現代を読むドイツ語 a	現代を読むドイツ語	
中国語 I B b			現代を読むドイツ語 b		
スペイン語 I A a	スペイン語 I A		ドイツ語スキルアップ a	ドイツ語スキルアップ	
スペイン語 I A b			ドイツ語スキルアップ b		
スペイン語 I B a	スペイン語 I B		フランス語 I A a (選)	フランス語 I A (選)	
スペイン語 I B b			フランス語 I A b (選)		
ロシア語 I A a	ロシア語 I A		フランス語 I B a (選)	フランス語 I B (選)	
ロシア語 I A b			フランス語 I B b (選)		
ロシア語 I B a	ロシア語 I B		フランス語 II a (選)	フランス語 II (選)	
ロシア語 I B b			フランス語 II b (選)		
英語 II A a	英語 II A		フランス語コミュニケーション A a	フランス語コミュニケーション I	
英語 II A b			フランス語コミュニケーション A b		
英語 II B a	英語 II B		フランス語コミュニケーション B a	フランス語コミュニケーション II	
英語 II B b			フランス語コミュニケーション B b		
ドイツ語 II A a	ドイツ語 II A		現代を読むフランス語 a	現代を読むフランス語	
ドイツ語 II A b			現代を読むフランス語 b		
ドイツ語 II B a	ドイツ語 II B		フランス語スキルアップ a	フランス語スキルアップ	
ドイツ語 II B b			フランス語スキルアップ b		
フランス語 II A a	フランス語 II A		中国語 I A a (選)	中国語 I A (選)	
フランス語 II A b			中国語 I A b (選)		
フランス語 II B a	フランス語 II B		中国語 I B a (選)	中国語 I B (選)	
フランス語 II B b			中国語 I B b (選)		
中国語 II A a	中国語 II A		中国語 II a (選)	中国語 II (選)	
中国語 II A b			中国語 II b (選)		
中国語 II B a	中国語 II B		中国語コミュニケーション A a	中国語コミュニケーション I	
中国語 II B b			中国語コミュニケーション A b		
スペイン語 II A a	スペイン語 II A	中国語コミュニケーション B a	中国語コミュニケーション II		
スペイン語 II A b		中国語コミュニケーション B b			
スペイン語 II B a	スペイン語 II B	現代を読む中国語 a	現代を読む中国語		
スペイン語 II B b		現代を読む中国語 b			

現行科目名	旧科目名	修得年度
中国語スキルアップa	中国語 スキルアップ	平成25 (2013) 年度以前
中国語スキルアップb		
スペイン語 I A a (選)	スペイン語 I A (選)	
スペイン語 I A b (選)		
スペイン語 I B a (選)	スペイン語 I B (選)	
スペイン語 I B b (選)		
スペイン語 II a (選)	スペイン語 II (選)	
スペイン語 II b (選)		
スペイン語コミュニケーションAa	スペイン語コミュ ニケーション I	
スペイン語コミュニケーションAb		
スペイン語コミュニケーションBa	スペイン語コミュ ニケーション II	
スペイン語コミュニケーションBb		
現代を読むスペイン語 a	現代を読む スペイン語	
現代を読むスペイン語 b		
スペイン語スキルアップ a	スペイン語 スキルアップ	
スペイン語スキルアップ b		
ロシア語 I A a (選)	ロシア語 I A (選)	
ロシア語 I A b (選)		

現行科目名	旧科目名	修得年度
ロシア語 I B a (選)	ロシア語 I B (選)	平成25 (2013) 年度以前
ロシア語 I B b (選)		
ロシア語 II a (選)	ロシア語 II (選)	
ロシア語 II b (選)		
ロシア語コミュニケーションAa	ロシア語コミュ ニケーション I	
ロシア語コミュニケーションAb		
ロシア語コミュニケーションBa	ロシア語コミュ ニケーション II	
ロシア語コミュニケーションBb		
現代を読むロシア語 a	現代を読む ロシア語	
現代を読むロシア語 b		
ロシア語スキルアップ a	ロシア語 スキルアップ	
ロシア語スキルアップ b		
朝鮮語 I A a (選)	朝鮮語 I A (選)	
朝鮮語 I A b (選)		
朝鮮語 I B a (選)	朝鮮語 I B (選)	
朝鮮語 I B b (選)		
朝鮮語 II a (選)	朝鮮語 II (選)	
朝鮮語 II b (選)		

#### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
英語 I A	平成26 (2014) 年度以降	朝鮮語 I A (選)	平成26 (2014) 年度以降
英語 I B		朝鮮語 I B (選)	
ドイツ語 I A		英文講読	
ドイツ語 I B		時事英語研究	
フランス語 I A		マルチ・メディア	
フランス語 I B		英会話 II	
中国語 I A		英会話 III	
中国語 I B		英語 L L II	
スペイン語 I A		英語 L L III	
スペイン語 I B		ドイツ語コミュニケーション I	
ロシア語 I A		フランス語コミュニケーション I	
ロシア語 I B		中国語コミュニケーション I	
英語 II A		スペイン語コミュニケーション I	
英語 II B		ロシア語コミュニケーション I	
ドイツ語 II A		ドイツ語コミュニケーション II	
ドイツ語 II B		フランス語コミュニケーション II	
フランス語 II A		中国語コミュニケーション II	
フランス語 II B		スペイン語コミュニケーション II	
中国語 II A		ロシア語コミュニケーション II	
中国語 II B		ドイツ語 II (選)	
スペイン語 II A		フランス語 II (選)	
スペイン語 II B		中国語 II (選)	
ロシア語 II A		スペイン語 II (選)	
ロシア語 II B		ロシア語 II (選)	
英会話 I		朝鮮語 II (選)	
英語 L L I		現代を読むドイツ語	
ドイツ語 I A (選)		現代を読むフランス語	
ドイツ語 I B (選)		現代を読む中国語	
フランス語 I A (選)		現代を読むスペイン語	
フランス語 I B (選)		現代を読むロシア語	
中国語 I A (選)		ドイツ語スキルアップ	
中国語 I B (選)		フランス語スキルアップ	
スペイン語 I A (選)		中国語スキルアップ	
スペイン語 I B (選)		スペイン語スキルアップ	
ロシア語 I A (選)	ロシア語スキルアップ		
ロシア語 I B (選)			

# 保健体育科目

## 1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目として設置され、選択科目（実技・講義）として、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ③玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。
- ・受講する学生の習熟度によって学習の進捗が変更になる場合があります。
  - ・『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ④玉川キャンパスでは、雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、授業が行われる校舎の掲示板等で周知します。
- ⑤見学について
- ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
  - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ⑥服装について
- ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑦事故・負傷・貴重品の管理について
- ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
  - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑧「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
  - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
  - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
  - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
  - ・オリエンテーション日程  
1回目：4月 5日（土）12：10～12：40 1-304教場  
2回目：4月12日（土）12：10～12：40 1-304教場
  - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
  - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13：00～16：10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

## 2. 開設科目一覧

### 市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数				1	2	3	4					
選択	2 単位	↑	実技	健康・スポーツ実習	2	通年	1						<学生番号指定> <玉川キャンパス> <再クラス> <種目・定員> ・前期と後期で異なる種目を受講してください。 ・4月初回の授業で種目を決定しますので、必ず出席してください。服装は普段着で構いません。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。	
			実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	半期	1				◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	1	半期		2			◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	1	半期			3		◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	1	半期				4	◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	半期	1				◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）	1	半期		2			◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	1	半期			3		◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	1	半期				4	◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	半期	1				◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）	1	半期		2			◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	1	半期			3		◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	1	半期				4	◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	1	半期	1				◎予			
			実技	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）	1	半期		2			◎予			
	実技	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	1	半期			3		◎予					
	実技	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	1	半期				4	◎予					
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4			・「1. 履修上の注意」を参照してください。	
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義実技			生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4				
	講義			健康・スポーツ論1	2	半期	1				◎予			<玉川キャンパス>
	講義			健康・スポーツ論2	2	半期	1	2	3	4	◎予			
講義			余暇学	2	半期		2	3	4	◎予				

### 3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	平成25（2013）年度以降	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・基礎）	平成25（2013）年度以降
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・応用）	

### 実技科目の開講種目

「別表1」

・「健康・スポーツ実習」の開講種目

木3（市略）	
種目	体操・トランポリン
	サッカー
	卓球
	テニス
	室内球技
	空手道
	トレーニング

※教職課程登録者で、1年次に単位を修得していない者は以下の履修が可能となりますので、教務部2番窓口で相談してください。本校体育館にて開講します。

	月2・3・4	火3	水4	木3
種目	室内球技（50名）	室内球技（50名）	室内球技（50名）	室内球技（50名）

「別表2」

・「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（前期／後期、基礎／応用）」の開講種目

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限										
2時限	前期基礎	室内球技	前期応用	室内球技	前期基礎	室内球技	前期応用	バレーボール	前期応用	室内球技
	後期基礎	室内球技	後期応用	室内球技	後期基礎	室内球技	後期応用	バレーボール	後期応用	室内球技
3時限	前期応用	室内球技	前期基礎	室内球技	前期基礎	室内球技	前期基礎	バドミントン	前期基礎	室内球技
	後期応用	室内球技	後期基礎	室内球技	後期基礎	室内球技	後期基礎	バドミントン	後期基礎	室内球技
4時限	前期応用	室内球技					前期応用	室内球技		
	後期応用	室内球技					後期応用	室内球技		

# 専門教育科目

## 1. 履修上の注意

### ・市場戦略学科

- ①専門教育科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位数は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④コース制について、市場戦略学科では、専門教育科目の体系的学修のためにコース制を導入し、学修の到達目標に対応した3つのコースを設けています。皆さんの学問的関心や将来の進路希望にあわせてコースを選択し、選択したコースに従った履修計画をたててください。コース制の詳細については市場戦略学科のコース制のページを参照してください。

## 2. 開設科目一覧

### 市場戦略学科

必 ・ 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数										
必修	6科目	20単位	経営学	4	通年	1						・1年次に修得できなかった場合、同名科目を再度履修してください。
			市場戦略概説	4	通年	1						
			会計学	4	通年	1						
			経済学概説	4	通年	1						
			情報処理基礎A	2	半期	1						〈学生番号指定〉 ・1年次に修得できなかった場合、同名科目を再度履修してください。(クラス指定はありません)
			情報処理基礎B	2	半期	1						
選択必修	20単位	↑	現代企業論	4	通年	1			◎予			・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。
			経営組織論	4	通年	2			◎先			
			ベンチャー企業論	4	通年	2			◎予			
			マーケティング論	4	通年	2			◎予			
			流通システム論A (マクロ)	2	半期	2			◎予	有		
			流通システム論B (ミクロ)	2	半期	2			◎予	有		
			簿記学	4	通年	1			◎予			
			財務会計論	4	通年	2			◎予			
			産業組織論	4	通年	2			◎予			
			ゲーム理論A	2	半期	2			◎予			
			ゲーム理論B	2	半期	2			◎予			
			経営情報システムA	2	半期	2			◎予			
			経営情報システムB	2	半期	2			◎予			
			情報セキュリティA	2	半期	2			◎予			
			情報セキュリティB	2	半期	2			◎予			
			経営数学A	2	半期	1			◎予			
			経営数学B	2	半期	1			◎予			
確率・統計入門A	2	半期	1			◎予						

市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数											
選択必修	20	単位	確率・統計入門B	2	半期	1			◎予			・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。	
			経営統計A	2	半期		2		◎予				
			経営統計B	2	半期		2		◎予				
			経営科学概論	4	通年		2			◎予			
			マネジメント・サイエンスA	2	半期		2			◎予			・「B」の履修は同一名称科目の「A」の単位を修得済または同時に履修することが望ましい。
			マネジメント・サイエンスB	2	半期		2			◎予			
			演習Ⅱ	4	通年			3					《受講制限》 ・原則「演習Ⅰ」と同じ指導教員を履修してください。
演習Ⅲ	4	通年				4							
選択	48	単位以上 (20単位を超えた選択必修科目の単位数を含む)	経営戦略論	4	通年		2			◎予			
			生産管理論	4	通年		2			◎予			
			経営財務論	4	通年		2			◎先			
			環境経営論	4	通年		2			◎先			
			商業史	4	通年		2						休
			リスクマネジメント論	4	通年			3	4		◎予		
			保険経営論	4	通年			3	4		◎予		
			銀行経営論	4	通年			3	4		◎予		
			商業経営論	4	通年			3	4		◎予		
			サービス経営論	4	通年			3	4		◎予		
			e-ビジネス	4	通年			3	4				休
			製品開発論	4	通年			3	4		◎予		
			消費者行動論	4	通年			3	4		◎予		
			マーケティング・コミュニケーション論	4	通年			3	4		◎予		
			グローバル・マーケティング論	4	通年			3	4		◎予		
			マーケティング史	4	通年			3	4		◎予		
			上級簿記	4	通年		2				◎予		
			管理会計論	4	通年		2				◎先		
			原価計算論	4	通年		2				◎予		
			計量経済学	4	通年		2				◎予		
			イノベーション論	4	通年		2				◎予		
			ファイナンス理論	4	通年		2				◎予		
			情報処理応用A	2	半期		2				◎予		
情報処理応用B	2	半期		2				◎予					
マーケティング・リサーチA	2	半期			3	4		◎予					
マーケティング・リサーチB	2	半期			3	4		◎予					
マーケティング・サイエンスA	2	半期			3	4		◎予					
マーケティング・サイエンスB	2	半期			3	4		◎予					
サプライチェーン・マネジメントA	2	半期			3	4		◎予					
サプライチェーン・マネジメントB	2	半期			3	4		◎予					
民法Ⅰ（総則・物権法）	4	通年		2				◎予					

## 市場戦略学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数											
選択	48 単位以上 (20 単位を超えた 選択必修科目の 単位数を含む) ↓		商法Ⅰ（総則・会社法）	4	通年	2			◎予				
			労働法	4	通年	2				◎先			
			経済法	4	通年	2				◎予			
			税法	4	通年	2				◎予			
			民法Ⅱ（債権法）	4	通年		3	4		◎予			
			商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）	4	通年		3	4		◎予			
			演習Ⅰ	4	通年	2				◎予			《受講制限》 ・1年次後期に演習説明会が開かれるので、 参加の上、所定の手続きに従って履修して ください。
			外書講読（英書Ⅰ）A	2	半期		3	4		◎予	有		
			外書講読（英書Ⅰ）B	2	半期		3	4		◎予	有		
			外書講読（英書Ⅱ）A	2	半期		3	4		◎予	有		
			外書講読（英書Ⅱ）B	2	半期		3	4		◎予	有		
			特殊講義Ⅰ	2	半期	2	3	4		◎予			
			特殊講義Ⅲ	2	半期	2	3	4		◎予			
	特殊講義Ⅳ	2	半期	2	3	4		◎予					

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度
流通システム論A（マクロ）	流通システム論	平成25（2013）年度以前
流通システム論B（ミクロ）		
外書講読（英書Ⅰ）A	外書講読（英書Ⅰ）	
外書講読（英書Ⅰ）B		
外書講読（英書Ⅱ）A	外書講読（英書Ⅱ）	
外書講読（英書Ⅱ）B		

### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
マーケティング・チャネル論	平成26（2014）年度以降
流通システム論	
外書講読（英書Ⅰ）	
外書講読（英書Ⅱ）	
外書講読（独書）	
外書講読（仏書）	
外書講読（中国書）	
外書講読（スペイン書）	
外書講読（ロシア書）	

## 5. コース制

### ○市場戦略学科のコース制

この履修要項冒頭の市場戦略学科の教育研究上の目的で述べたように、企業がより大きな利益を継続的に得るためには、顧客が欲しいと思える価値のある商品やサービスを開発し、それを市場に投入し続けなければなりません。そのために企業が採るべき戦略が市場戦略でした。市場戦略学科では、このような市場戦略についての理論と応用をバランスよく学ぶことで、将来、企業において新商品や新サービスの開発・提供、新しいビジネスモデルの提案・構築といった仕事で活躍できる人材の育成を目指しています。そして、その目的達成のために専門教育に異なる二つの到達目標を設定し、それに従った専門教育課程の編成を行っています。到達目標の一つめは、市場戦略の企画・実施に携わる人材の育成であり、二つめはそのような市場戦略を担う企業の設立・運営に携わる人材の育成です。

市場戦略学科に学ぶ皆さんがこの到達目標に向かって専門教育科目を系統的に学ぶためのガイドラインとして、コース制が設けられています。一つめの到達目標に対しては、「市場創造コース」と「戦略デザインコース」を設定しています。**市場創造コース**は市場戦略の立案に重点を置いたコースであり、初めにマーケティングと情報・統計の基礎を学び、その上で製品戦略、価格戦略、広告・販促戦略、チャネル戦略といった市場戦略の基本要素をより深く学ぶコースとなっています。**戦略デザインコース**は市場戦略の作成に必要となるさまざまな情報の収集・分析や市場戦略を実行するための仕組み作り重点を置いたコースであり、初めにマーケティングと情報・統計の基礎を学び（ここは市場創造コースと同様）、その上で顧客データの分析方法や各種戦略の分析方法および情報技術についてより深く学ぶコースとなっています。二つめの到達目標に対しては、「現代産業・起業コース」を設定しています。このコースでは、現代の各種産業における起業家・経営者としての能力育成を目指し、起業家・経営者として備えるべき知識と各種産業における経営論についてより深く学ぶコースとなっています。

表1にコースの種類と特徴について、表2にコースの登録と修了認定について、表3にコース別指定科目について示します。また、図1市場戦略学科の専門教育課程の全体像を示します。コースはあくまでも学びのガイドラインですので、さらに自分の能力を高めるために選択したコース以外のコース設定科目を履修することも可能です。例えば、市場創造コースを選択した学生は3・4年次に戦略デザインコースの「消費者行動論」をあわせて履修するとより効果的でしょう。履修計画作成にあたっては、各自の学問的関心や将来の進路希望にあわせてコースを選ぶとともに、コースと専門教育科目の関係を図1で十分把握し、系統的な学修に心がけてください。

表1：コースの種類と特徴

コースの種類	特徴
市場創造コース	価格や販売方法、広告宣伝の仕方を含めた新商品や新サービスの企画立案や供給システム（調達・生産・販売・流通）の運用に携わる人材の育成を目指したコースです。将来、企業において商品企画や販売、広告、流通などの仕事に就きたい人に適したコースです。
戦略デザインコース	新商品や新サービスの企画立案に必要な情報の分析や供給システムの設計・管理に携わる人材の育成を目指したコースです。市場創造コースよりもコンピューターを利用した分析やシステム管理に重きを置いています。将来、企業において市場調査や企画の分析、調達・生産・販売・流通の管理といった仕事に就きたい人に適したコースです。
現代産業・起業コース	現代の各種産業における経営の要点、現代における企業と企業者に関する基礎理論、および起業に関する基礎知識やその実態を幅広く学習することを通じて、現代に相応しい経営者としての能力育成を目指したコースです。起業を目指す人だけでなく、経営者に望まれる幅広い知識を身につけたい人に適したコースです。

表2：コースの登録と修了認定

登録	すべての学生が、2年次の初めにひとつのコースを選び登録します。
修了認定	コース毎に指定された科目から32単位以上修得した場合にコース修了と認定し、卒業時に修了証を交付します。

表3：コース別指定科目表

コースの種類	指定科目表
市場創造コース	流通システム論A（マクロ）、流通システム論B（ミクロ）、ゲーム理論A、ゲーム理論B、経営統計A、経営統計B、経営科学概論、商業史、経済法、製品開発論、マーケティング・コミュニケーション論、グローバル・マーケティング論、マーケティング史、※流通システム論、※マーケティング・チャネル論
戦略デザインコース	流通システム論A（マクロ）、流通システム論B（ミクロ）、ゲーム理論A、ゲーム理論B、経営統計A、経営統計B、経営科学概論、情報セキュリティA、情報セキュリティB、マネジメント・サイエンスA、マネジメント・サイエンスB、情報処理応用A、情報処理応用B、消費者行動論、マーケティング・リサーチA、マーケティング・リサーチB、マーケティング・サイエンスA、マーケティング・サイエンスB、サプライチェーン・マネジメントA、サプライチェーン・マネジメントB、※流通システム論
現代産業・起業コース	経営組織論、ベンチャー企業論、財務会計論、経営財務論、環境経営論、イノベーション論、ファイナンス理論、民法Ⅰ（総則・物権法）、商法Ⅰ（総則・会社法）、労働法、リスクマネジメント論、保険経営論、銀行経営論、商業経営論、サービス経営論、e-ビジネス

※は廃講により開講されません。

図1：市場戦略学科の専門教育課程

	1年次		2年次		3・4年次	
	コース共通科目	コース別科目	コース共通科目	コース別科目	コース共通科目	コース別科目
コース指定科目	◎経営学 ◎市場戦略概説 ◎会計学 ◎経済学概説 ◎情報処理基礎A ◎情報処理基礎B	○経営数学A ○経営数学B ○確率・統計入門A ○確率・統計入門B	○マーケティング論 ○産業組織論 ○経営情報システムA ○経営情報システムB 経営戦略論	○流通システム論A（マクロ） ○流通システム論B（ミクロ） ○ゲーム理論A ○ゲーム理論B ○経営統計A ○経営統計B ○経営科学概論	商業史 経済法 ○情報セキュリティA ○情報セキュリティB ○マネジメント・サイエンスA ○マネジメント・サイエンスB 情報処理応用A 情報処理応用B	製品開発論 マーケティング・コミュニケーション論 グローバル・マーケティング論 マーケティング史
				○経営組織論 ○ベンチャー企業論 ○財務会計論 経営財務論 環境経営論 イノベーション論 ファイナンス論	民法Ⅰ（総則・物権法） 商法Ⅰ（総則・会社法） 労働法	消費者行動論 マーケティング・リサーチA マーケティング・リサーチB マーケティング・サイエンスA マーケティング・サイエンスB サプライチェーン・マネジメントA サプライチェーン・マネジメントB
			○現代企業論 ○簿記学			リスクマネジメント論 保険経営論 銀行経営論 商業経営論 サービス経営論 e-ビジネス
関連科目			演習Ⅰ（2年次） 生産管理論 上級簿記 管理会計論 原価計算論 計量経済学 税法		○演習Ⅱ（3年次） ○演習Ⅲ（4年次） 民法Ⅱ（債権法） 商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法） 特殊講義Ⅰ	外書講読（英書Ⅰ）A 外書講読（英書Ⅰ）B 外書講読（英書Ⅱ）A 外書講読（英書Ⅱ）B

注

- ◎は必修科目、○は選択必修科目、無印は選択科目。
- 卒業に必要な専門科目の単位数：必修科目20単位、選択必修科目20単位を含む合計88単位以上。
- コース修了認定に必要な単位数：
  - ①市場創造コースはA群、B群、C群の中から合計32単位以上。
  - ②戦略デザインコースはA群、D群、E群の中から合計32単位以上。
  - ③現代産業・起業コースはF群、G群の中から合計32単位以上。
- 1年次配当科目は2～4年次、2年次配当科目は3・4年次にも履修可能である。

## ○コースの登録方法

2年次に進級した全ての学生は、下記の前期登録期間に KONECO の「コース登録」画面より希望コースを登録してください。2年次以降の学生でコース登録をしていない場合も、登録期間に申請できます。なお、システム変更に伴い、平成25年度以前にコース登録用紙を提出した学生も KONECO による再登録が必要です。

コース認定を申請できるのは、1コースのみです。修了認定前であれば、コース変更も可能です。

希望コースに必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、コース登録期間終了後になります。詳細な日程は KONECO に掲示します。

### ・コース登録期間

前期 4月29日（火）～7月19日（土）

後期 9月29日（月）～1月10日（土）

## ○認定と修了証発行

前期は8月末、後期は2月中旬に KONECO により成績発表が行われます。科目修得状況を確認してください。

コース認定対象科目のうち、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、コース認定に必要な単位数として算入されます。廃講科目については所属学科の廃講科目掲載ページを参照してください。

登録済みのコースにおける必要科目を修得した場合、下記の期間においてコース修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機により発行します。

### ・コース修了証発行日

前期 9月16日（火）～

後期 3月13日（金）～

※卒業年次生は卒業式当日までの発行となります。

※3月末～4月2日までは、証明書自動発行機の停止期間となりますので注意してください。

## 他学部履修科目

---

- ・ 経営学科（平成20年〈2008〉年度以降入学生）
- ・ 経営学科フレックスA（平成19年〈2007〉年度以前入学生）
- ・ 経営学科フレックスB
- ・ 市場戦略学科

### 1. 履修上の注意

#### (1) 他学部履修科目とは

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から、所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。

#### (2) 履修方法

##### ①履修年次

3年次以上を対象とします。

##### ②履修・修得可能単位数

卒業までに修得できる単位数は、経営学科生（平成20〈2008〉年度以降入学生）と市場戦略学科生は **20単位以内**、経営学科フレックスA生（平成19年〈2007〉年度以前入学生）と経営学科フレックスB生は **30単位以内** とします。

なお、経営学科フレックスA生が、フレックスB時間帯で他学部履修科目を履修・修得する場合、その単位は、フレックスB時間帯で修得できる単位数の60単位に含まれます。経営学科フレックスB生が、フレックスA時間帯で他学部履修科目を履修・修得する場合、その単位は、フレックスA時間帯で修得できる単位数の60単位に含まれます。

##### ③履修制限単位

他学部履修する授業科目の単位は、各年次の履修制限単位数に含まれます。

##### ④受講制限

他学部履修科目には、科目ごとに履修定員を設けています。定員を超える履修申込があった場合には、KON ECO上で抽選が行われ、履修者が決定されます。

##### ⑤単位認定

- ・ 経営学科（平成20〈2008〉年度以降入学生）と市場戦略学科

経済学部、法学部、経営学部の他学科、グローバル・メディア・スタディーズ学部が開講している科目から修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、**卒業に必要な専門選択の単位数に算入されます。**

仏教学部、文学部、医療健康科学部が開講している科目から修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、**卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。**

- ・ 経営学科フレックスA、フレックスB

修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、**卒業に必要な専門選択の単位数に算入されます。**

### (3) 履修登録の流れ

他学部履修科目を履修する場合、下記の手続きが必要となります。

#### ①他学部履修希望科目を決める

※『他学部履修科目授業時間表』『シラバス』を参照し、開講曜日・時限、授業概要等を確認する。



#### ②KONECOで履修登録する（履修申込期間より受付開始）

※履修申込者数が履修定員を超えた場合、KONECO上で抽選が行われ、履修者が決定する。



#### ③履修登録完了

※履修申込者数が履修定員に満たなかった他学部履修科目は、履修訂正期間に先着順で申込みができるようになります。

※申し込んだ他学部履修科目の履修を取り消したい場合は、履修訂正期間内にKONECO上で取消を行うこと。



#### ④履修確認期間に、申し込んだ科目が登録されているかKONECO上で確認する。

## 2. 開設科目一覧

○フレックスA時間帯で開講される他学部履修科目

フレックスA時間帯で開講される科目の授業時間は以下のとおりです。

・月～金曜日：1～5時限      ・土曜日：1～4時限

### ≪仏教学部≫

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
仏教学科	原始仏教	4	通年		
	仏教文献学	4	通年		

### ≪文学部≫

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
国文学科	上代文学研究Ⅰ	4	通年	休	・隔年開講
	中古文学研究Ⅰ	4	通年	休	
	中世文学研究Ⅰ	4	通年	休	
	近世文学研究Ⅰ	4	通年	休	
	近代文学研究Ⅰ	4	通年		
	比較文学	4	通年		
	西洋思想史	4	通年		
	演劇概論	4	通年		
	日本民俗学	4	通年		
英米文学科	イギリス文学特講Ⅰ	4	通年		
	イギリス文学特講Ⅲ	4	通年		
	イギリス文学特講Ⅳ	4	通年		
	イギリス文学特講Ⅴ	4	通年		
	イギリス文学特講Ⅵ	4	通年		

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
英米文学科	アメリカ文学特講Ⅰ	4	通年		
	演劇特講 (イギリス・アメリカ)	4	通年		
地理学科	人口地理学A	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「人口地理学」で単位を修得済の場合は履修できません。
	人口地理学B	2	半期		
	文化地理学A	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「文化地理学」で単位を修得済の場合は履修できません。
	文化地理学B	2	半期		
歴史学科	日本史特講Ⅶ	4	通年		
	東洋史特講Ⅲ	4	通年		
	考古学特講Ⅲ	4	通年		

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
歴史学科	日本仏教史	4	通年		・隔年開講
	西洋文化史	4	通年		
	哲学史	4	通年		
社会学科	産業と変動の社会学	2	半期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学科フレックスBは除く</li> <li>・履修不可対象科目</li> <li>平成20(2008)年度以前に「産業・職業社会学」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	雇用と労働の社会学	2	半期	休	

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
社会学科	マス・コミュニケーション論A	2	半期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学科フレックスBは除く</li> <li>・履修不可対象科目</li> <li>平成20(2008)年度以前に「マス・コミュニケーション論(4単位)」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	マス・コミュニケーション論B	2	半期	休	
	社会心理学A	2	半期		
	社会心理学B	2	半期		・隔年開講

### 《経済学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経済学科	農業政策 a	2	半期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修不可対象科目</li> <li>平成25(2013)年度以前に「農業政策」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	農業政策 b	2	半期		
	中国経済論 a	2	半期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修不可対象科目</li> <li>平成25(2013)年度以前に「中国経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	中国経済論 b	2	半期		
	アメリカ経済論 a	2	半期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修不可対象科目</li> <li>平成25(2013)年度以前に「アメリカ経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	アメリカ経済論 b	2	半期		

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経済学科	ロシア・東欧経済論 a	2	半期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修不可対象科目</li> <li>平成25(2013)年度以前に「ロシア・東欧経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	ロシア・東欧経済論 b	2	半期		
	EU統合論	2	半期		
	現代西欧経済論	2	半期		
商学科	貿易論 a	2	半期	休	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔年開講</li> <li>平成25(2013)年度以前に「貿易論」で単位を修得済の場合は履修できません。</li> </ul>
	貿易論 b	2	半期	休	

### 《法学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
法律学科	経済法	4	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学科(フレックスA含む)、市場戦略学科は除く</li> </ul>

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
政治学科	国際社会入門	2	半期		
	国際関係入門	2	半期		
	ヨーロッパ政治史	4	通年		
	地方自治法	4	通年		
	比較政治学	4	通年		
	現代国家論	4	通年		

### 《経営学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経営学科	経営労務論	4	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学科(フレックスA・B含む)は除く</li> </ul>
	経営分析論	4	通年		
	税務会計論	4	通年		
	アメリカ経営学	4	通年	休	
	経営史	4	通年		
	国際経済論	4	通年		

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
市場戦略学科	リスクマネジメント論	4	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学科フレックスA、フレックスB、市場戦略学科は除く</li> </ul>
	消費者行動論	4	通年		
	マーケティング・コミュニケーション論	4	通年		

《医療健康科学部》

開講 学科	科目名	単位	開講 期	本年度 休講	履修上の注意事項
診療放射線 科学科	医療宗教学	2	半期		
	医療経済学	2	半期		

《グローバル・メディア・スタディーズ学部》

開講 学科	科目名	単位	開講 期	本年度 休講	履修上の注意事項
グローバル・ メディア学 科	メディア・コミュニケーション概論	2	半期		
	情報メディア産業論Ⅰ	2	半期		
	比較メディア制度論	2	半期		
	東南アジアの文化と社会	2	半期		

開講 学科	科目名	単位	開講 期	本年度 休講	履修上の注意事項
グローバル・ メディア学 科	情報保護と社会	2	半期		
	映像産業論	2	半期		
	情報メディア開発論	2	半期		

○フレックスB時間帯で開講される他学部履修科目

フレックスB時間帯で開講される科目の授業時間は以下のとおりです。

・月～金曜日：6・7時限      ・土曜日：3～7時限

開講 学科	科目名	単位	開講 期	本年度 休講	履修上の注意事項
法律学 科 フレックス B	法思想史	4	通年		
	日本法制史	4	通年		・隔年開講
	西洋法制史	4	通年	休	・隔年開講
	経済法	4	通年		
	国際関係論	4	通年		
	地方自治法	4	通年		
	倒産処理法	4	通年		

## 随意科目

- ・経営学科（平成20年〈2008〉年度以降入学生）
- ・経営学科フレックスA（平成19年〈2007〉年度以前入学生）
- ・経営学科フレックスB
- ・市場戦略学科

### 1. 履修上の注意

随意科目として修得した科目の単位は、卒業に必要な単位に含まれません。

### 2. 開設科目一覧

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
英語（海外演習）	2		1	2	3	4	・海外協定校で行われる短期語学セミナーです。詳細については、国際センターが配布する各セミナーのパンフレットを参照してください。（パンフレットは募集時期に配布されます）
フランス語（海外演習）	2		1	2	3		
中国語（海外演習）	2		1	2	3	4	

# 「日本語」・「日本事情」科目

## 1. 履修上の注意

### (1) 「日本語」科目の履修方法

- ① 「日本語」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
- ② 「日本語」科目は選択必修科目として、1・2年次に履修してください。
- ③ 修得した単位は、外国語科目として認定され、卒業に必要な単位数に算入されます。
- ④ 当該科目の履修を希望する者は履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

### (2) 「日本語」科目の卒業に必要な単位数

履修年次	単位数
1年次	4
2年次	4
計	8

### (3) 「日本事情」科目の履修方法

**対象入学年度：経営学科 平成25（2013）年度以前入学生**

**市場戦略学科 平成25（2013）年度以前入学生**

- ① 「日本事情」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。対象者は、「日本事情」科目を優先して履修してください。
- ② 修得した単位は、18単位を上限として卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ③ 「日本事情」科目は1年次から履修できますが、各年次の履修制限単位数の範囲内で履修してください。
- ④ 当該科目の履修を希望する者は履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

**対象入学年度：経営学科 平成26（2014）年度以降入学生**

**市場戦略学科 平成26（2014）年度以降入学生**

- ① 「日本事情」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。対象者は、「日本事情」科目を優先して履修してください。
- ② 修得した単位は、教養教育科目として認定され、卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③ 教養教育科目として代替できる単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ④ 「日本事情」科目は1年次から履修できますが、各年次の履修制限単位数の範囲内で履修してください。
- ⑤ 当該科目の履修を希望する者は履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

## 2. 開設科目一覧

### <日本語科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項	
日本語入門Ⅰ a	1	半期	1	2	3		・初級	・以下のいずれかに該当しなければ履修できません。 ①交換留学生 ②非漢字圏の学生
日本語入門Ⅰ b	1	半期	1	2	3		・初級	
日本語入門Ⅱ a	1	半期	1	2	3		・初級	
日本語入門Ⅱ b	1	半期	1	2	3		・初級	
日本語Ⅰ a	1	半期	1	2	3		・中級程度	・当該科目の「a」「b」は、セットで履修することが望ましい。  ≪受講制限≫ ・履修者制限をする場合があります。初回の授業で教員の許可を得てください。
日本語Ⅰ b	1	半期	1	2	3		・中級程度	
日本語Ⅱ a	1	半期	1	2	3		・中級程度	
日本語Ⅱ b	1	半期	1	2	3		・中級程度	
日本語Ⅲ a	1	半期	1	2	3		・上級程度	
日本語Ⅲ b	1	半期	1	2	3		・上級程度	
日本語Ⅳ a	1	半期	1	2	3		・上級程度	
日本語Ⅳ b	1	半期	1	2	3		・上級程度	
日本語Ⅴ a	1	半期	1	2	3		・中級演習	
日本語Ⅴ b	1	半期	1	2	3		・中級演習	
日本語Ⅵ a	1	半期	1	2	3		・上級演習	
日本語Ⅵ b	1	半期	1	2	3		・上級演習	

### <日本事情科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項	
日本事情Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	(地理) について学びます。	
日本事情Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	(自然) について学びます。	
日本事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	(歴史) について学びます。	
日本事情Ⅳ	2	半期	1	2	3	4	(思想) について学びます。	
日本事情Ⅴ	2	半期	1	2	3	4	(社会) について学びます。	
日本事情Ⅵ	2	半期	1	2	3	4	(政治・法律) について学びます。	
日本事情Ⅶ	2	半期	1	2	3	4	(文学) について学びます。	
日本事情Ⅷ	2	半期	1	2	3	4	(文化・芸術) について学びます。	
日本事情Ⅸ	2	半期	1	2	3	4	(経済) について学びます。	
日本事情Ⅹ	2	半期	1	2	3	4	(経営) について学びます。	

### Ⅲ 教職課程・資格講座

#### 1. 受講可能な資格

経営学科（フレックス A およびフレックス B を含む）・市場戦略学科で履修可能な教職課程・資格講座は、以下のとおりです。資格取得のためには、卒業必要科目以外に教職課程・資格講座に関する専門科目を履修し、単位を修得する必要があります。

課程・講座名	内容
教職課程	教員免許状の取得を目指します。 以下の条件を満たすことで資格を取得できます。 ①所定の科目の単位を修得 ②学士の学位を有する（大学を卒業する） ③免許申請を行う
学校図書館司書教諭講座	学校教育の充実を目的とした学校図書館の専門職としての資格です。 教職課程と併せて登録する必要があります（「図書館司書」の資格とは異なります）。所定の科目の単位を修得し、申請を行うことで資格を取得できます。
社会福祉主事講座 ※フレックス B を除く	社会福祉の行政機関において、保護や援助を必要とする人々の相談、指導、援助を行う専門職である「社会福祉主事」の任用資格を取得できます。
社会教育主事講座	社会教育活動を行う者に対し、求めに応じて専門的・技術的な助言と指導を与える専門職員である「社会教育主事」の任用資格を取得できます。

#### ●取得可能な免許状の種類

教員免許状は、所属学科によって取得できる免許状の種類が異なります。

各学科で取得できる免許状は以下のとおりです。

学科	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
経営	社会	地理歴史・公民・商業
経営フレックス A・B	社会	地理歴史・公民・商業
市場戦略		商業

## 2. 教職課程・資格講座の登録

課程・講座は登録制をとっています。登録には以下の手続きが必要です。

1年次4月「教職入門」履修登録

※教職課程希望者のみ。詳細は次項参照



### 教職課程・資格講座登録ガイダンスに参加（1年次後期：11月頃）

◎日程は教務部第1掲示板の教職課程・資格講座面に掲示します。

説明を受け、『教職課程・資格講座履修要項』等の配布物を受け取ってください。

※ガイダンス欠席者は教職課程・資格講座の登録と履修はできません。



### 教職課程・資格講座の登録

◎期間・方法等詳細はガイダンスでお知らせします。

期間内に手続きがない場合、教職課程・資格講座の登録と履修はできません。

登録は**1課程**（教職課程）**2講座**（社会福祉主事講座※フレB除く・社会教育主事講座のうち2つ）までですが、学校図書館司書教諭講座を希望する場合、1課程3講座の登録が可能となります。



2年次4月より教職課程・資格講座科目履修登録開始

※新2年生以上でまだ教職課程・資格講座の登録をしていない場合は1年遅れての登録になります。詳細は教務部2番窓口（教職係）で確認してください。

## 3. 1年次の関連履修科目（教職課程）

①下記の科目を1年次に履修してください。

科目名	開講期	曜日時限	履修コード
教職入門	後期	木5	076711
		木6	305401
		土3	076701

- ・教職希望者必修科目です。
- ・教職専門科目のため卒業必要単位数に含まれません（学科の年間履修制限単位数にも含まれません）。
- ・履修希望者数が定員を超えた場合は、KONECO上で抽選が行われます。もし落選した場合は、他の履修コードの「教職入門」を再度履修申込してください。
- ・授業は、後期（9月）より開始されます。
- ・教場は、KONECOや『授業時間表』で確認してください。

②下記の科目は1年次から履修可能であり、どの教科の免許状を希望する場合でも使用できます。修得した単位数は卒業必要単位数に含まれますので、年間履修制限単位数内に収める必要があります。

なお、履修希望者が定員を超えた場合は、KONECO上で抽選となります。落選した場合は、再度履修申込を行ってください。

◆経営学科

◆市場戦略学科

科目名	単位数	注意事項
法学・憲法	4	
健康・スポーツ実習	2	} いずれか1科目を履修してください。
健康・スポーツ論1	2	
健康・スポーツ論2	2	
情報処理基礎 A	2	} いずれか1科目を履修してください。
情報処理基礎 B	2	

③下記の科目は全学共通科目ですが、各教科の免許取得に必要な単位の一部として使用できます。

修得した単位数は卒業必要単位に含まれますので、年間履修制限単位数内に収める必要があります。

市場戦略学科については該当する科目がありません。2年次以降、計画的に履修してください。

なお、履修希望者が定員を超えた場合は、KONECO 上で抽選となります。落選した場合は、再度履修申込を行ってください。

◆経営学科

免許の種類	科目名	注意事項
中学校（社会）	人文地理学 ※	・「人文地理学」を履修することも可能ですが、教員免許状取得用に開講されている「人文地理学概説（教職課程登録後に履修可能）」を履修するように努めてください。
	政治学	
高等学校（地理歴史）	人文地理学 ※	
高等学校（公民）	政治学	

・平成22（2010）年度以前入学生については対象科目が異なります。詳細は、教務部2番窓口（教職係）または『教職課程・資格講座履修要項』で確認してください。

④その他の注意事項

転部・転科をした場合は単位認定の関係上、免許状取得のための単位として使用できなくなることもあります。

4. 学校図書館司書教諭講座・社会福祉主事講座・社会教育主事講座

1年次で履修できる関連科目はありません。2年次以降計画的に履修してください。詳細は、教職課程・資格講座登録ガイドンスで配布される『教職課程・資格講座履修要項』で確認してください。

## IV 学修支援

### 学業不振者への勧告

4年間で卒業するには、各年次に計画的に科目を履修し単位を修得していくことが理想とされます。正当な理由なく成績不振に陥り、修得単位数が著しく少ない学生には、学業を督励するために、学部オリエンテーション時に面談の上、履修指導を行います。

#### ●勧告対象基準

年次	履修単位数
1年次	28単位以下
2年次	56単位以下
3年次	82単位以下
4年次	123単位以下

#### [注意]

3年次生については、年間制限単位数では翌年3月の卒業は可能な場合でも勧告対象になることがありますので、注意してください。

## V キャリア形成

### 1. 大学院進学

経営学研究科は、1973（昭和48）年に修士課程、1977（昭和52）年に博士後期課程をそれぞれ設立した。以後、経営学教育の分野において、(1) 学術研究の推進とともに、国際的貢献の成果を挙げること、(2) 高度な研究者・専門家を養成すること、(3) 高度な専門知識・能力を有する専門的職業人（公認会計士や税理士等）を養成すること及び、(4) 国際的貢献の一環としての海外留学生や社会人の受け入れを推進し、その教育の実を上げて学位授与に結び付けることなど、多様な社会的要請に対応した教育目的を掲げ、その目的を達成して結果を出すべく、院生が研究科に入学するまでに獲得した基礎学力の上に経営学の専門分野において国際社会に通用する高度専門的な学識を身につけ、研究意欲の旺盛な研究者・専門家を育成することを目指して、今日まで努力してきた。

本研究科の修士課程の開講科目は、経営学、会計学、経済学、および経営科学の4つの分野から成り、25科目でそれぞれに講義と演習がある。また、専門研究において要求される外国語の学力向上の要請に応え、英米、独、仏、の外国文献研究の科目が設けられている。特に、平成17年度より、専門職業会計士の試験志望者のために、会計学の隣接科目として租税法（講義と演習）が開設された。博士後期課程では、経営学と会計学を中核として10の研究指導科目が開設されている。

なお、本研究科では、大学院入学試験で選択した専門科目（経営学、会計学、経済学、経営科学の何れか一科目）が入学後の専修科目となる。

### 2. 就職（キャリアセンターの利用）

就職するのは学生の皆さん自身であり、どのような就職活動を行うか、最終的にどこを就職先とするかを決定するのも皆さん自身です。本学「キャリアセンター」は、就職活動に必要な情報を提供し、皆さんの相談にのるなど、さまざまな支援活動を行っています。

具体的には、新入生オリエンテーション、2年次5月・11月、3年次7月・10月・1月に行う就職ガイダンス、各種の就職講座（教職、公務員、マスコミ、文章、就職英語）、業界・企業研究会、企業別OB・OG懇談会、公務員採用説明会などの開催、『就職状況・入社試験報告書』、『就職手帳』の発行、キャリアセンター「窓口」での個別相談などです。

資料室には、公務員・教員の募集要項、企業別の事業内容・採用状況、OB・OGの就職活動体験記や企業関係の様々な文献・資料や情報機器を用意してあります。「キャリアセンター」を十分に利用しましょう。

### 3. 研究所

研究所	活動内容
<p>経理研究所</p>	<p>国際化、情報化、サービス化が急速に進展し、民間企業のリストラや財政緊縮などによって新卒者の就職条件が非常に厳しくなっている今日、職業資格に対する学生の関心が高まっています。こうした状況に対応するため、駒澤大学経理研究所では、日商簿記検定試験（3級、2級、1級）の受験指導を行っています。税理士試験、公認会計士試験に合格する先輩達が増えていますが、これらの試験の受験勉強を始めるにあたっては、日商2級の實力があることが前提となります。また、日商1級の保有者は、多くの場合、就職活動を比較的有效に進めることが可能です。</p> <p>専任教員と専属スタッフが熱心に指導に当たっています。平日だけではなく必要に応じて休日も利用し、夏季休暇には2級工業簿記の集中授業も行われています。</p> <p>なお、本学で日商簿記検定試験が受験できます。</p> <p>詳細に関しては、経理研究所事務室（深沢校舎5階 03-6381-8905）にお問い合わせください。</p>
<p>法学研究所</p>	<p>昭和47年4月に設立された法学研究所は、研究部と研修部から構成されています。研究部は、学界、法曹界から講師を招いて講演会を開催したり、司法試験合格者から体験的学習方法を伝授してもらったりしています。</p> <p>研修部は、法学への研究意欲をさらに高め、基礎的、実践的な知識を修得することを目的として、次のような講座を開設しています。(1) 入門講座（おもに1年生）①憲法入門、②民法入門、③刑法入門 (2) 基礎講座（おもに2年生）①基礎憲法、②基礎刑法、③基礎民法Ⅰ（総則・物権法）、基礎民法Ⅱ（債権法）(3) 上級講座（おもに3年生以上）①公法（憲法・行政法）、②刑法（刑法総論・刑法各論）、③民法Ⅰ（総則・物権法）、④民法Ⅱ（債権法・家族法）、⑤商法（会社法・有価証券法）、⑥訴訟法（民事訴訟法・刑事訴訟法）、⑦不動産登記法、⑧商業登記法。</p> <p>上記の講座は、順を追って法学の知識を深め、法科大学院の入学試験および司法書士試験に対応できるように編成されています。上級講座は、すべて現役の弁護士および司法書士によって指導され、資格取得だけでなく公務員志望や民間企業で活躍したい諸君にとっても、有益な講座内容になっています。</p> <p>本学の在学生・卒業生であれば、所定の手続きを踏むことにより、誰でも研修部会員になることができます（上級講座については、一般・社会人にも門戸が開放されています）。また研究所内の特別研究室では、専用の机を利用して、勉強に専念することができます。ただし、特別研究室を利用するためには、入室試験を受ける必要があります。</p> <p>詳細に関しては、法学研究所事務室（深沢校舎1階 03-6381-8900）にお問い合わせください。</p>
<p>マス・コミュニケーション研究所</p>	<p>本研究所では、将来、新聞・テレビ・出版・広告などのマス・メディアを目指す学生を育成する、マス・メディアの現状と今後の展望について学生の知見を深める、この二点に主眼を置いてマス・メディア各界から人材を求め、本研究所の研究員として学生諸君の指導にあたっていただいております。</p> <p>研究所での授業は、今日のマスコミ研究の最新の成果をもとに編成されています。これらは学部の授業（単位）とは全く別個なもので、自主的な学習意欲があれば自由に学ぶことができる学習の場です。平成20年度からは、各授業に参加し一定の評価を得た学生には、その科目修了の「認定証」を発行しています。この「認定証」は本研究所が発行する公的なもので、学生諸君の履歴書にも記載できます。</p> <p>また本研究所の開設する講座は「公開講座」となっており、本学の学生以外の一般人も多数聴講しています。学生や主婦、定年退職した人まで様々な年齢層の人々が受講し、とても刺激のある授業になっています。</p> <p>開講科目につきましては下記の講座の中から1年間にいくつでも履修できます。授業は原則として5時間、6時間に開講していますので学部の授業とは重ならないよう配慮しています。また、通常の講義とは別に、毎年秋に、各界で活躍する有名人をお招きし、特別講義や講演会を開催しております。</p> <p>※「報道メディア論」、「現代メディアと報道論」、「マスコミの中の公共放送」、「メディアスポーツ解体」、「高度情報社会のメディア・リテラシー」、「現代広告論」、「映像を通して現代を考える」、「鉄腕アトムの誕生と継承」、「新聞の国際報道と日本」。</p> <p>なお、学生の入所試験は4月の下旬に、小論文および面接によって行われます。</p> <p>詳細に関しては、マス・コミュニケーション研究所事務室（深沢校舎1階 03-6381-8901）にお問い合わせいただくか、インターネットの本研究所HPをご参照下さい。</p>

※本学にはこの他に、「仏教経済研究所」、「応用地理研究所」、「禅研究所」、「仏教文学研究所」、「司法研究所」、「駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ・ラボラトリ」といった研究所があります。詳細は、本学ホームページを参照してください。

## VI その他

### 専任教員紹介・研究室

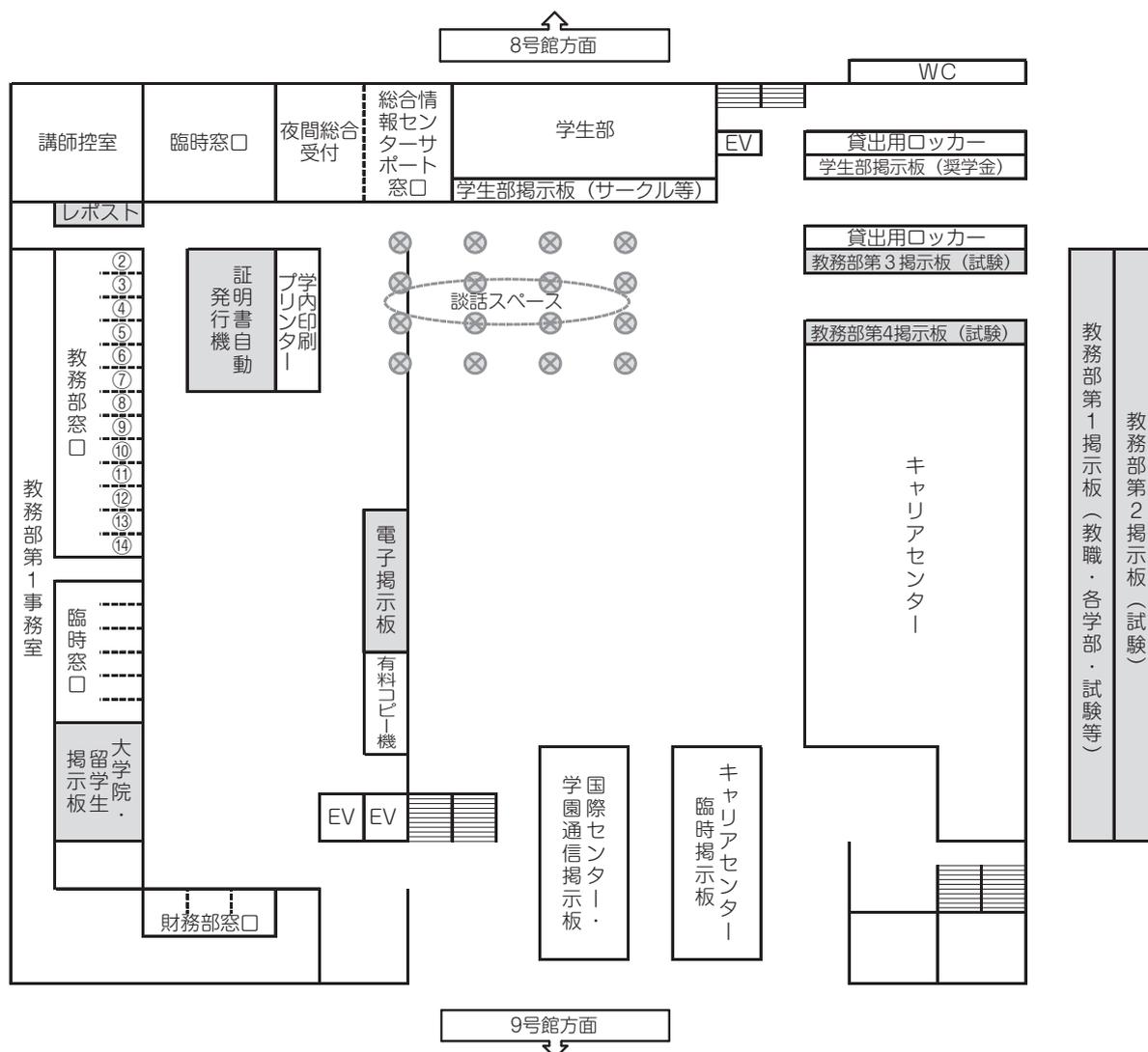
経営学部専任教員の研究室は、第2研究館にあります。不明な点は、第2研究館1階の「受付窓口」にお問い合わせください。

#### ●専任教員一覧（五十音順）

経営学科		市場戦略学科	
漢字氏名	カナ氏名	漢字氏名	カナ氏名
明石 博行	アカシ ヒロユキ	青木 茂樹	アオキ シゲキ
阿部 一人	アベ カズヒト	飯田 哲夫	イイダ テツオ
鹿嶋 秀晃	カシマ ヒデアキ	小沢 利久	オザワ トシヒサ
片桐 伸夫	カタギリ ノブオ	兼村 栄哲	カネムラ エイテツ
河合 由佳理	カワイ ユカリ	菅野 佐織	カンノ サオリ
岸田 隆行	キシダ タカユキ	小本 恵照	コモト ケイショウ
熊倉 正修	クマクラ マサナガ	高井 徹雄	タカイ テツオ
桑原 正行	クワバラ マサユキ	滝田 公一	タキタ コウイチ
猿山 義広	サルヤマ ヨシヒロ	長 國強	ナガ コキョウ
高木 克己	タカキ カツミ	中野 香織	ナカノ カオリ
高田 光明	タカダ ミツアキ	西村 和夫	ニシムラ カズオ
豊田 太郎	トヨダ タロウ	若山 大樹	ワカヤマ ダイキ
中川 淳平	ナカガワ ジュンペイ		
中村 公一	ナカムラ コウイチ		
羽鳥 茂	ハトリ シゲル		
日野 健太	ヒノ ケンタ		
藤原 篤志	フジワラ アツシ		
渡辺 伊津子	ワタナベ イツコ		

## 事務局・掲示板案内図

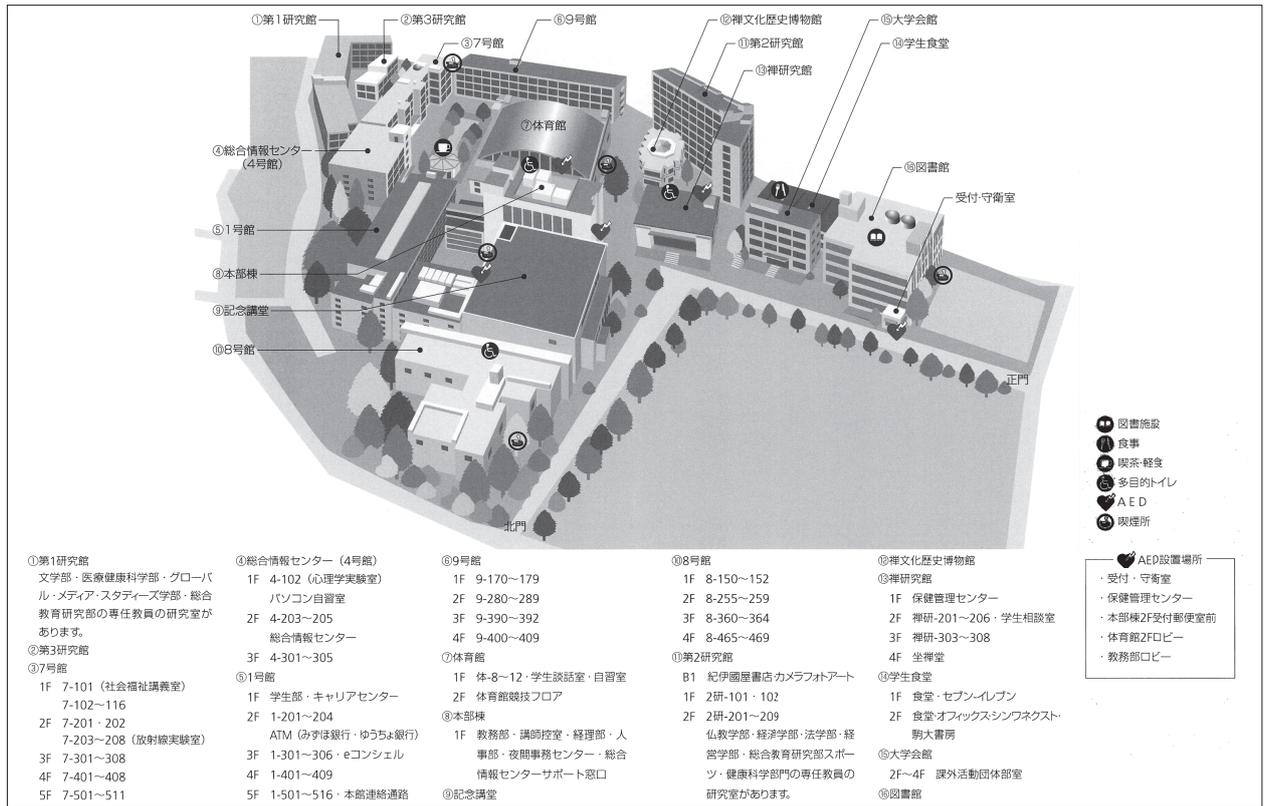
### ●教務部掲示板等配置図



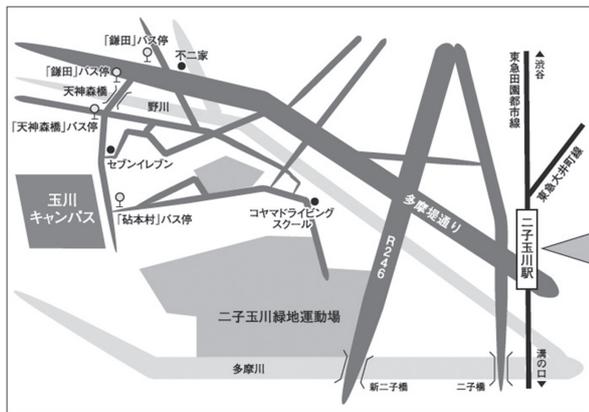
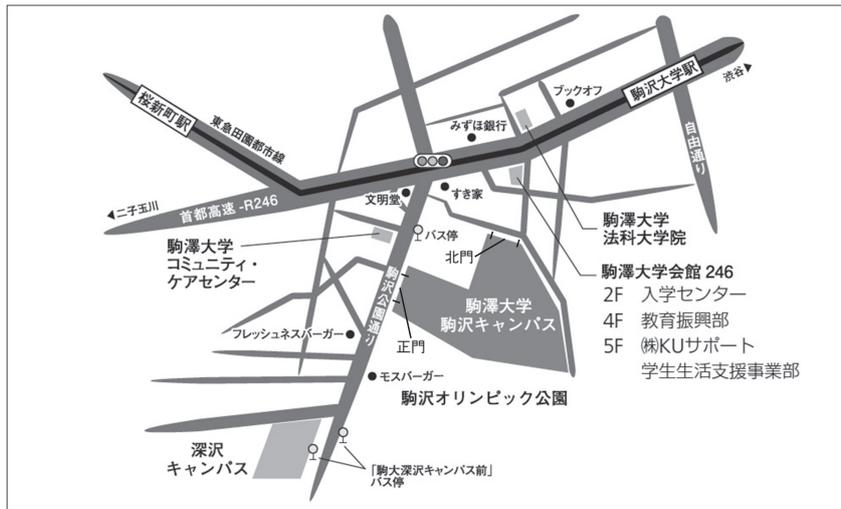
### ●図の説明

電子掲示板	本日の休講、翌日以降の休講（1週間分）、教場変更情報（当曜日分）。ここに掲示されている情報は、KONECOでも閲覧できます。
証明書自動発行機	各種証明書を自動で発行できます。証明書については、「第1章V証明書発行」を参照。
レポスト	担当教員からレポート提出の指示があった場合、このポストに提出できます。
教務部第1～第4掲示板	教務部第1掲示板には、教職課程・資格講座に関する掲示と各学部からの掲示があります。教務部第2～第4掲示板には、主に試験関係の掲示があります。
大学院・留学生掲示板	大学院生と留学生のための掲示があります。

## ●駒沢キャンパス構内案内図



## ●大学へのアクセス



No. \_\_\_\_\_

Name \_\_\_\_\_